

シャワーブース 900

組立設置説明書

設置前に、この組立設置説明書と商品同梱の各説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

【目次】

表紙

目次

安全のため必ずお守りください

1. 取付設置前の確認事項

1.1 取付設置手順	1-1
1.2 構成図	1-2
1.3 取付設置に必要な工具	1-5
1.4 搬入経路の確認	1-6
1.5 部材チェック	1-6
1.6 SR 納まり参考図	1-7
1.7 アジャスターボルト配置及び給水給湯管 立上げ位置・排水可能方向図	1-23

2. 床パンの設置

2.1 ナット付き床支持プレートの取り付け	2-1
2.2 アジャスターボルトの取り付け	2-2
2.3 排水トラップの取り付け	2-3
2.4 水張りテスト	2-4
2.5 雑排水管支持固定金具の取り付け	2-4
2.6 床パンの据え付け	2-5
2.7 床固定	2-6
2.8 通水（排水）チェック	2-6

3. 壁パネルの建て込み前作業

3.1 壁パネル加工の注意事項	3-1
3.2 壁下ブロックの配置	3-2
3.3 壁パネルの取り付け順	3-3
3.4 床パンの壁載せ面へのパッキン貼り付け	3-4
3.5 目地材の確認	3-4
3.6 シャワーフック・棚・ スライドバー（オプション）の下穴加工	3-4
3.7 レインシャワー（オプション）の下穴加工	3-4

4. 壁パネルの建て込み

4.1 壁かけハンガーの取り付け	4-1
4.2 壁パネルの建て込み	4-2
4.3 壁パネルコーナー部の接続	4-3
4.4 壁パネル平部の接続	4-5

5. 天井の取り付け

5.1 天井養生フィルム取り外し	5-1
5.2 ダウンライトの取り付け	5-1
5.3 ストレート LED 照明の取り付け	5-3
5.4 換気扇の取り付け	5-5
5.5 天井の取り付け	5-5
5.6 ジョイントボックス（現場手配）の取り付け	5-6

6. ドア枠の取り付け

6.1 ドアコーナージョイナーの取り付け	6-1
6.2 フル FIX 窓（W500）の取り付け	6-2
6.3 ドア枠の取り付け	6-4

7. 壁と天井の仕上げ

7.1 天井固定順序	7-1
7.2 天井点検口の取り付け	7-2
7.3 天井点検口ふたの取り付け	7-2
7.4 ドア上小壁の取り付け	7-3
7.5 ドア枠鉛直度の調整	7-4
7.6 壁パネルの目地打ち込み	7-5
7.7 天井回し縁の取り付け	7-7
7.8 壁と天井の仕上げ（ストレート LED 照明）	7-8
7.9 電源の接続	7-11

8. 器具の取り付け

8.1 器具取付前の準備	8-1
8.2 鏡受けの取り付け（化粧鏡ありの場合）	8-2
8.3 水栓固定金具の取り付け	8-3
8.4 SUS カバーの取り付け （SUS カバーありの場合）	8-5
8.5 水栓の取り付け（ハンスグローエ仕様）	8-6
8.6 水栓の取り付け（KVK 仕様）	8-6
8.7 シャワーヘッドの取り付け	8-6
8.8 水栓の取り付け（レインシャワー仕様）	8-7

9. ドアの取り付け

9.1 ドア本体のつり込み（折戸）	9-1
9.2 ドア本体のつり込み（開き戸）	9-3
9.3 開き戸（強化ガラス）の取り付け（オプション）	9-7

10. 部品の取り付け

10.1 アクリル棚の取り付け	10-1
10.2 ステンレス棚の取り付け	10-1
10.3 シャワーフックの取り付け（ハンスグローエ仕様）	10-2
10.4 スライドバーの取り付け（ハンスグローエ仕様）	10-2
10.5 シャワーフックの取り付け（KVK 仕様）	10-2
10.6 スライドバーの取り付け（KVK 仕様）	10-3

11. 仕上げ

11.1 仕上げシーリング	11-1
11.2 清掃	11-2
11.3 取扱説明書類について	11-2
11.4 廃棄物について	11-2
11.5 ラベルの貼付け	11-2

12. その他

12.1 乾式目地の取り外し方	12-1
-----------------------	------

取付設置後のチェック 裏表紙

安全のために必ずお守りください

- 表示内容を見逃して誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区別し説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は、必ず「実行」していただく内容です。

※いずれの場合も重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

作業者の安全と使用者の安全確保のため、この取付設置説明書をよくお読みになり安全で正しい取付設置を行ってください。

取付設置の際は必ずお守りください。	 警告	組み込み機器および水栓金具については、それぞれの取付設置説明書にしたがって正しい取付設置を行ってください。
		電気工事は電気設備技術基準や内線規定に基づき、電気工事士の免許を持った方が行ってください。 接続が不完全な場合には、火災や感電する恐れがあります。
		アース線は確実に接続してください。接続が不完全な場合は、感電する恐れがあります。
	 注意	換気扇などの付属部品は、指定位置に確実に取付けてください。 使用中に落下したり外れたりして、ケガをする場合があります。
		給水・給湯管、排水管は、本説明書どおり確実に取付けてください。 水漏れする場合があります。
取付設置後に必ず実施ください。	 警告	シャワーブース本体、本体構成部材、水栓金具、機能危機に同梱されている取扱説明書類は、お客様に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。 紛失したり汚れたりしないよう大切に保管し、取付設置完了時、シャワーブース本体の取扱説明書のポリ袋に同梱し、分かりやすい場所に置いてください。

廃棄処分をする場合のお願い

- ・浴室ユニットを廃棄処分する場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様に依頼してください。
- ・浴室ユニットの廃棄部材の不法投棄等があった場合は、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

1. 取付設置前の確認事項

1.1 取付設置手順

(1) 組立範囲について

(1)-1. 別途工事

- ・基準墨出し工事。
- ・スリーブ位置墨出し工事。
- ・給水・給湯・雑排水等 配管用の建築・床・壁の墨出し・穴開け・埋め戻し工事。
- ・はつり工事。
- ・電気配線工事。（但し、照明器具よりのケーブルは、特記事項に依る。）
- ・給水・給湯管。
- ・排水管。（但し、雑排水トラップよりの引出し配管は、特記事項に依る。）
- ・換気設備。（但し、ユニット天井パネル開口と補強材付設は、特記事項に依る。）
- ・残材の場外搬出作業。
- ・ユニット外装工事。
- ・ユニット引き渡し後における清掃作業。

(1)-2. 無償にて支給・貸与願う資材・設備等

- ・現場作業用動力：光熱：水：その他。
- ・ユニット搬入用リフト等の運搬設備。

(1)-3. 品質保証

品質保証の内容は下記の通りとさせていただきます。

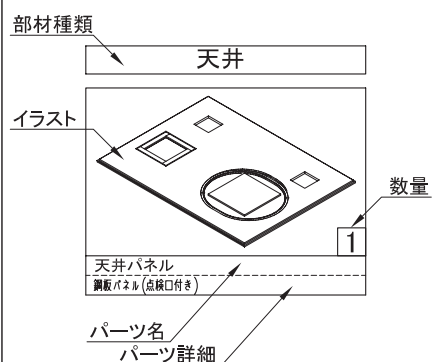
- ・保証期間 お買い上げ日から 3年
 但し、電球やパッキンなどの消耗部品は適用除外
- ・免責事項
 取扱説明書によらない使用上の誤り及び不当な修理、改造による損傷。
 火災・地震・水害等、天変地異による損害。
 その他上記に準ずる製造・組立以外の損傷。
 水抜き忘れの凍結による水栓破損。
 当社手配できない部品の損傷。

(1)-4. その他

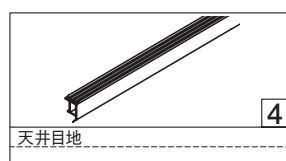
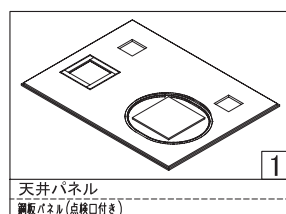
- ・労災保険及び火災保険は含んでおりません。
- ・受理後の仕様変更は再見積させていただきます。
- ・諸官庁への申請、承認手続きは含んでおりません。
- ・その他、現場で発生する要望事項などについては、その都度充分に打ち合わせをお願いします。

1.2 構成図

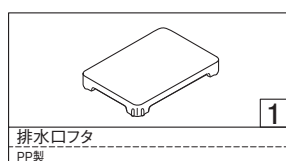
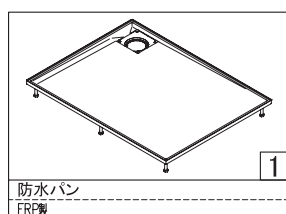
●構成図のみかた



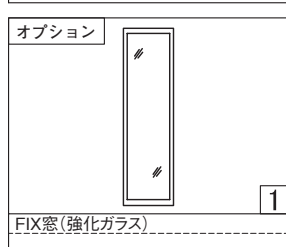
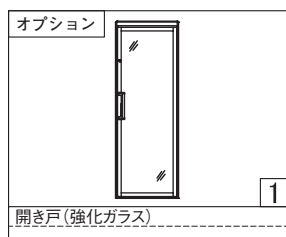
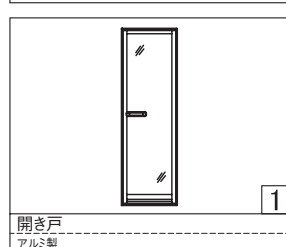
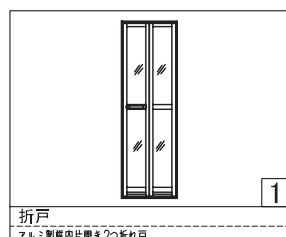
天井



床

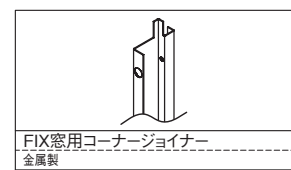
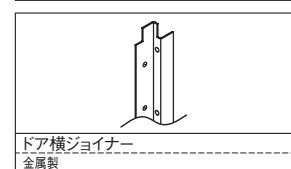
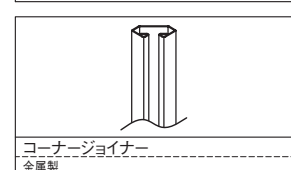
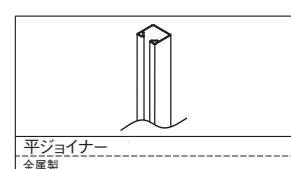
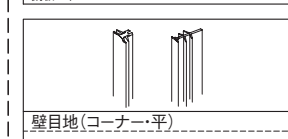
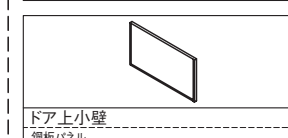
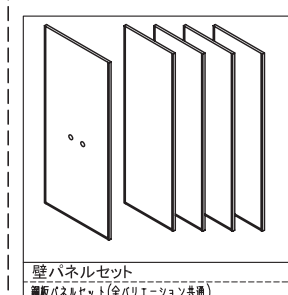


ドア



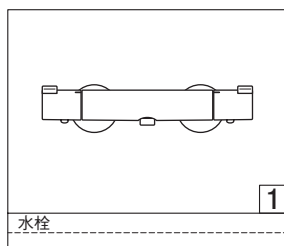
壁

	0912 (AR/AL)	0912 (AR/AL)	0912 (BR/BL)
壁パネル	5枚	4枚	6枚
コーナージョイナー	3本	2本	3本
平ジョイナー	1本	1本	2本
ドア横ジョイナー	1本	1本	1本
コーナー目地	3本	2本	3本
平目地	1本	1本	2本
FIX窓用 コーナージョイナー	なし	1本	なし

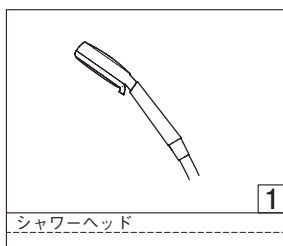


1. 取付設置前の確認事項

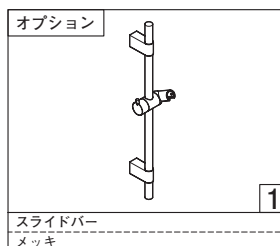
水栓関係



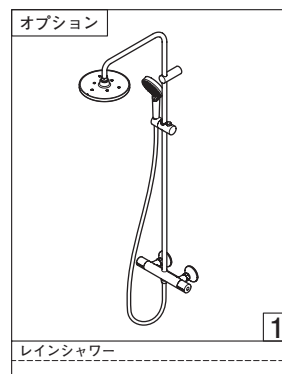
水栓



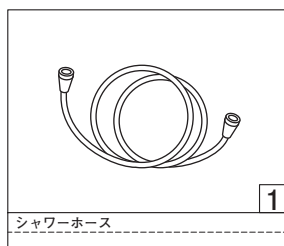
シャワーヘッド



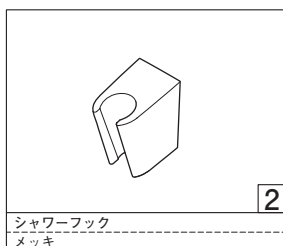
スライドバー
メッキ



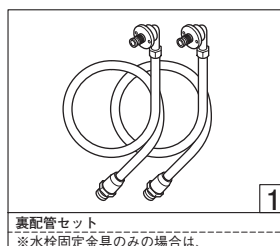
レインシャワー



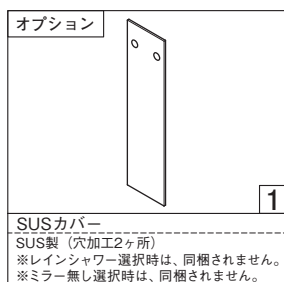
シャワーホース



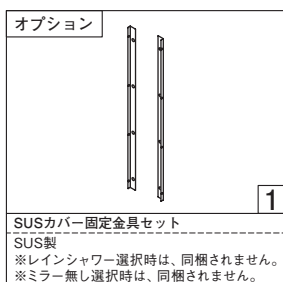
シャワーフック
メッキ



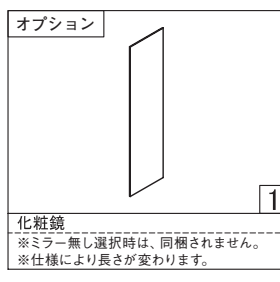
裏配管セット
※水栓固定金具のみの場合は、
ホース以下は同梱されません。



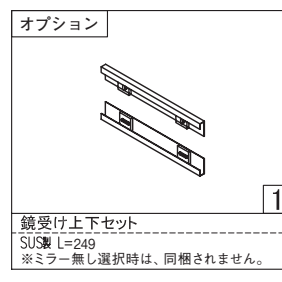
SUSカバー
SUS製（穴加工2ヶ所）
※レインシャワー選択時は、同梱されません。
※ミラー無し選択時は、同梱されません。



SUSカバー固定金具セット
SUS製
※レインシャワー選択時は、同梱されません。
※ミラー無し選択時は、同梱されません。



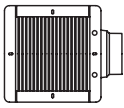
化粧鏡
※ミラー無し選択時は、同梱されません。
※仕様により長さが変わります。



鏡受け上下セット
SUS製 L=249
※ミラー無し選択時は、同梱されません。

1. 取付設置前の確認事項

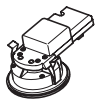
換気扇



天井換気扇
標準:換気扇付き、オプション:換気扇なし

1

照明器



LEDダウンライト

2

配管部材

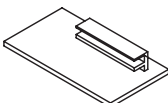


排水トラップ
ABS製

1

アクリル棚

オプション



化粧棚

2

冊子



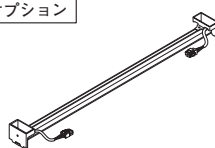
冊子
組立説明書(本書)(1冊) / 取扱説明書(1冊)

1

LEDダウンライト用補強合板(穴φ75)
木製

2

オプション



ストレートLED照明

1

雑排水管
VP50 L=1200

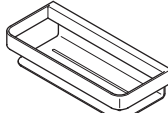
1

配管支持プレート
金属製

1

ステンレス棚

オプション



ステンレス棚

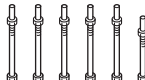
1



補強合板
木製(t15)

6

その他部材



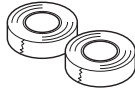
アジャスターボルトセット

1



下敷鉄板
金属製

6



マスキングテープ

2



シャワーベース躯体施工ねじセット
※下表参照

1



脚固定接着剤(主材)
150g

1



脚固定接着剤(硬化材)
150g

1

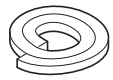


シリコンシーリング材
色:ホワイト/ブラック

1

※シャワーベース躯体施工ねじセット 内容

名称	数量
9の字ナット	10
皿小ねじ	10
なべ小ねじ	10
なべタッピンねじ	29
丸皿木ねじ	17
ピアス(デクス)ねじ	10
天井点検口蓋クリップ(ホワイト)	1
立ち調整スペーサーセット	1
樹脂アンカー	1
十字穴付ナベ頭タッピンねじ	1



壁下パッキン
t8×w10×L1240 ... 2
t8×w10×L940 ... 2

1



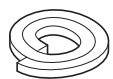
壁ブロックセット

1



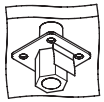
両面テープ

1



ドア上小壁パッキンセット

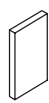
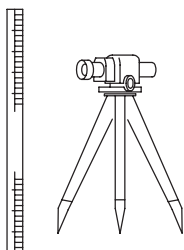
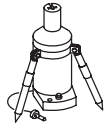
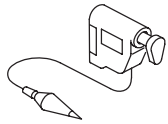
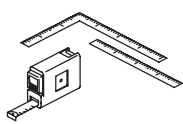
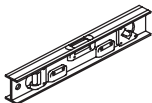
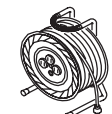
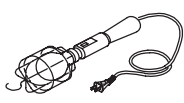
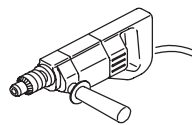
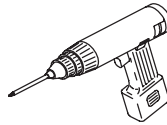
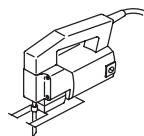
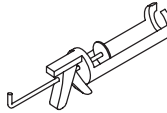
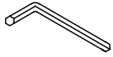
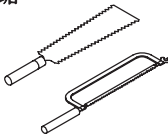
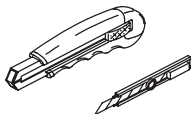
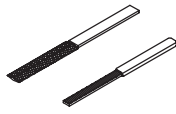
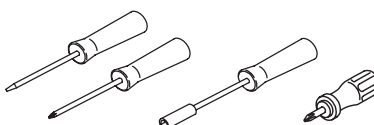
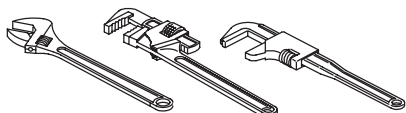
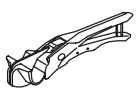
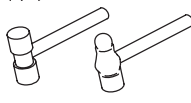
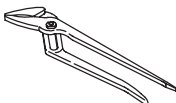
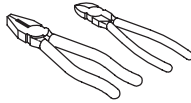
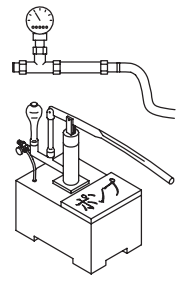
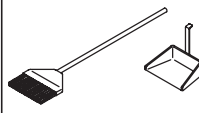
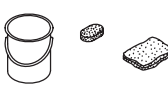
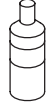
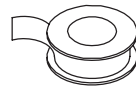
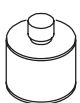
1



ナット付き床支持プレート

1

1.3 取付設置に必要な工具

専用 工具	トラップ締付工具  GVR7106	平目地打込み治具  GD9111	壁目地打込み治具  GVR7107	仮目地  GVP3269	
必要 工具	水準器 	レーザー墨出器 	下振り(2個) 	コンベックス・鋼尺 	鉛筆(ケガキ用具) 
		墨つぼ・墨さし 	水平器 	キャブタイヤドラム 	作業灯 
	電気ドリル 	充電ドライバー 	ジグソー 	シーリングガン 	六角棒スパナ(六角レンチ) φ2.5 φ3.0(収納棚に同梱) 
	ストレートドリル φ2.8 φ5.0 	ホールソー φ30 	鋸 	カッター(大・小) 	ヤスリ(中目・細目) 
	ドライバー・ボックスドライバー・精密ドライバー 	モンキーレンチ・パイプレンチ・モーターレンチ 			パイプカッター 
	脚立 	プラスチックハンマー 片手ハンマー 	ウォーターポンプ プライヤー 	ペンチ・ニッパー 	水圧テストポンプ 
	吸盤 	ほうき・ちりとり 	バケツ・スポンジ・ウエス 	清掃用洗剤 またはエタノール 	
	シールテープ 	塩ビ管接着剤 (青色着色) 	シーリング材 		

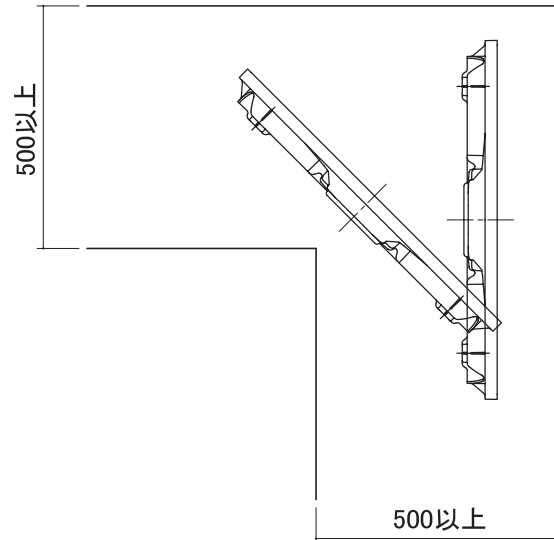
組立用資材

・ウエス ・木片 ・養生用毛布

1.4 搬入経路の確認

搬入間口寸法は、500mm以上であれば搬入可能です。
※ハイパネルの場合は、天井の高さにもご注意ください。

【床】

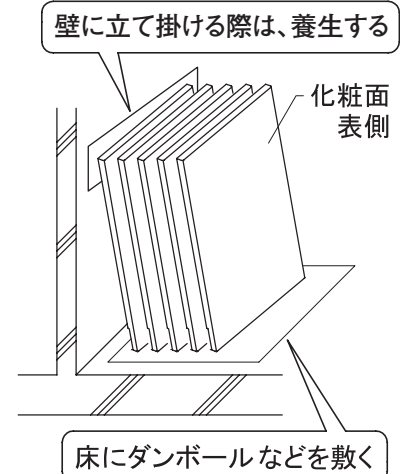


1.5 部材チェック

(1) 部材搬入～間配り

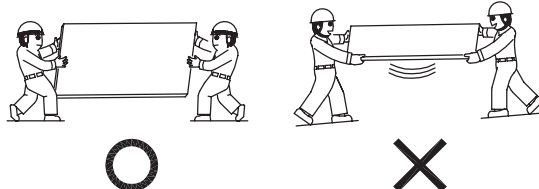
取付設置上の お願い

- ・部材の搬入は事前に打合せ、確認した時間、方法で行ってください。
仮置場所(ストックヤード)は他の作業の防げ、損傷、雨水、溶接火花等に注意してください。
揚重機の運転操作が必要な場合は必ず有資格者が行ってください。
- ・壁パネルの間配りは“施工図”又は“壁パネル配置図”で品番(配置番号)を確認して行なってください。
積み降し～持ち運びは化粧面にスリ傷をつけないように、ずらしたり、すべらしたりしないでください。
化粧面を内側にして持ち運びしてください。
化粧面を表側にそろえて仮置してください。



⚠ 注意

- ・壁パネル・天井パネルの荷扱いの際には、必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行ってください。
(素手で作業を行うと、パネルの折返し端部でけがをする恐れがあります。)
- ・二人作業で壁パネルを運ぶ場合は、必ず壁パネルを垂直にして運んでください。
(水平にして運ぶと壁パネルを損傷させる恐れがあります。)

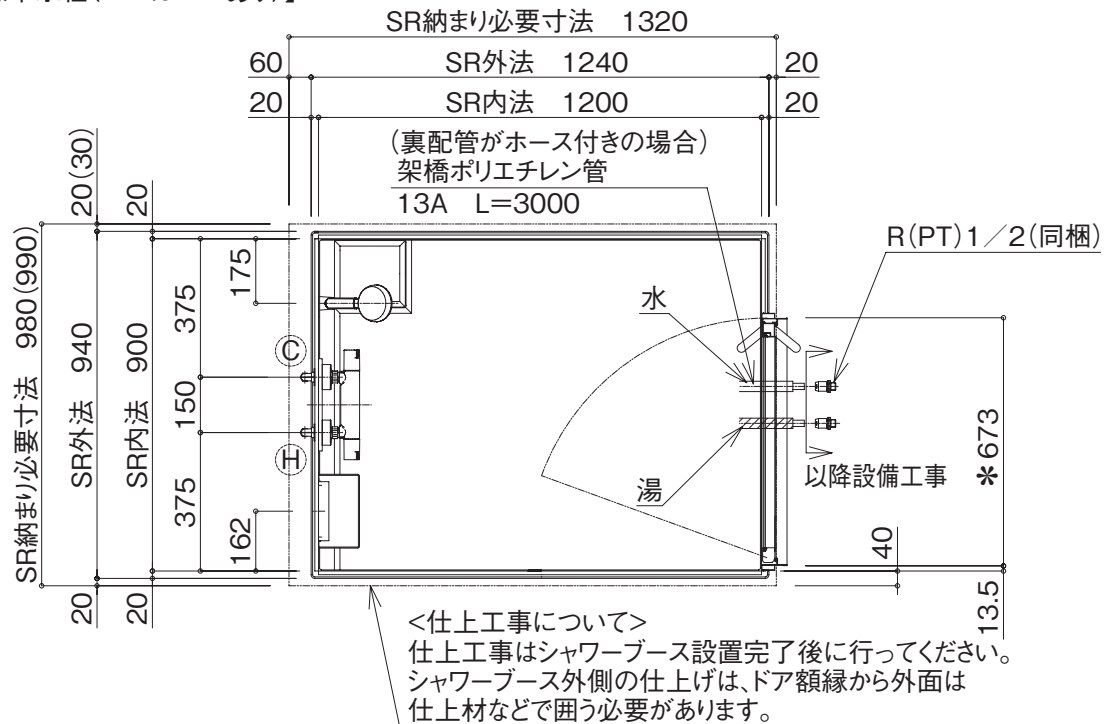


1.6 SR 納まり参考図

(1) 平面

建築平面図及びユニット納まり図面に基づき、ユニット墨出しを行ってください。

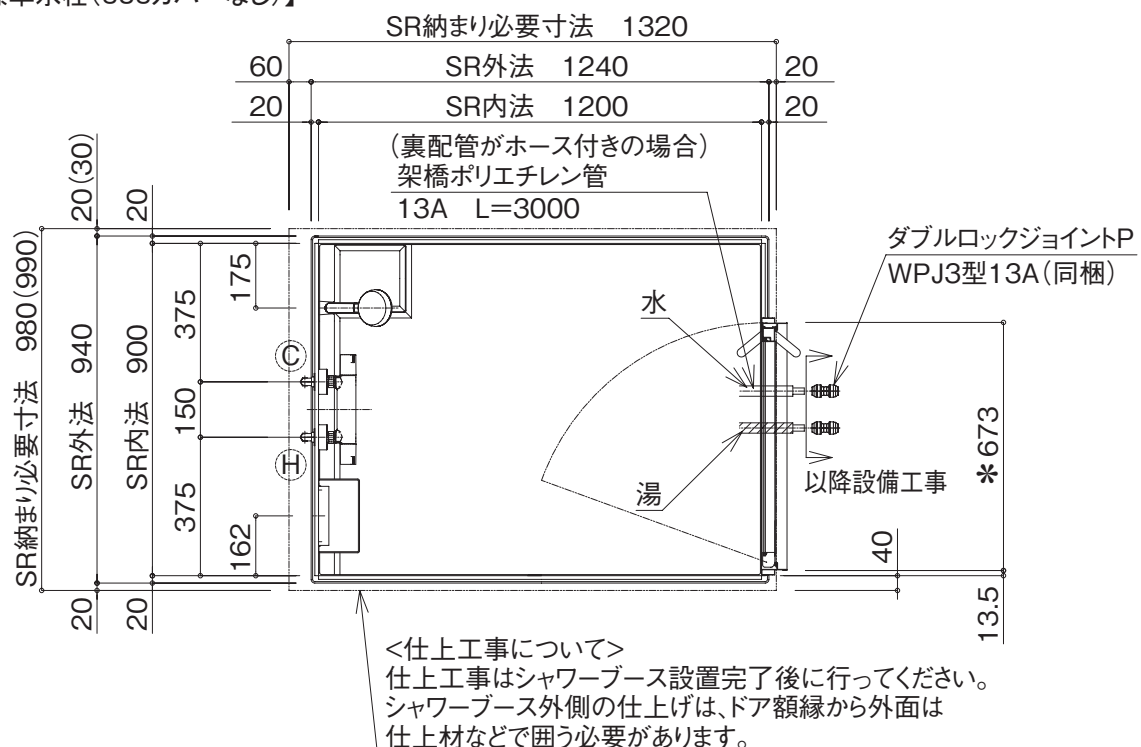
【標準水栓(SUSカバーあり)】



() 内寸法は、ストレート照明の場合

*寸法は、ドアアングルピース外～外寸法を示す

【標準水栓(SUSカバーなし)】



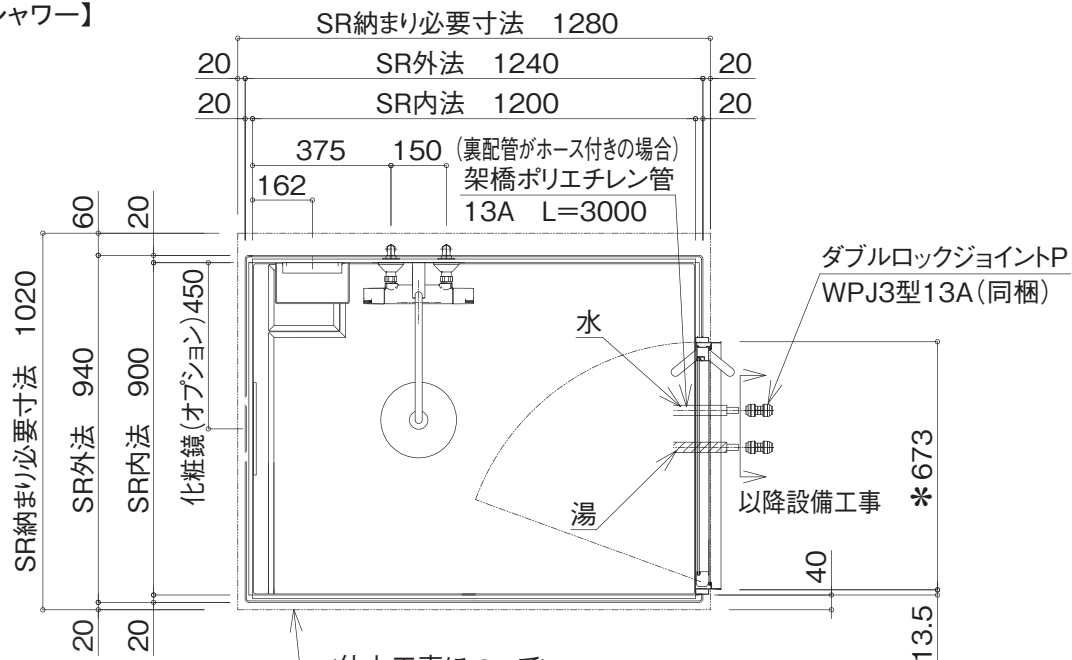
() 寸法はストレート照明の場合

*寸法は、ドアアングルピース外～外寸法を示す

※図はR勝手、開き戸の場合

1. 取付設置前の確認事項

【レインシャワー】

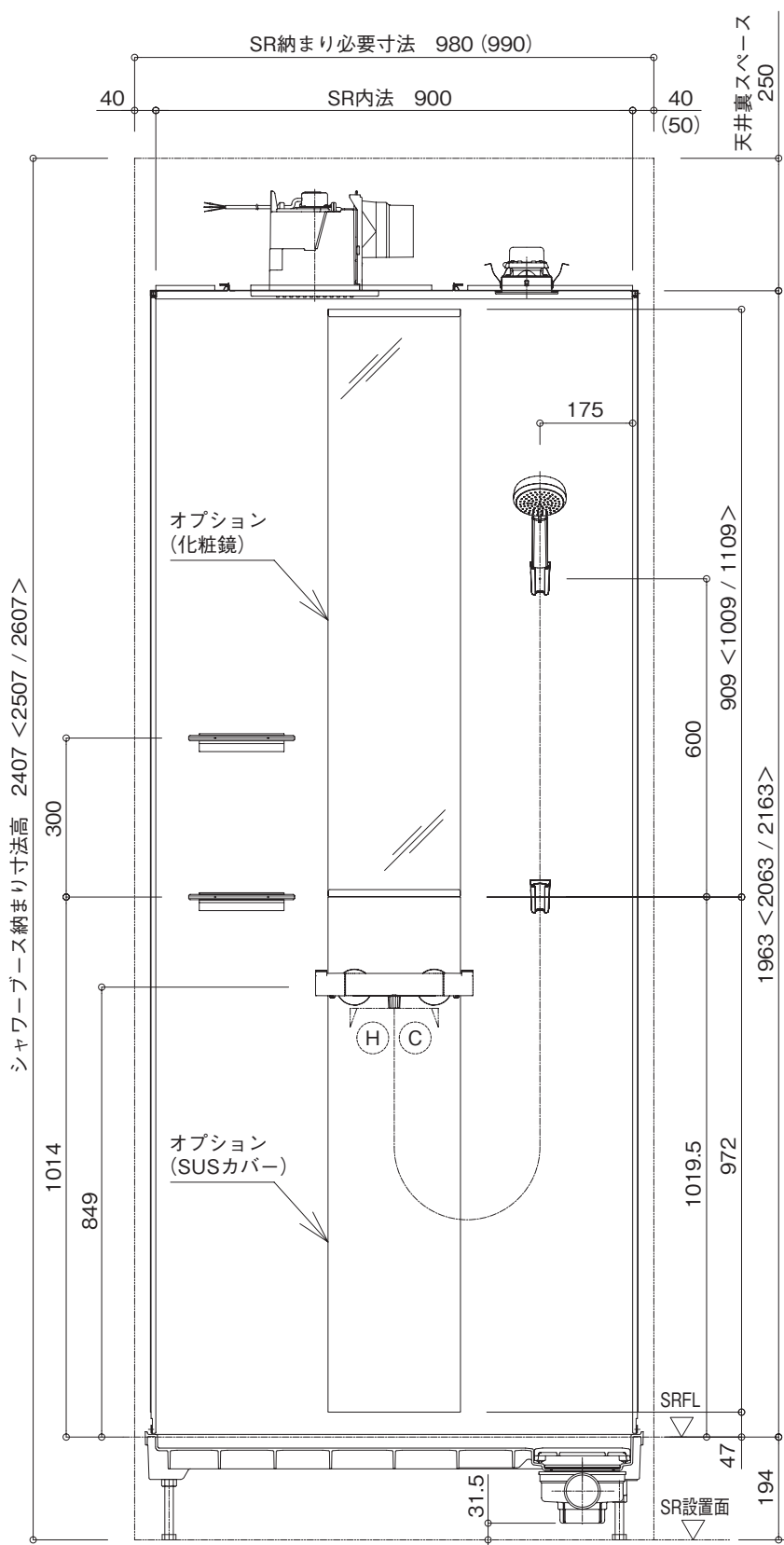


＜仕上工事について＞
仕上工事はシャワーブース設置完了後に行ってください。
シャワーブース外側の仕上げは、ドア額縁から外面は
仕上材などで囲う必要があります。

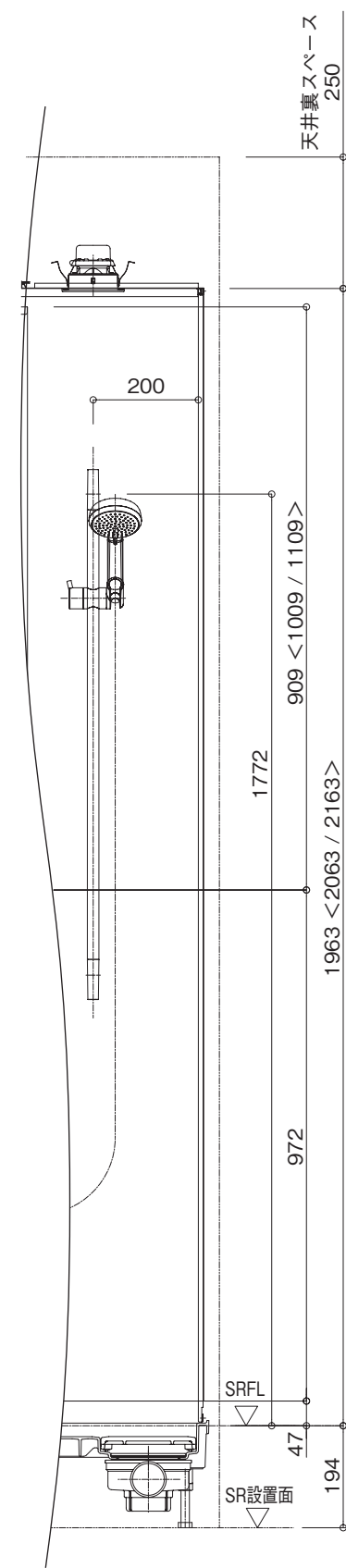
*寸法は、ドアアングルピース外～外寸法を示す

※図はR勝手、開き戸の場合

(2) 立面(標準水栓)



●オプション (スライドバーの場合)



※()内寸法は、ストレート照明の場合 ※＜ ＞内寸法は、+H100、+H200の場合

(3) 壁パネル加工図・補強合板貼付図

(標準水栓+アクリル棚)〈化粧鏡あり、SUSカバーあり〉

●標準加工

(標準水栓、化粧鏡、SUSカバー)

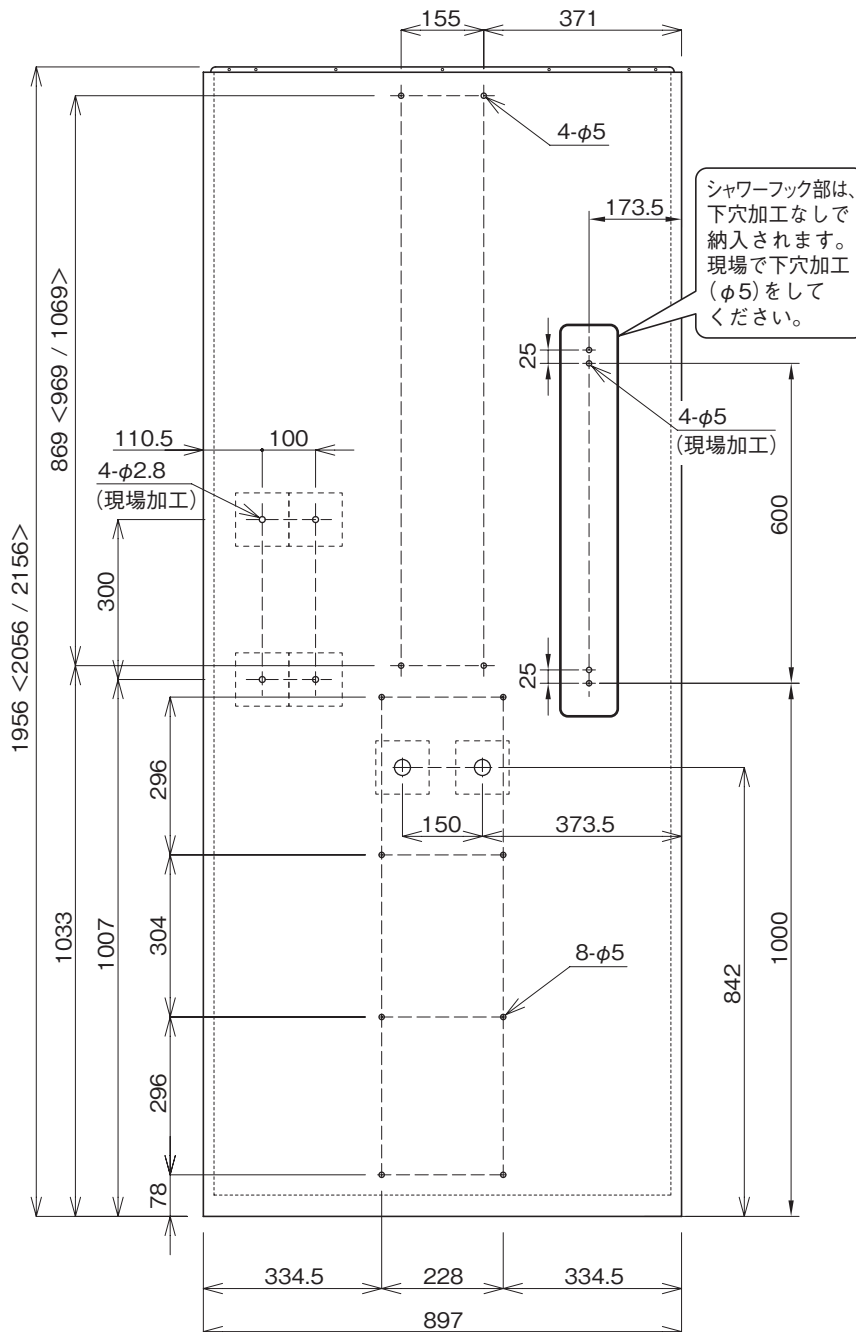
- ※下穴加工は、工場加工済みです。
- ※石膏ボード及び補強合板へ下穴の開口が必要です。
- ※下穴加工は壁パネル表面の鋼板にのみ施されています。

(シャワーフック部)

- ※下穴加工なしで納入しますので、現場で下穴加工(φ5)をしてください。

(アクリル棚)

- ※スタンプ表示となりますので、現場で下穴加工(φ2.8)をしてください。

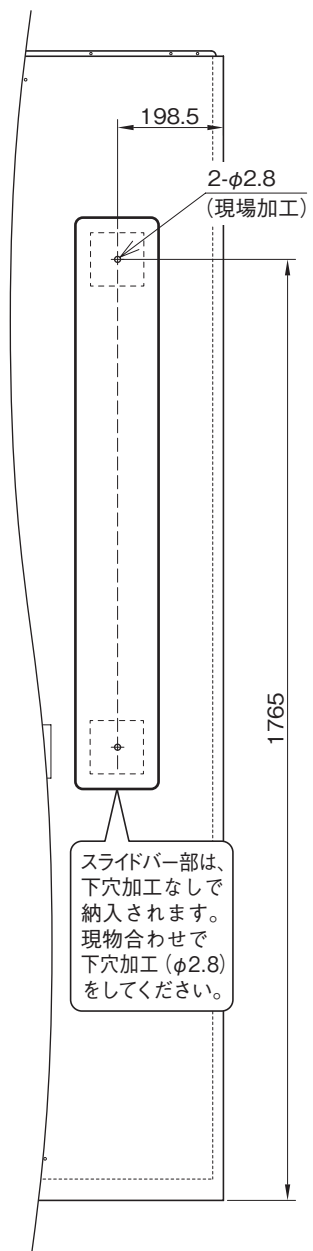


□ : 補強合板貼付け位置

●オプション

(スライドバー部)

- ※下穴加工なしで納入しますので、現場で下穴加工(φ2.8)をしてください。



※< >内寸法は、+H100、+H200の場合

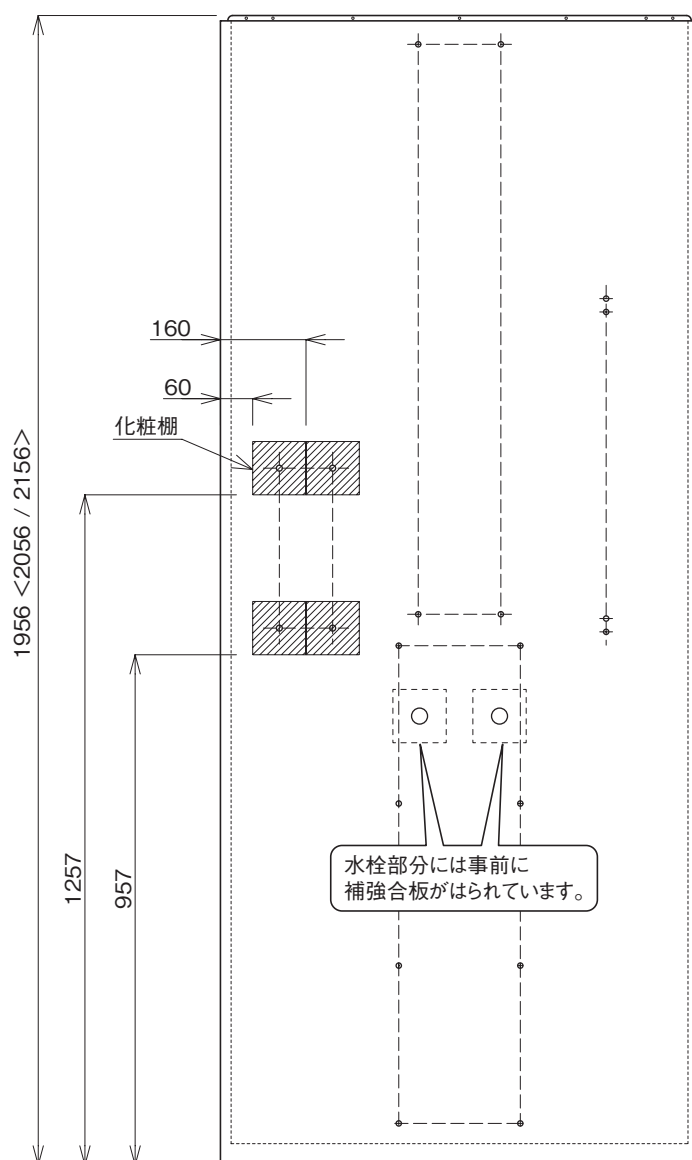
1. 取付設置前の確認事項

（標準水栓+アクリル棚）〈化粧鏡あり、SUSカバーあり〉

●標準加工

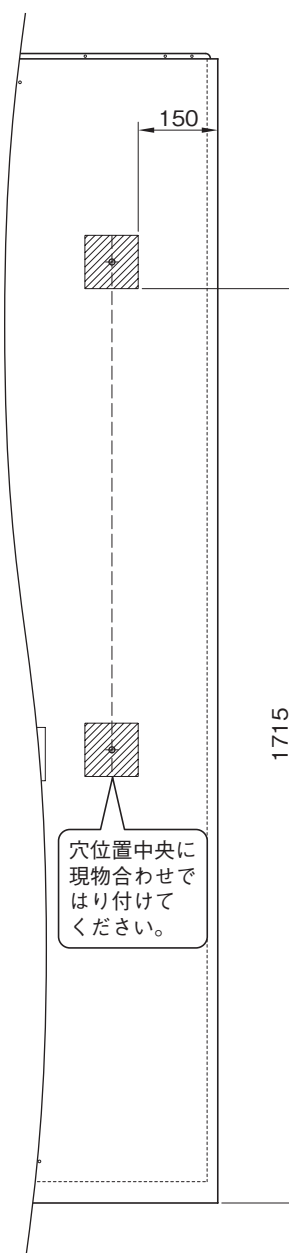
- ・裏側から補強合板（製品に付属）を両面テープとシーリング材ではり付けてください。
- ・水栓部分には事前に補強合板がはられています。

※シャワーフック選択時はスライドバー（オプション）用の補強合板2枚が余りますので現場で破棄してください。



●オプション

（スライドバーの場合）



※< >内寸法は、+H100、+H200の場合

1. 取付設置前の確認事項

(標準水栓+アクリル棚)〈化粧鏡なし、SUSカバーなし〉

●標準加工

(標準水栓)

※下穴加工は、工場加工済みです。

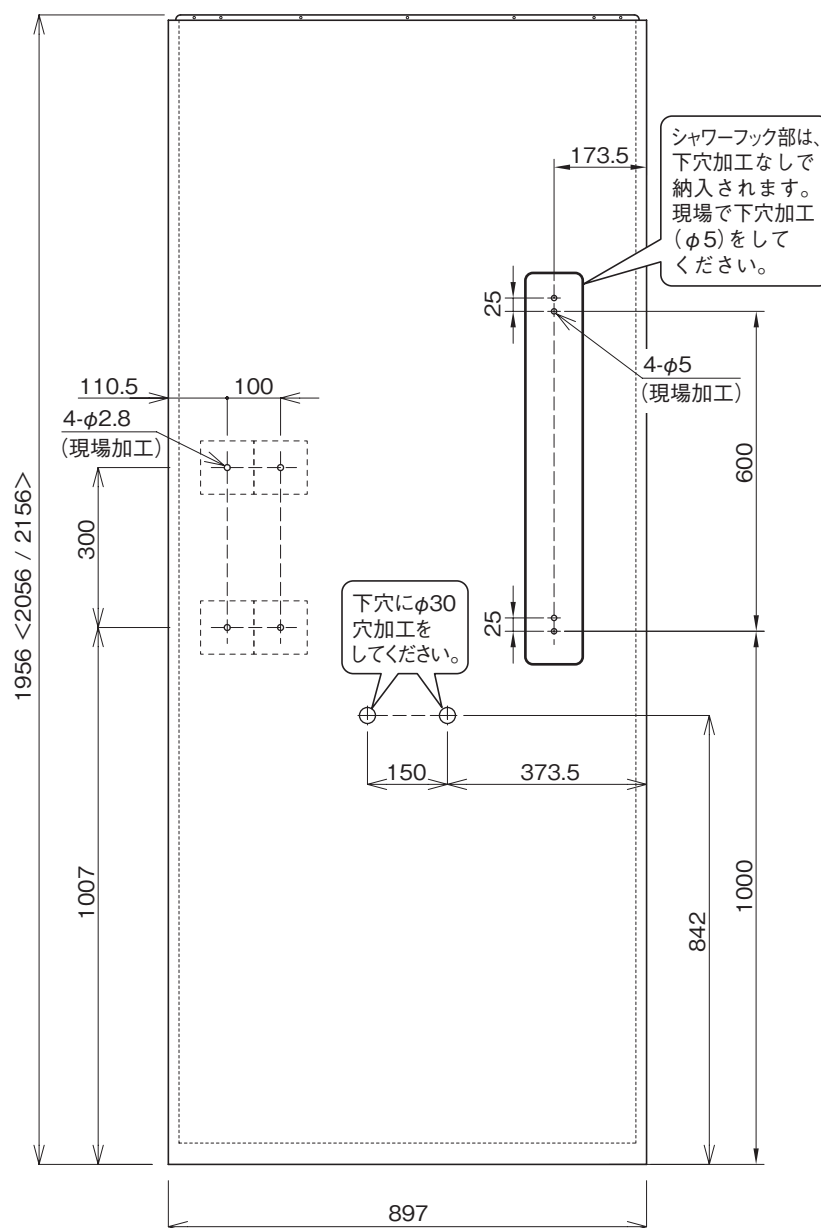
※壁パネル表面の鋼板と石膏ボードにφ30穴加工が必要です。
(3-1ページのホールソーでの穴開口の順序にて行ってください。)

(シャワーフック部)

※下穴加工なしで納入しますので、現場で下穴加工(φ5)をしてください。

(アクリル棚)

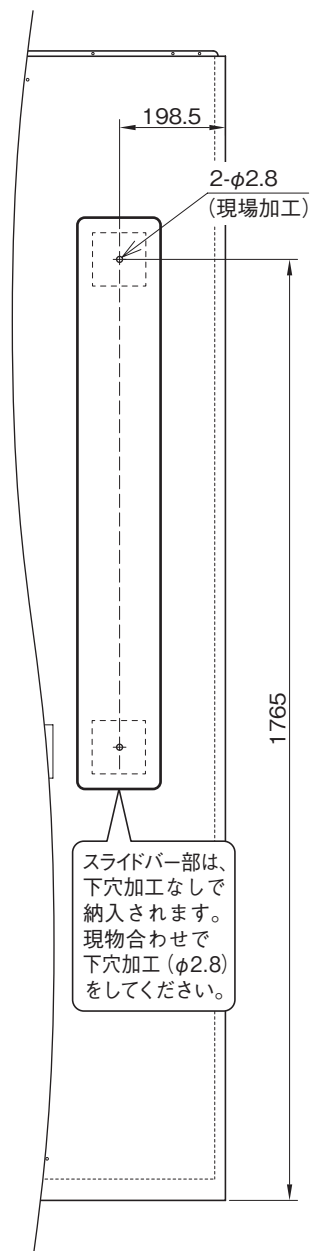
※スタンプ表示となりますので、現場で下穴加工(φ2.8)をしてください。



●オプション

|(スライドバー部)

※下穴加工なしで納入しますので、
現場で下穴加工(φ2.8)をして
ください。



□ : 補強合板貼付け位置

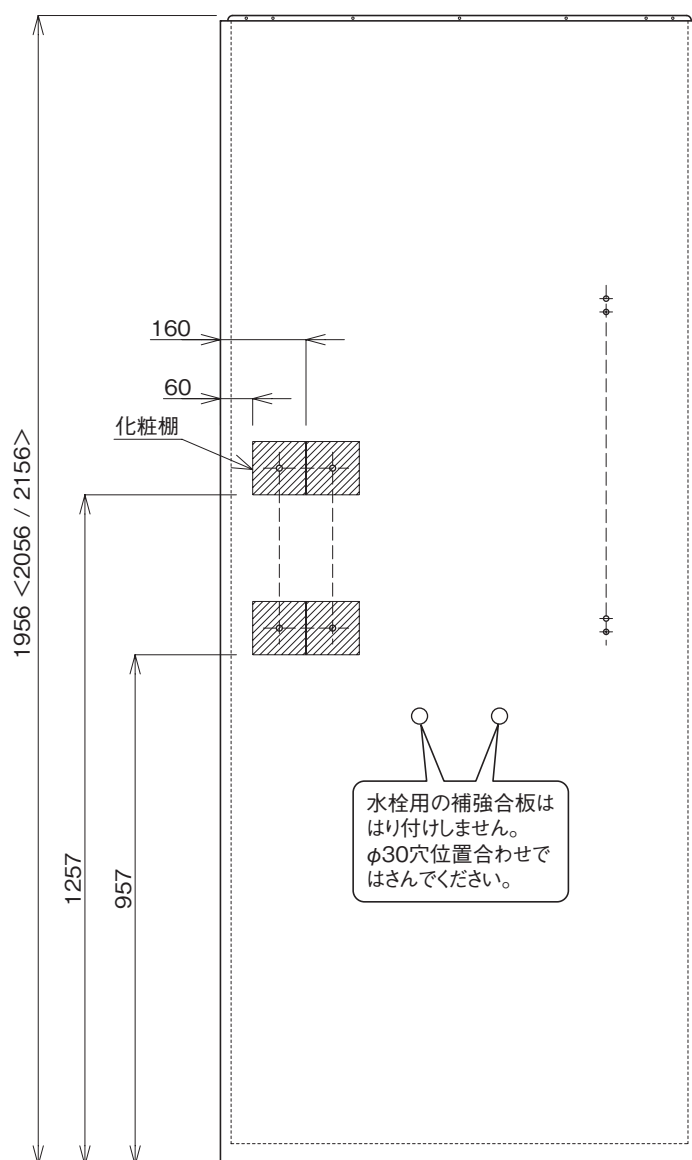
※＜ ＞内寸法は、+H100、+H200の場合

(標準水栓+アクリル棚)〈化粧鏡なし、SUSカバーなし〉

●標準加工

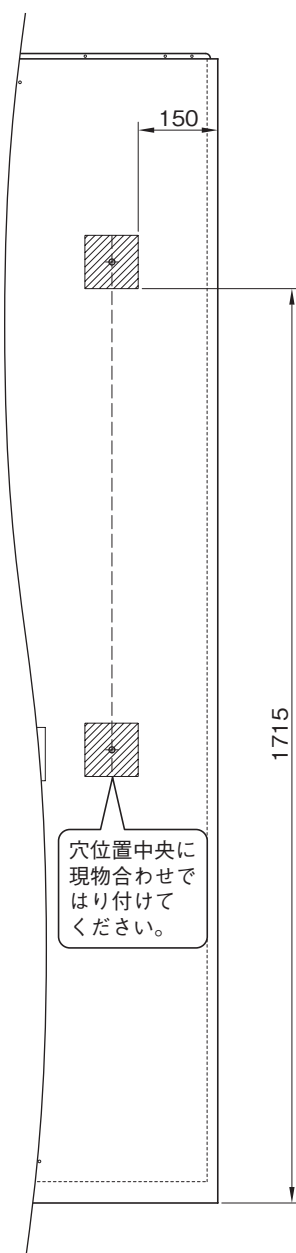
- ・裏側から補強合板(製品に付属)を両面テープとシーリング材ではり付けてください。
- ・水栓部分には事前に補強合板がはられています。

※シャワーフック選択時はスライドバー (オプション) 用の補強合板 2枚が余りますので現場で破棄してください。



●オプション

(スライドバーの場合)



※＜ ＞内寸法は、+H100、+H200の場合

1. 取付設置前の確認事項

(標準水栓+ステンレス棚)〈化粧鏡あり、SUSカバーあり〉

●標準加工

(標準水栓、化粧鏡、SUSカバー)

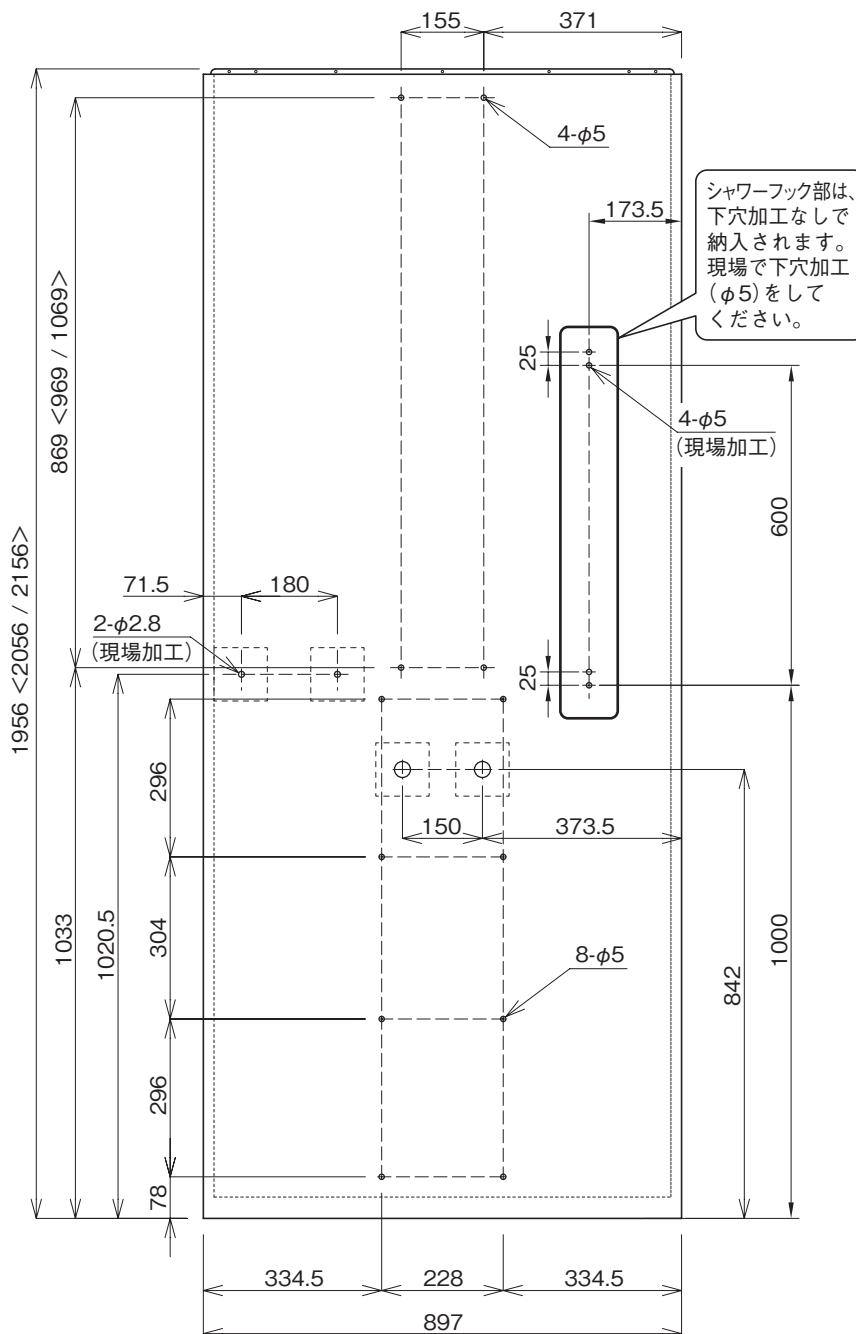
- ※下穴加工は、工場加工済みです。
- ※石膏ボード及び補強合板へ下穴の開口が必要です。
- ※下穴加工は壁パネル表面の鋼板にのみ施されています。

(シャワーフック部)

- ※下穴加工なしで納入しますので、現場で下穴加工(φ5)をしてください。

(ステンレス棚)

- ※スタンプ表示となりますので、現場で下穴加工(φ2.8)をしてください。

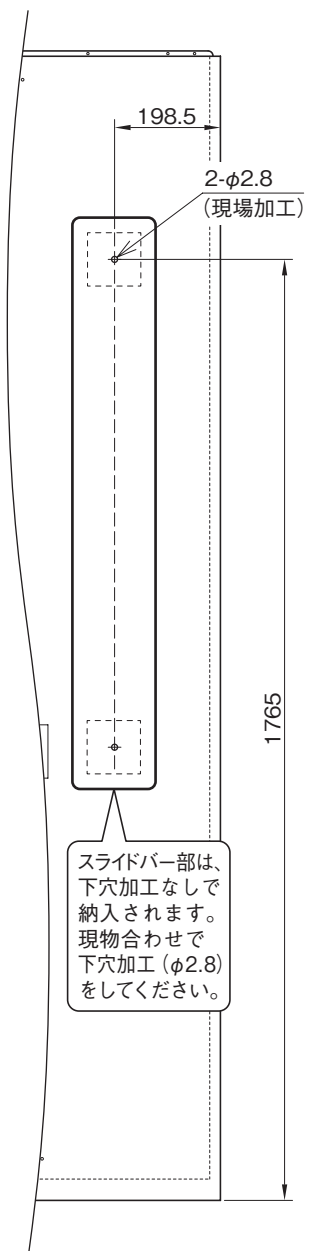


□ : 補強合板貼付け位置

●オプション

(スライドバー部)

- ※下穴加工なしで納入しますので、現場で下穴加工(φ2.8)をしてください。



※ < > 内寸法は、+H100、+H200の場合

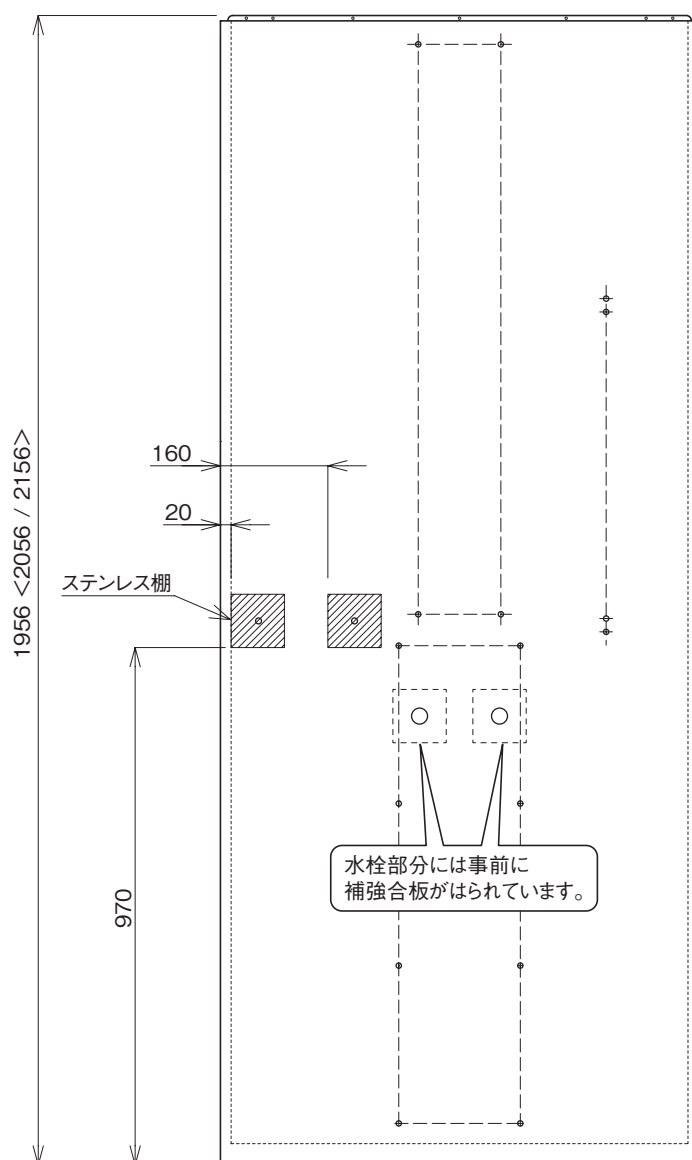
1. 取付設置前の確認事項

(標準水栓+ステンレス棚)〈化粧鏡あり、SUSカバーあり〉

●標準加工

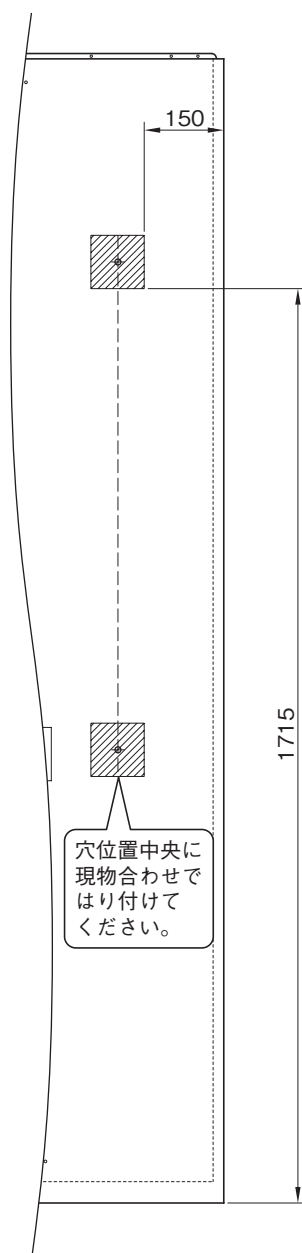
- ・裏側から補強合板(製品に付属)を両面テープとシーリング材ではり付けてください。
- ・水栓部分には事前に補強合板がはられています。

※シャワーフック選択時はスライドバー (オプション) 用の補強合板 2枚が余りますので現場で破棄してください。



●オプション

(スライドバーの場合)



※< >内寸法は、+H100、+H200の場合

1. 取付設置前の確認事項

(標準水栓+ステンレス棚)〈化粧鏡なし、SUSカバーなし〉

●標準加工

(標準水栓)

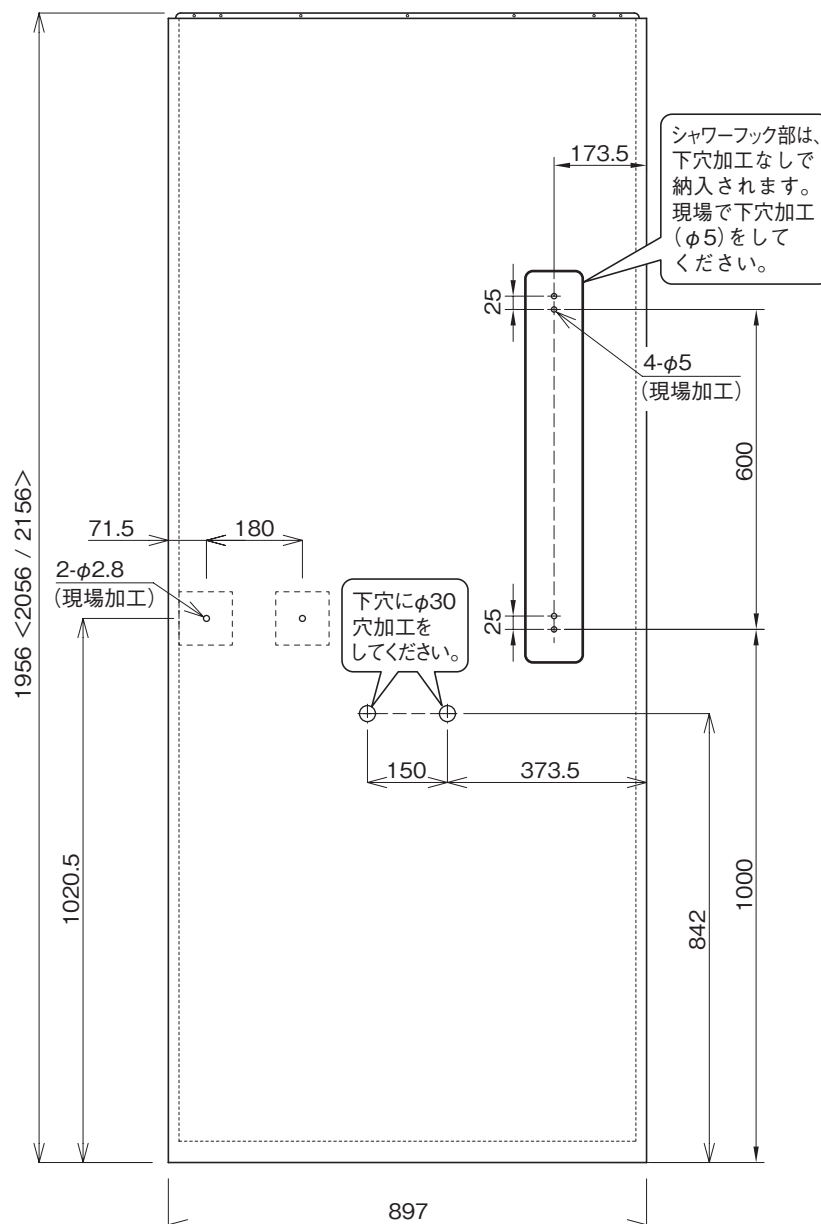
- ※下穴加工は、工場加工済みです。
- ※壁パネル表面の鋼板と石膏ボードに $\phi 30$ 穴加工が必要です。
(3-1ページのホールソーでの穴開口の手順にて行ってください。)

(シャワーフック部)

- ※下穴加工なしで納入しますので、現場で下穴加工($\phi 5$)をしてください。

(ステンレス棚)

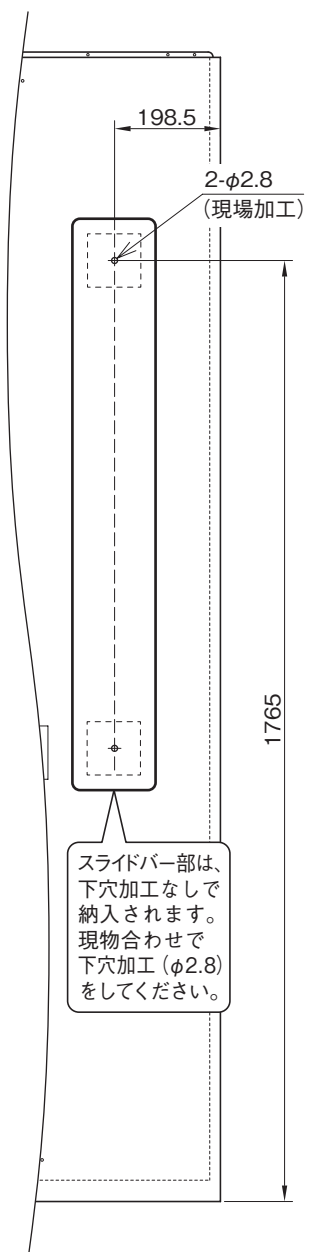
- ※スタンプ表示となりますので、現場で下穴加工($\phi 2.8$)をしてください。



●オプション

(スライドバー部)

- ※下穴加工なしで納入しますので、現場で下穴加工($\phi 2.8$)をしてください。



□ : 補強合板貼付け位置

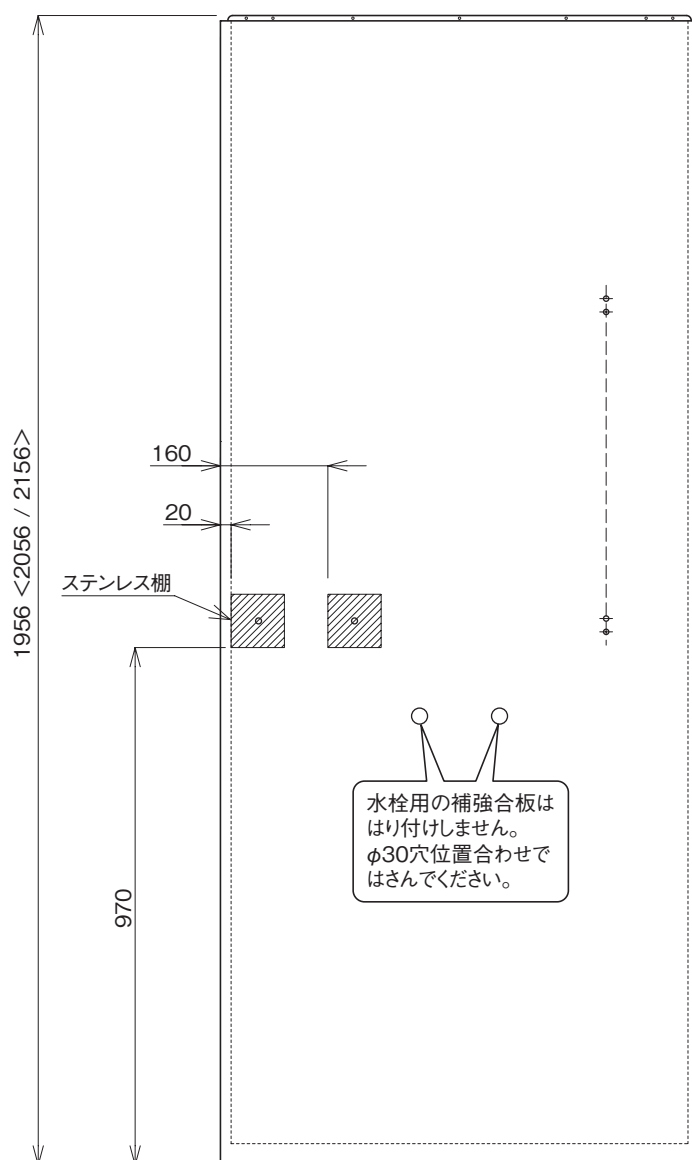
※ < > 内寸法は、+H100、+H200の場合

(標準水栓+ステンレス棚)〈化粧鏡なし、SUSカバーなし〉

●標準加工

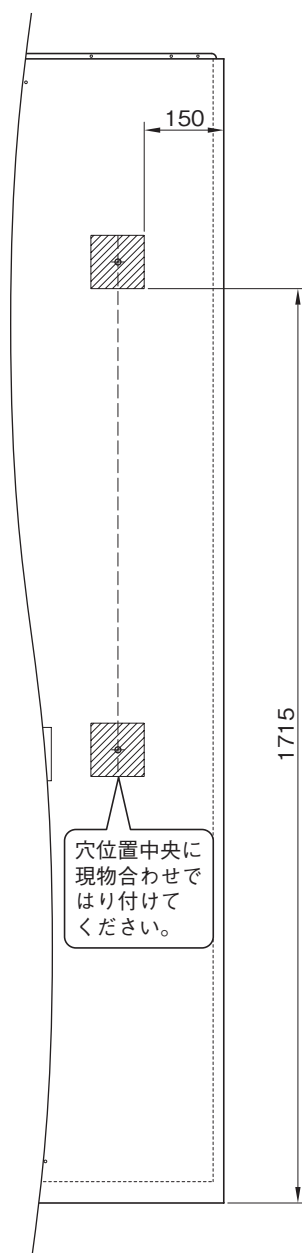
- ・裏側から補強合板(製品に付属)を両面テープとシーリング材で
はり付けてください。
- ・水栓部分には事前に補強合板がはられています。

※シャワーフック選択時はスライドバー (オプション) 用の
補強合板 2枚が余りますので現場で破棄してください。



●オプション

(スライドバーの場合)



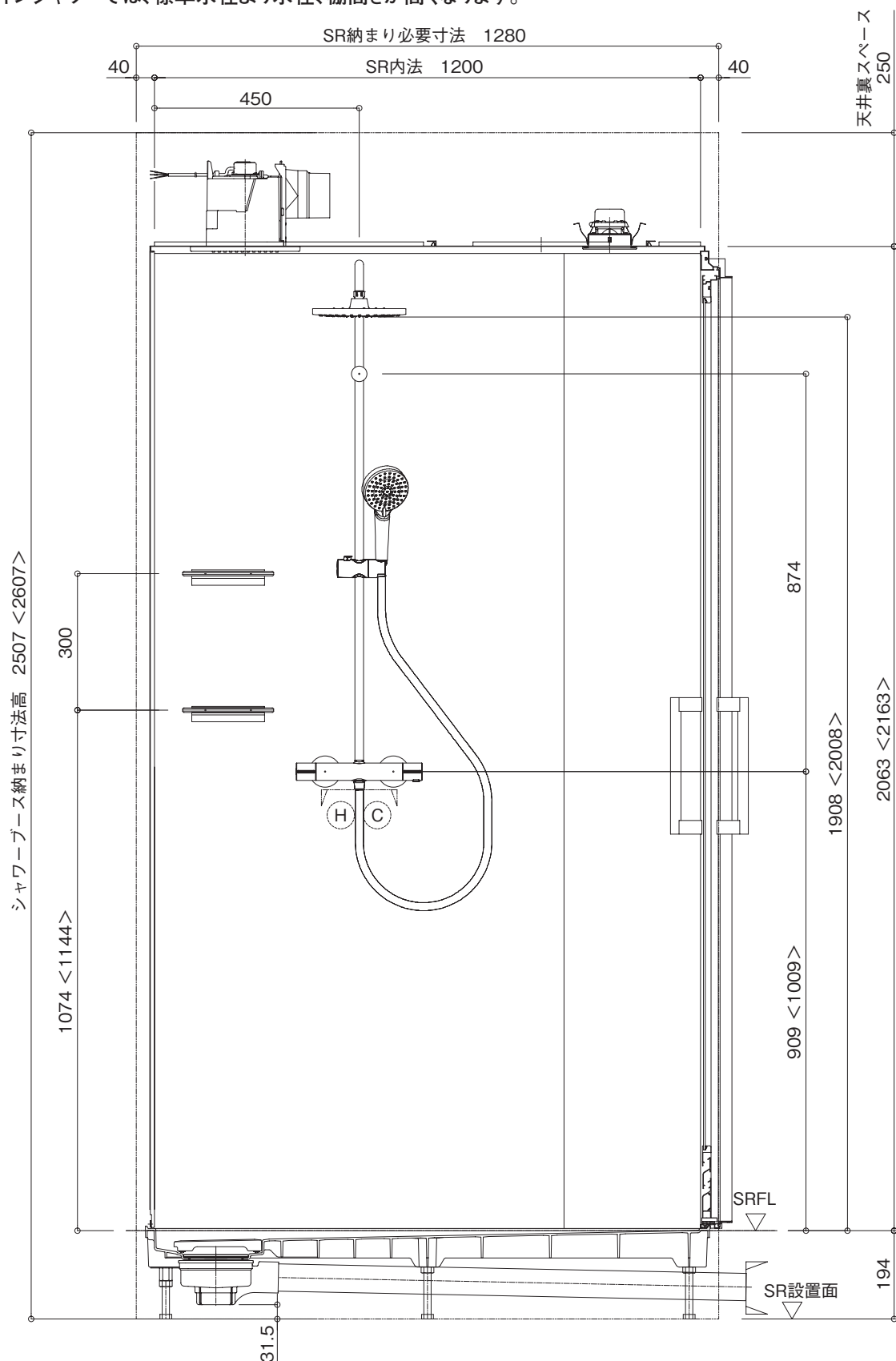
※< >内寸法は、+H100、+H200の場合

1. 取付設置前の確認事項

(4) 立面(オプション:レインシャワーの場合)

※レインシャワー選択時は、SUSカバーはありません。

※レインシャワーでは、標準水栓より水栓、棚高さが高くなります。



※< >内寸法は、天井高2163の場合

(5) 壁パネル加工図・補強合板貼付図

(オプション：レインシャワー+アクリル棚／ステンレス棚)

●標準加工

(レインシャワー、化粧鏡)

※下穴加工は、工場加工済みです。

※石膏ボード及び補強合板へ下穴の開口が必要です。

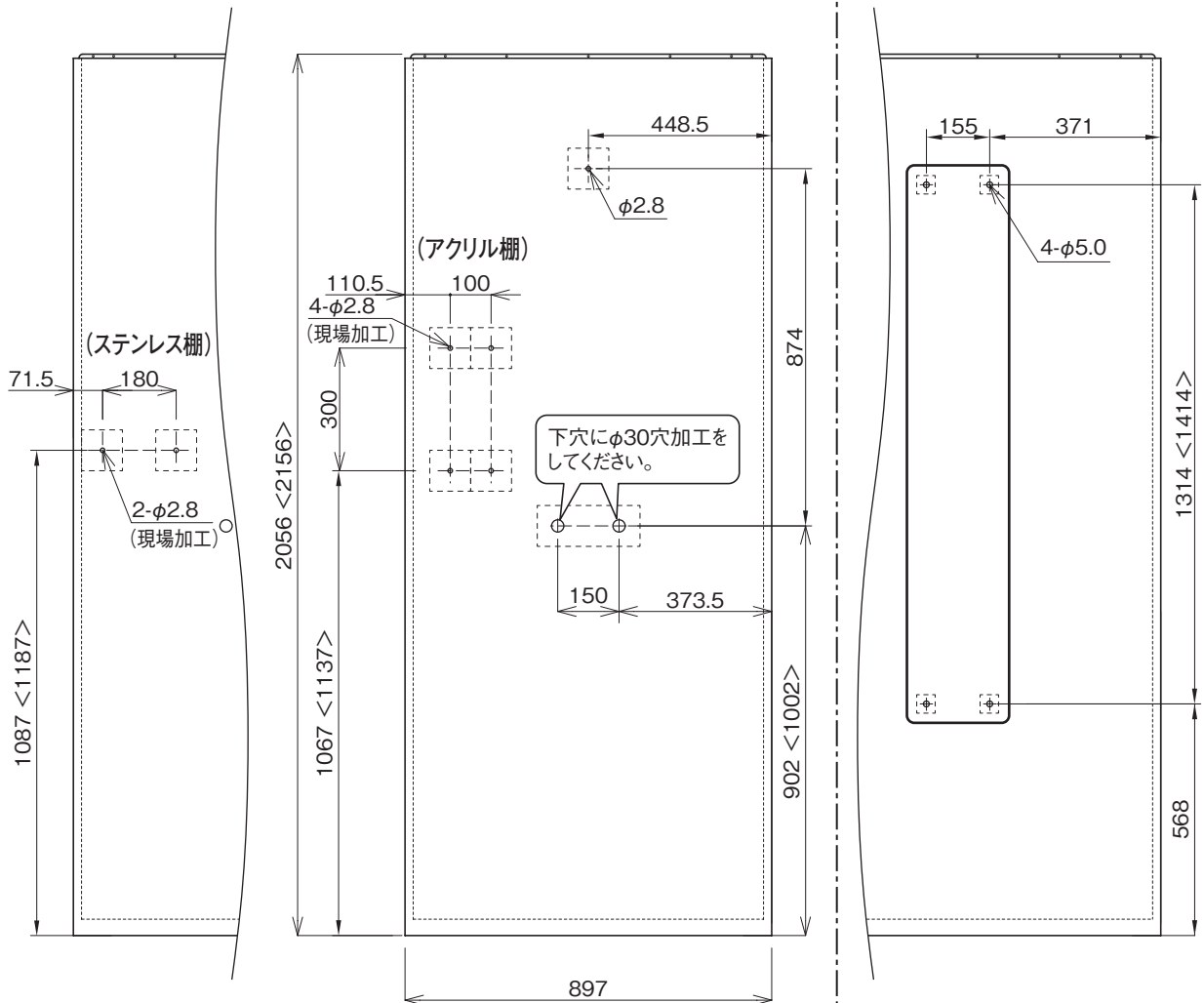
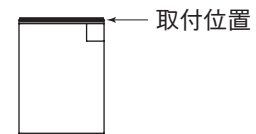
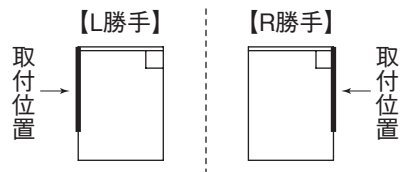
※下穴加工は壁パネル表面の鋼板にのみ施されています。

(アクリル棚、ステンレス棚)

※スタンプ表示となりますので、現場で下穴加工(φ2.8)をしてください。

●オプション

(化粧鏡)



□：補強合板貼付け位置

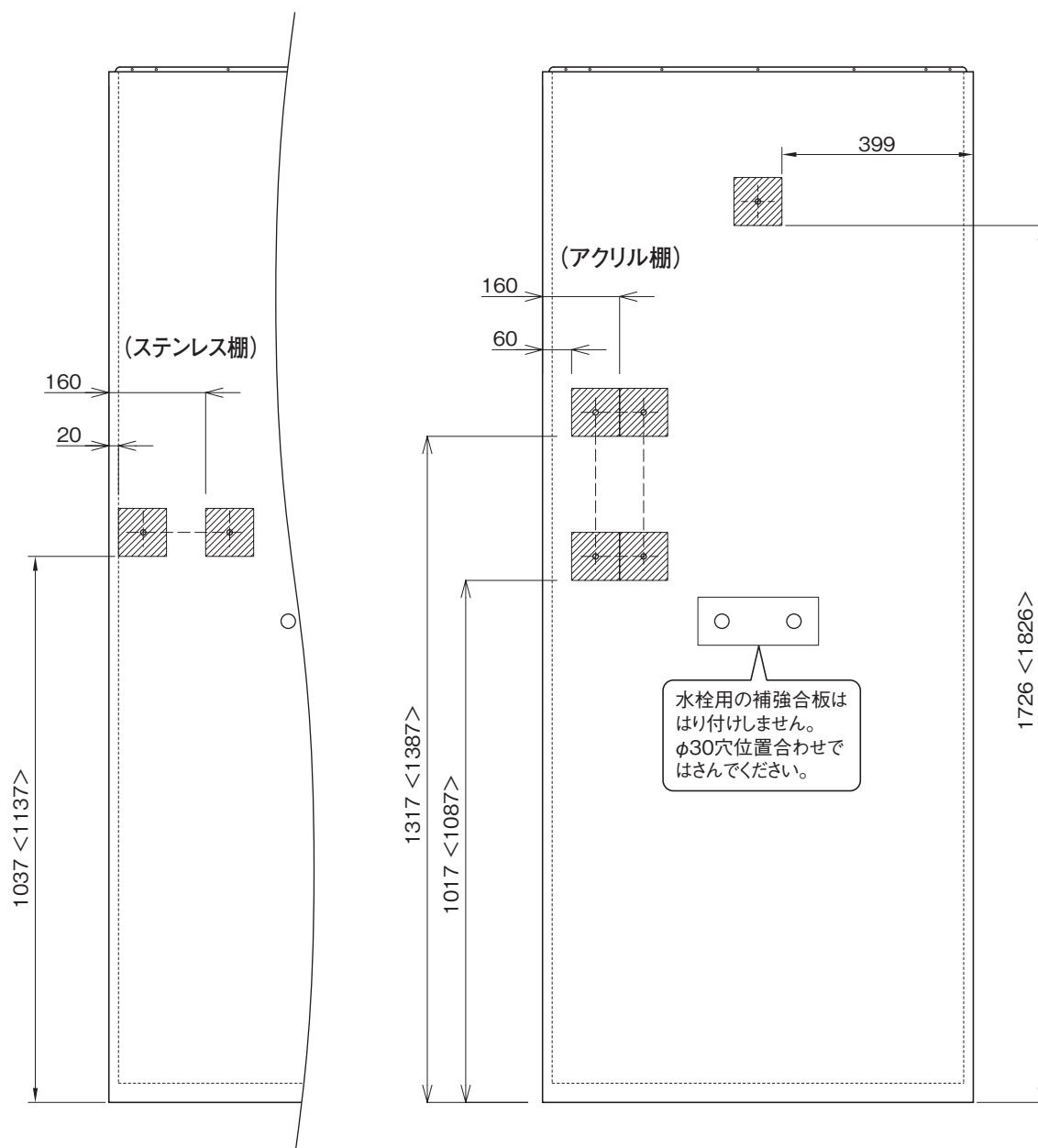
※ < > 内寸法は、天井高2163の場合

1. 取付設置前の確認事項

(オプション:レインシャワー+アクリル棚/ステンレス棚)

※裏面から補強合板(製品に付属)を両面テープとシーリング材ではり付けてください。

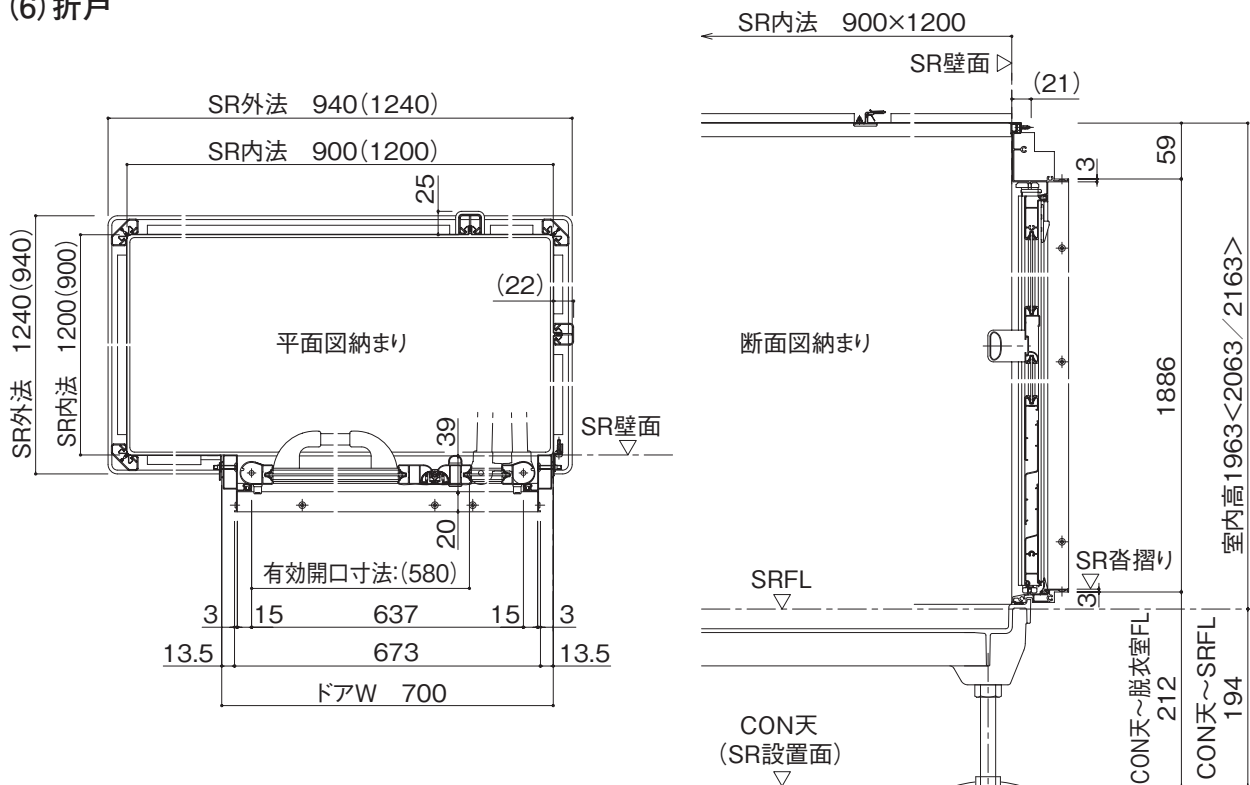
※レインシャワー選択時は補強合板が1枚余ります。現場で破棄してください。



※< >内寸法は、天井高2163の場合

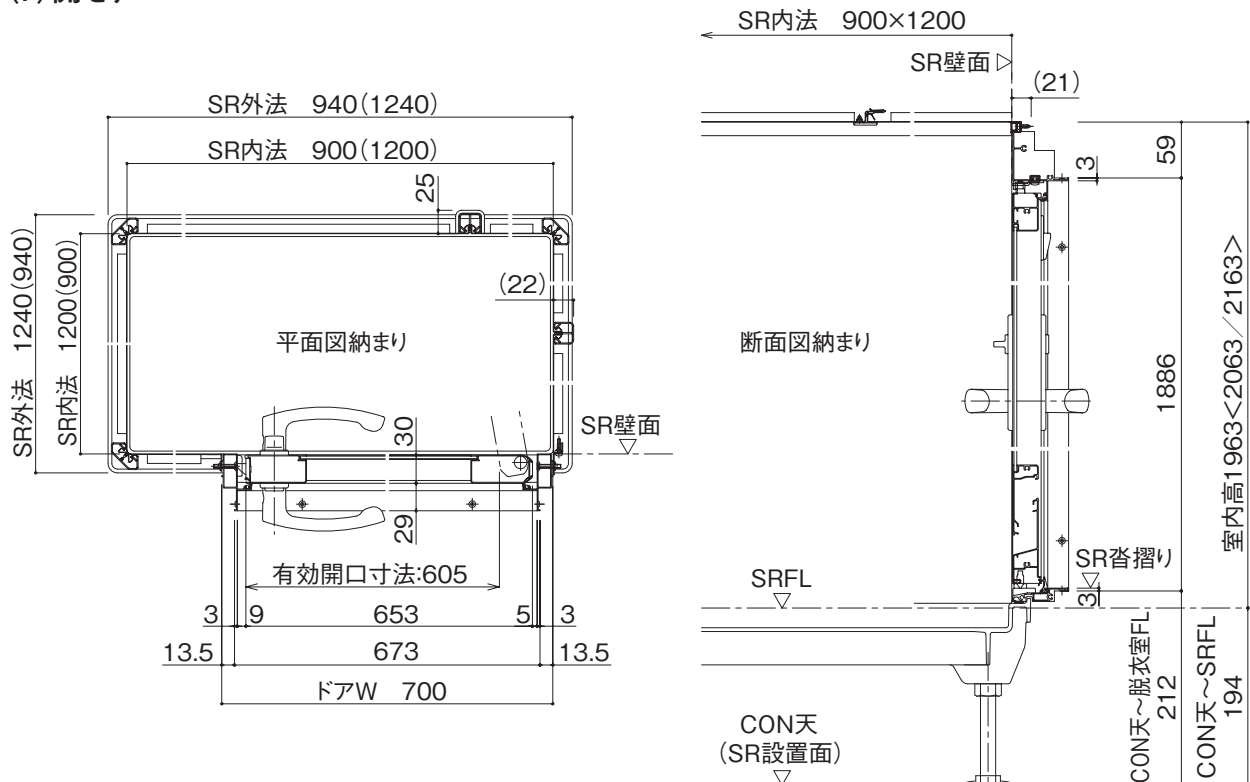
1. 取付設置前の確認事項

(6) 折戸



※現場での取付設置高さの調整代は、CON天の不陸吸収代を含み、±10mmです。
 ※< >内寸法は、+H100、+H200の場合

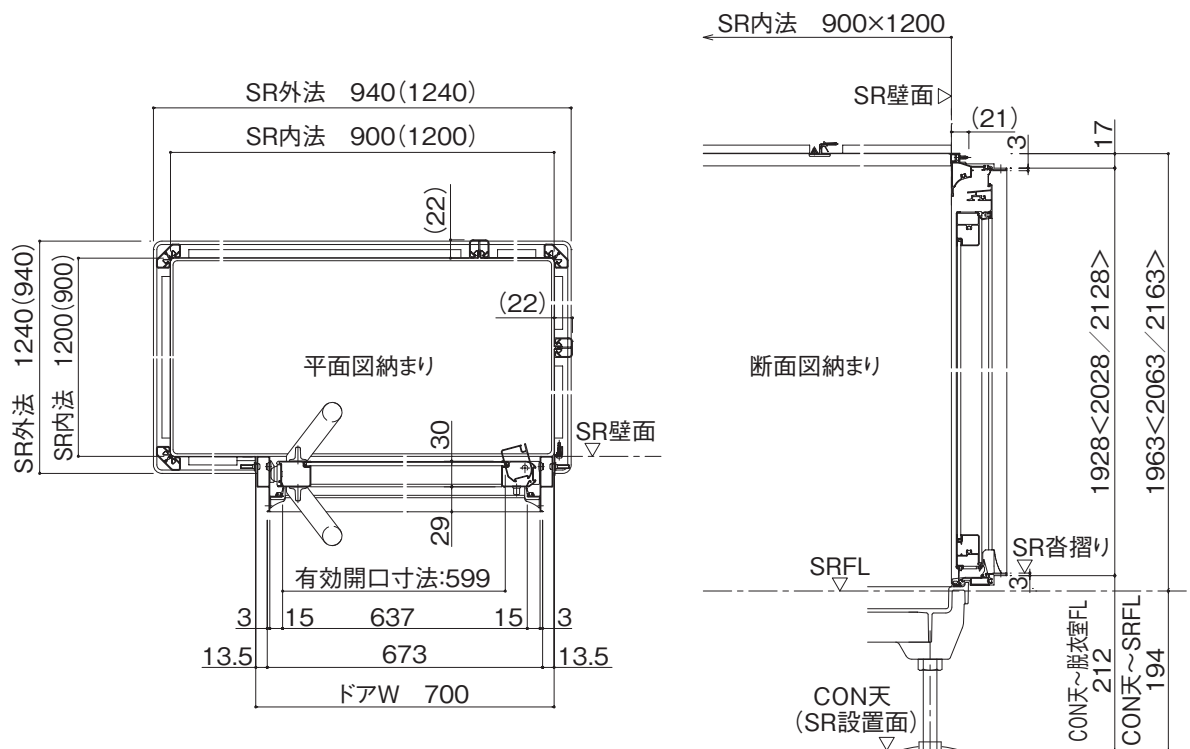
(7) 開き戸



※現場での取付設置高さの調整代は、CON天の不陸吸収代を含み、±10mmです。
 ※< >内寸法は、+H100、+H200の場合

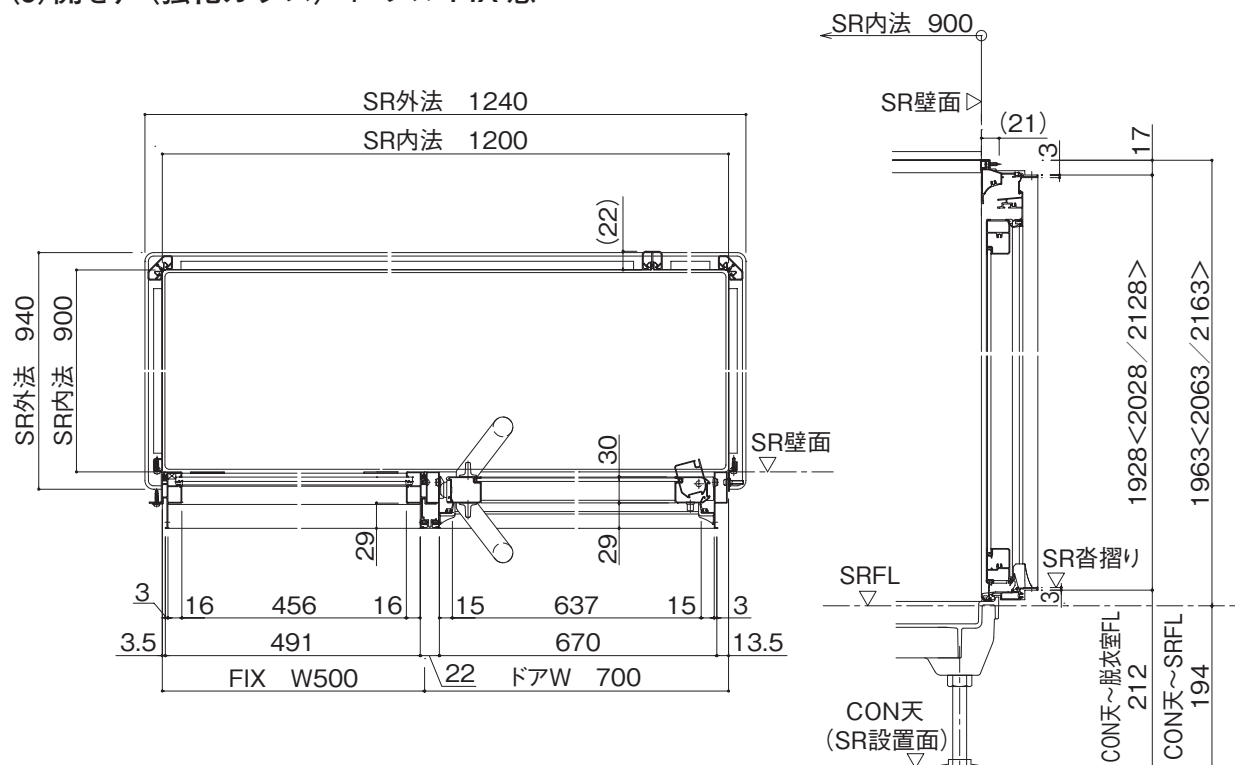
1. 取付設置前の確認事項

(8) 開き戸 (強化ガラス)



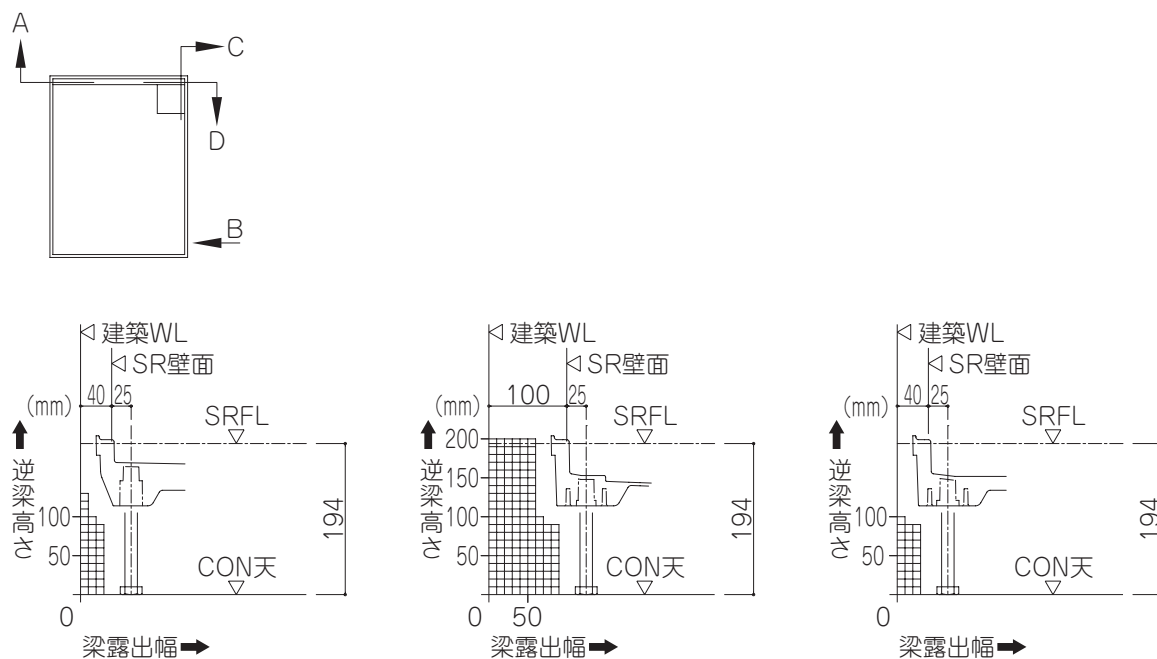
※現場での取付設置高さの調整代は、CON天の不陸吸収代を含み、±10mmです。
※< >内寸法は、+H100、+H200の場合

(9) 開き戸 (強化ガラス) + フルFIX 窓



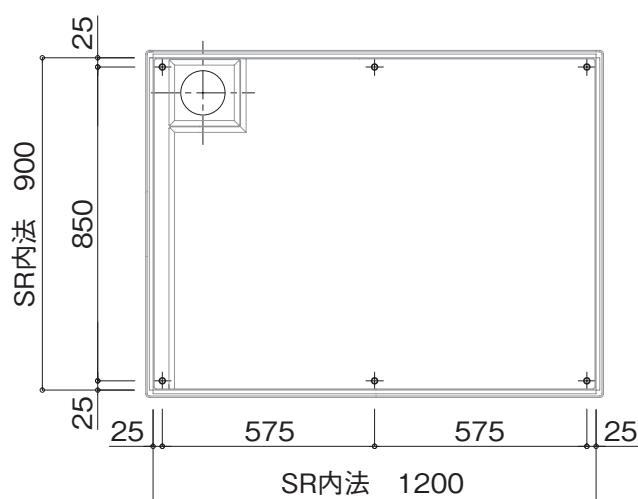
※現場での取付設置高さの調整代は、CON天の不陸吸収代を含み、±10mmです。
※< >内寸法は、+H100、+H200の場合

(10) 逆梁対応可能範囲図

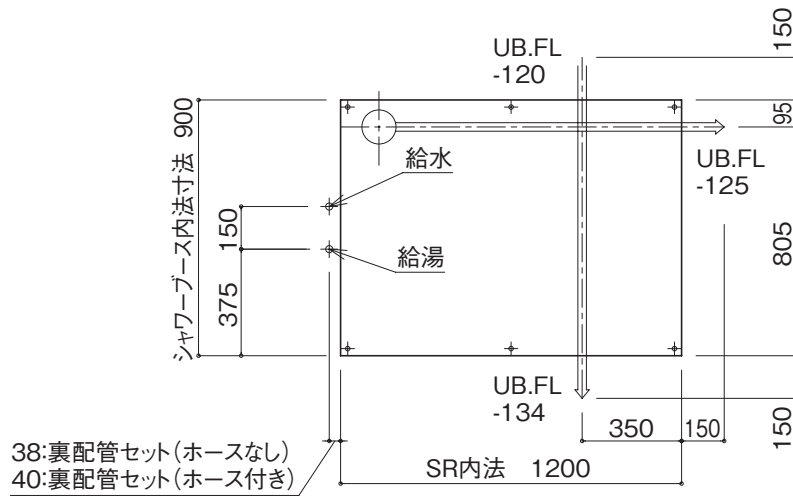


1.7 アジャスターボルト配置及び給水給湯管立上げ位置・排水可能方向図

(1) アジャスターボルト位置図

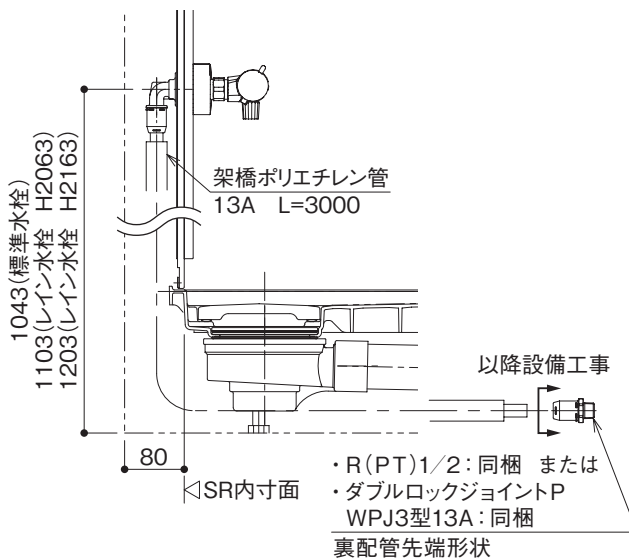


(2) 給水給湯位置・雑排水管取出し可能方向

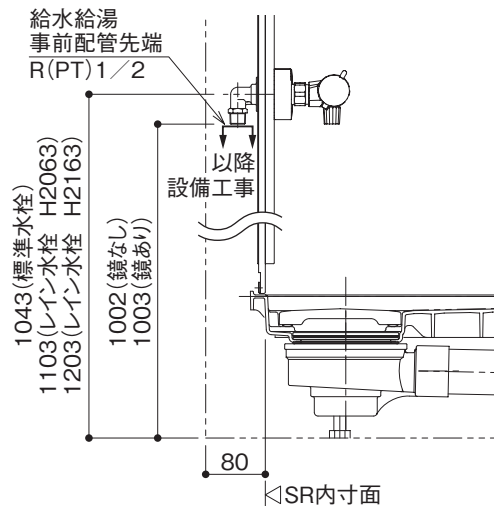


(3) 給水給湯位置・立ち上げ高さ

【裏配管セット(ホース付き)】

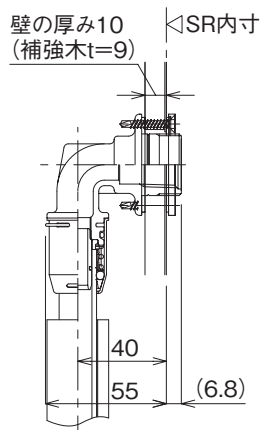


【裏配管セット(ホースなし)】

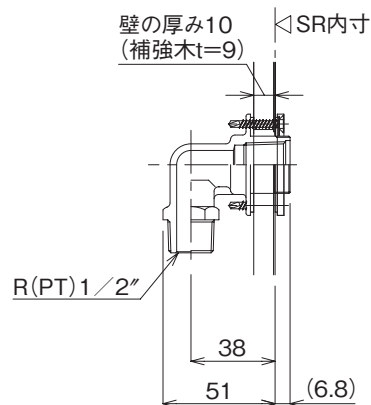


(4) 配管納まり寸法

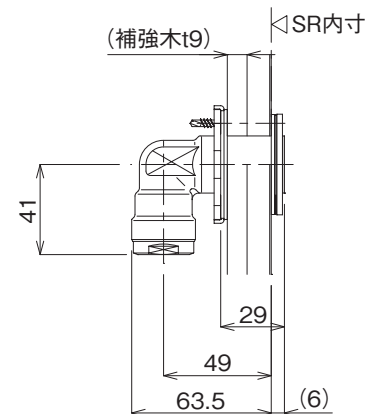
【裏配管セット(ホース付き)】



【裏配管セット(ホースなし)】



【オリジナル水栓固定金具裏配管・板セット】



2. 床パンの設置

2.1 ナット付き床支持プレートの取り付け

①床差し込み側のナット側面にシーリング材を塗布する。

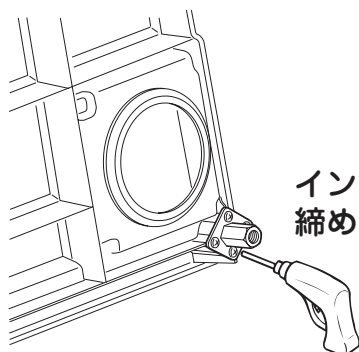
②ナット付き床支持プレートを取り付ける。

・音鳴り防止のソフトテープが床パン側になるようにねじで固定する。

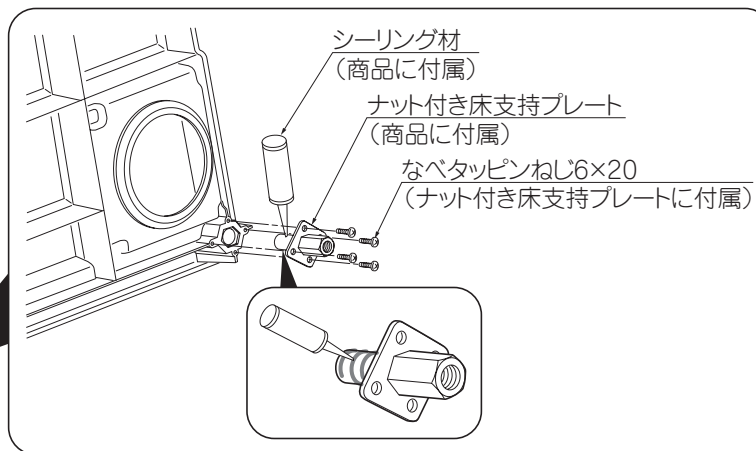
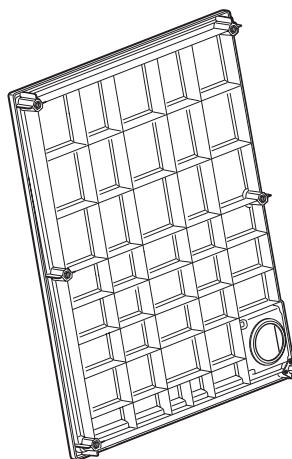
(なベタッピンねじ6×20 4箇所)

取付設置上
の
お願い

•インパクトドライバーでねじを締めすぎると、ねじ穴が潰れることがありますので、ご注意ください。



インパクトドライバーで
締め込みすぎない

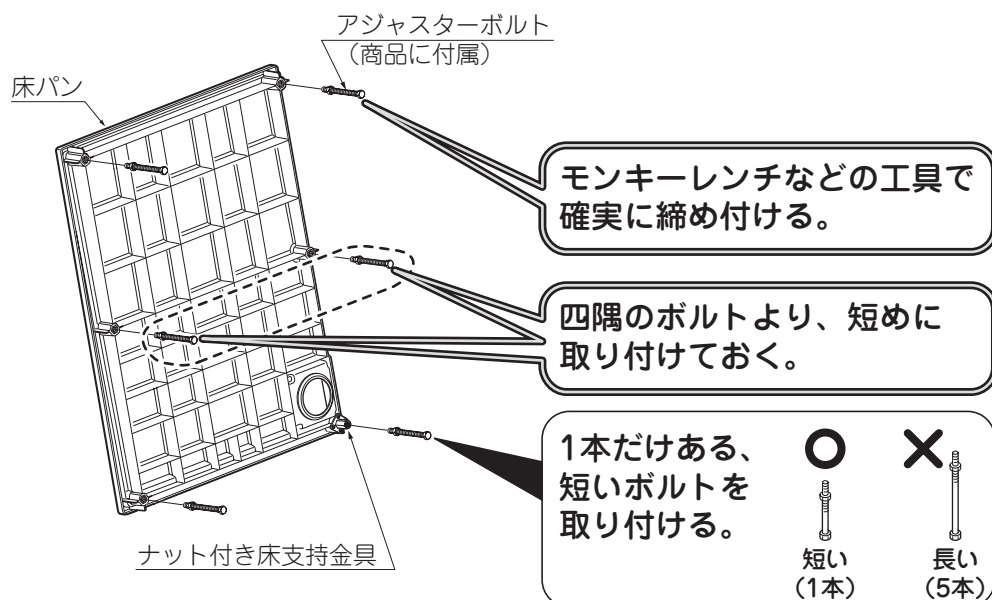


2.2 アジャスターボルトの取り付け

①床パンにボルトを取り付ける。(6個所)

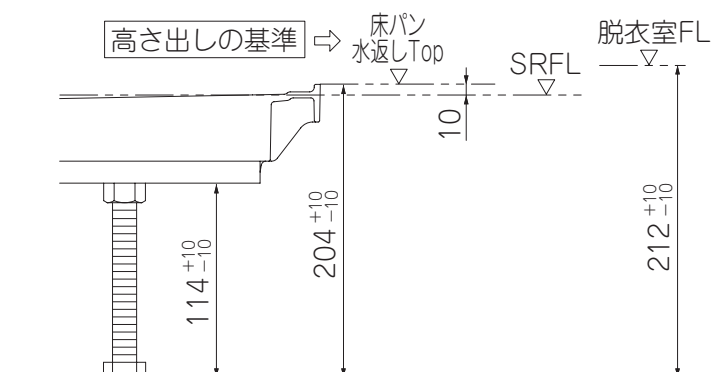
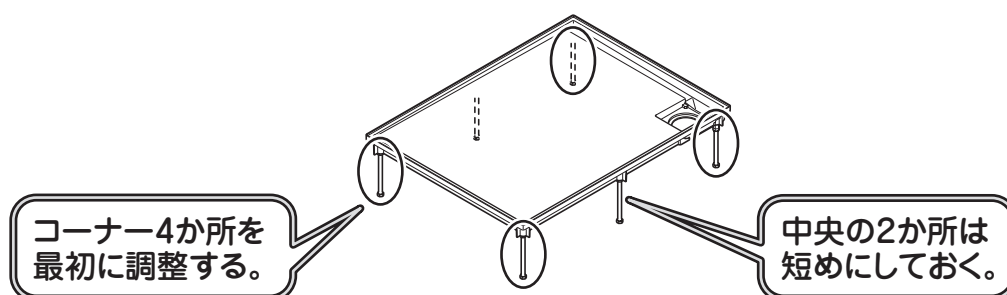
取付設置上の
お願い

- 床パン中央のボルトは、四隅のボルトより短めに取り付けてください。
床の据え付け時にレベルが出しやすくなります。

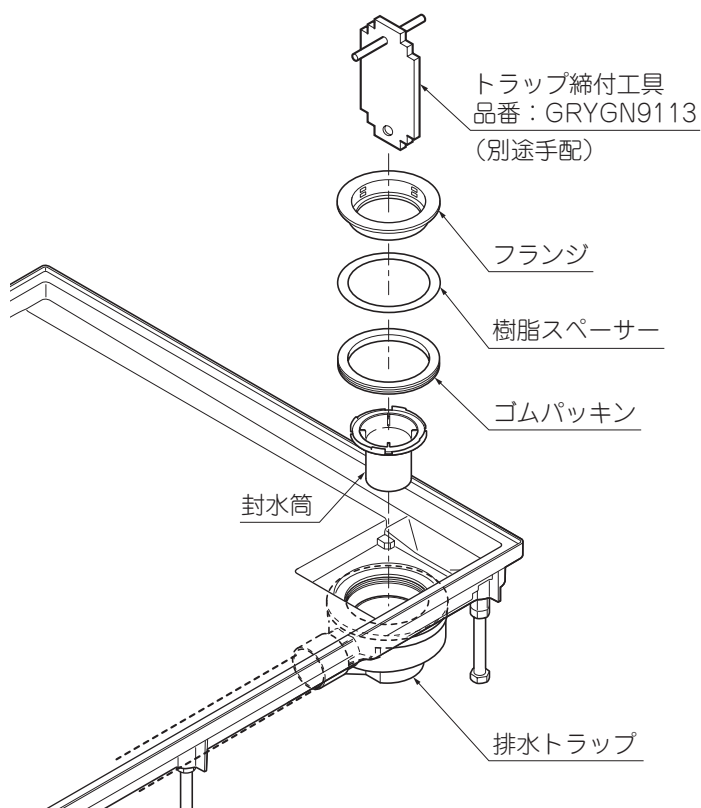


②アジャスターボルトの高さを仮調節する。(コーナー4個所)

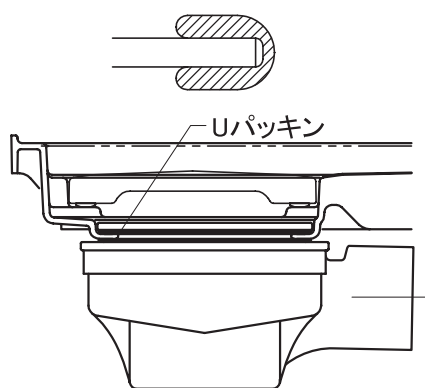
- ・高さの微調整は、アジャスターボルトで調節します。



2.3 排水トラップの取り付け



排水方向を確認の上、排水トラップを取り付けます。

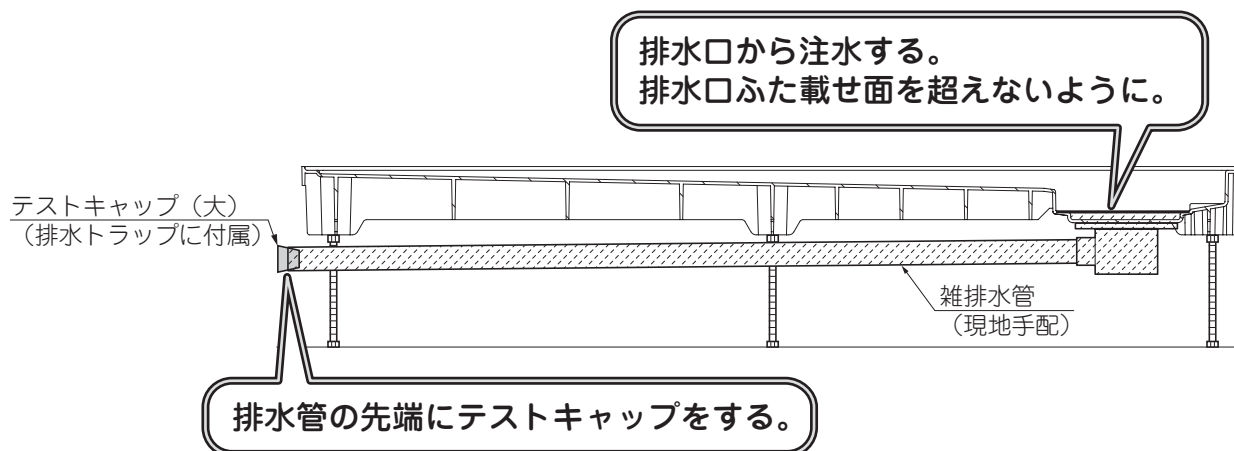


※床外寸まで排水管を取出す時は、VP(VU)50単管を塩ビ管接着剤(青色着色)で接着しておきます。

2.4 水張りテスト

ヘアキャッチ、封水管を外して密栓を取り付け、水張りテストを行い水漏れの無いことを確認します。

※水張り時間は30分間とし、トラップと床パンの接続部から水漏れがないことを確認してください。



取付設置上
のお願い

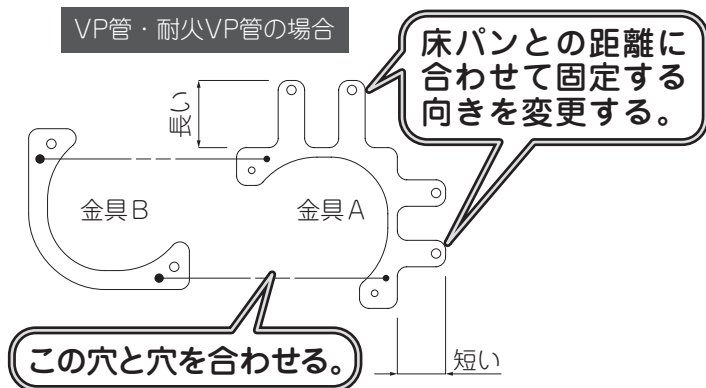
- ・トラップフランジ部が水没するまで水を張ってください。

2.5 雑排水管支持固定金具の取り付け

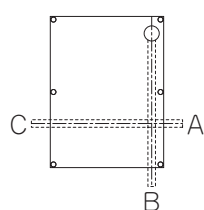
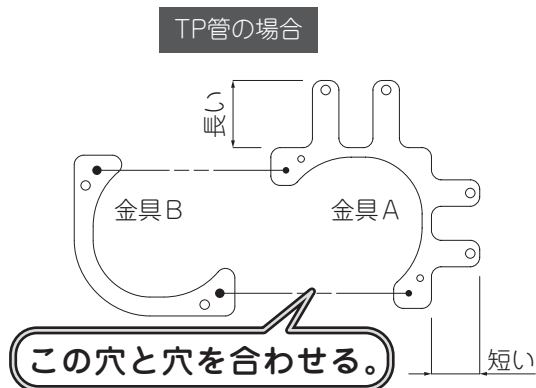
①雑排水支持固定金具を下図の要領にて取り付ける。

- ・取り付けねじは、固定金具セットに付属しています。

VP管・耐火VP管の場合



TP管の場合



A・B方向に排水する場合

C方向に排水する場合

ドリリングなベ
タッピンねじ
4×16

床パン

床パンのリップに固定。

なベタッピンねじ
4×10

高さ調整金具を使用して取り付ける。

床パン

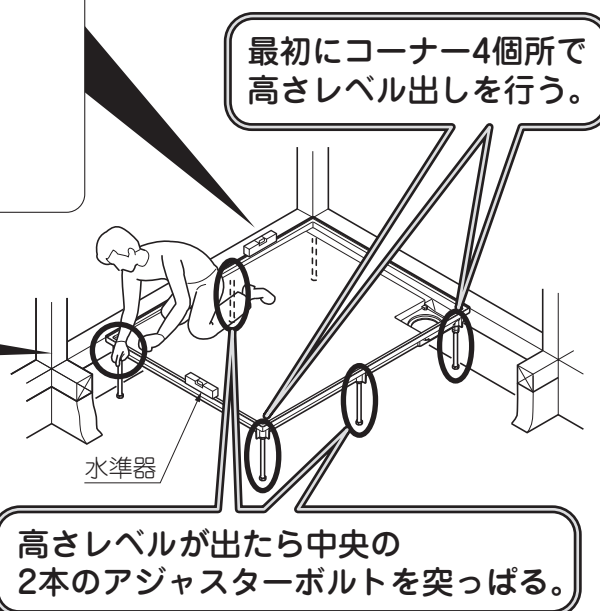
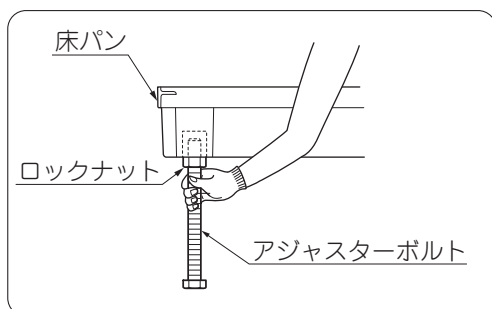
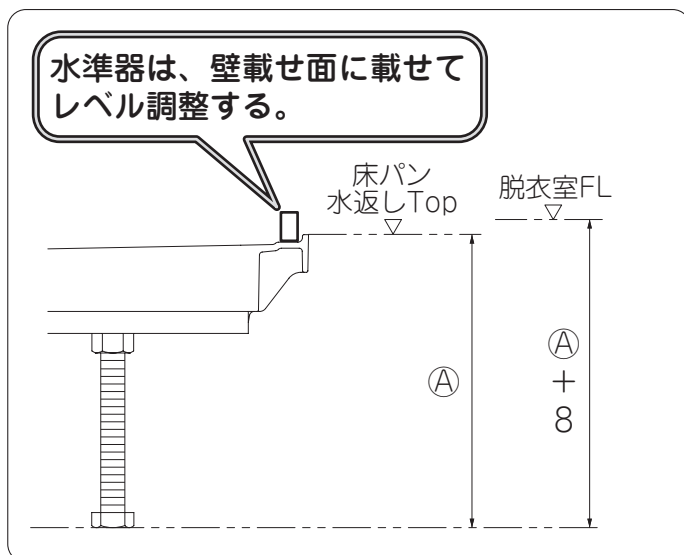
ドリリングなベ
タッピンねじ
4×16

なベタッピンねじ
4×10

2.6 床パンの据え付け

①床パンを据え付ける。

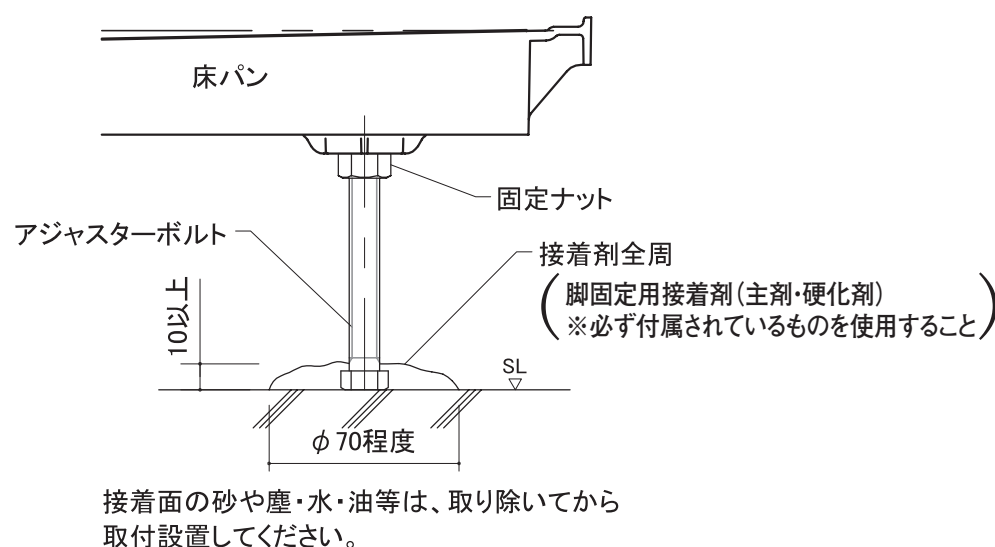
②アジャスターボルトを回して、床パン水返しTopを高さ基準として、高さ調整・レベル調整を行う。



2.7 床固定

取付設置上の お願い	固定前に床鳴りの無いことを確認してください。 (床パンの上に乗り足踏みして確認する)
---------------	---

アジャスターボルトを全箇所接着固定します。



2.8 通水（排水）チェック

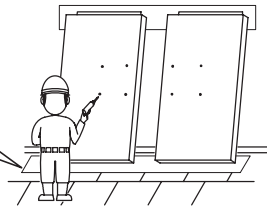
通水～排水テストは通水日、パイプシャフトの開栓順序、階別順序等、詳細打合せの上、通水～排水状態、水漏れの有無を確認してください。

3. 壁パネルの建て込み前作業

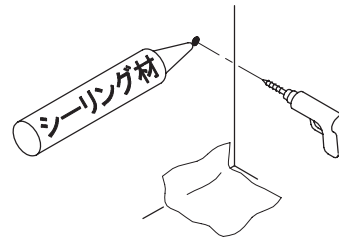
3.1 壁パネル加工の注意事項

- 1) 壁パネル組立前に加工する場合、加工は「壁パネル加工図」を参照に、必ずユニット外にて行ってください。

床・壁にダンボールなどを敷く

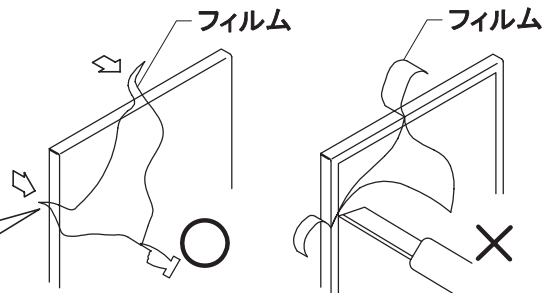


- 2) 壁パネル組立後、現物合わせ等で加工する場合は作業場所の下にシート等を敷いて、加工箇所シーリング材を塗布してください。
(鉄粉の飛散防止、擦傷等の防止)
加工後はシーリング材を拭き取ってください。
(強く擦らないでください。擦り傷になる恐れがあります。)



- 3) 壁パネルの養生フィルムは組立前に全面取り除いてください。
養生フィルムを取り除く際に、カッター、ナイフ等を使用しないでください。カッター、ナイフ等で取り除くと、壁を傷付ける可能性があります。

端面より手で取り除いてください

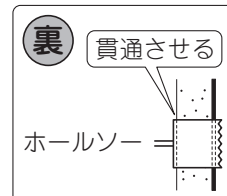
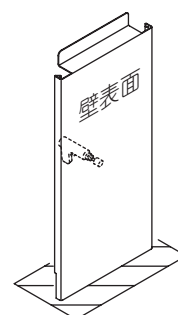
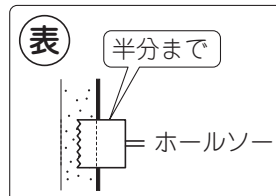
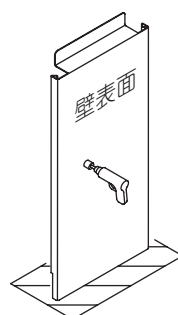
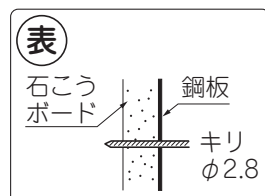
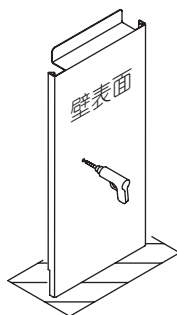


注意

壁パネルの荷扱いの際には、必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で作業を行ってください。
(素手で作業を行うと、壁パネルの折返し端部でけがをする恐れがあります。)

取付設置上の
お願い

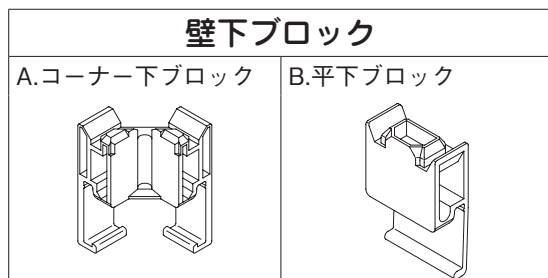
- 水栓固定金具取り付け部のホールソーでの穴開口手順は下記の手順にて行ってください。
 - ・ 表面からφ 2.8程度のキリにて下穴を開ける。
 - ・ 表面からホールソーで、半分まで穴開口する。
 - ・ 最終仕上げに、壁裏面からホールソーにて石こうボードを開口する。



3.2 壁下ブロックの配置

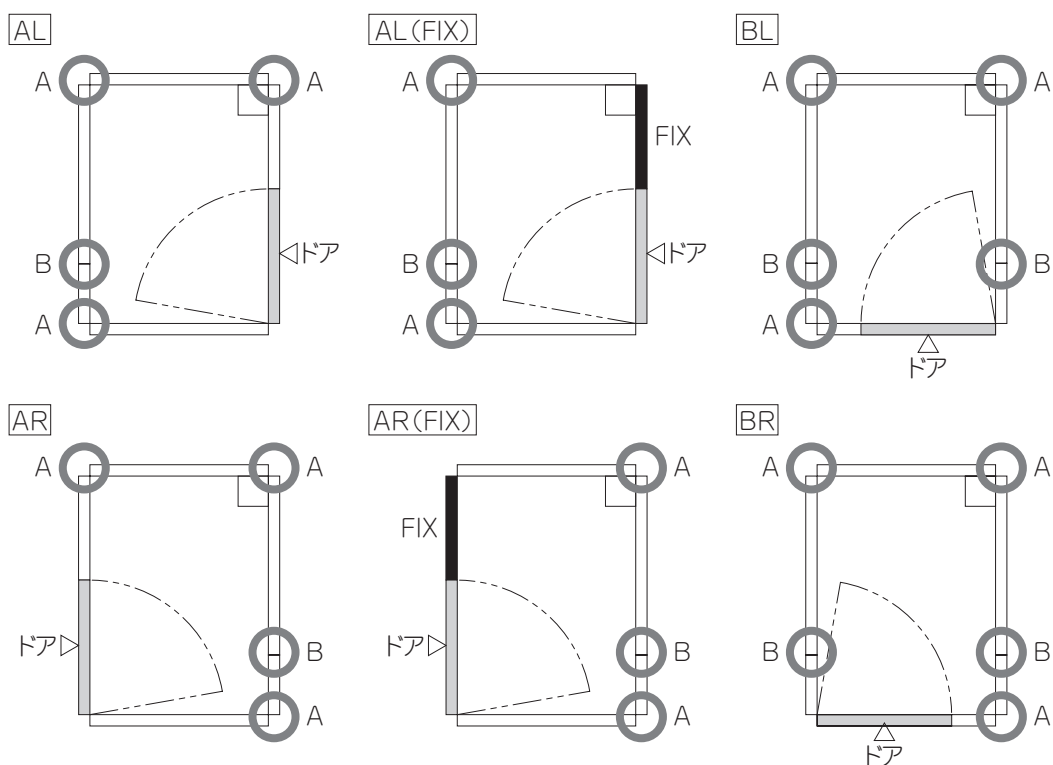
①壁下ブロックの取り付け位置を事前に確認する。

- ・壁下ブロックは2種類あります。
- ・ドア横を除き、コーナーにはコーナー下ブロック、壁と壁の間には平下ブロックを使用します。



 注意	
 必ず守る	●壁下ブロックは必ず所定の位置に取り付ける (必要な個所にブロックを取り付けなかったり、誤って取り付けると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)

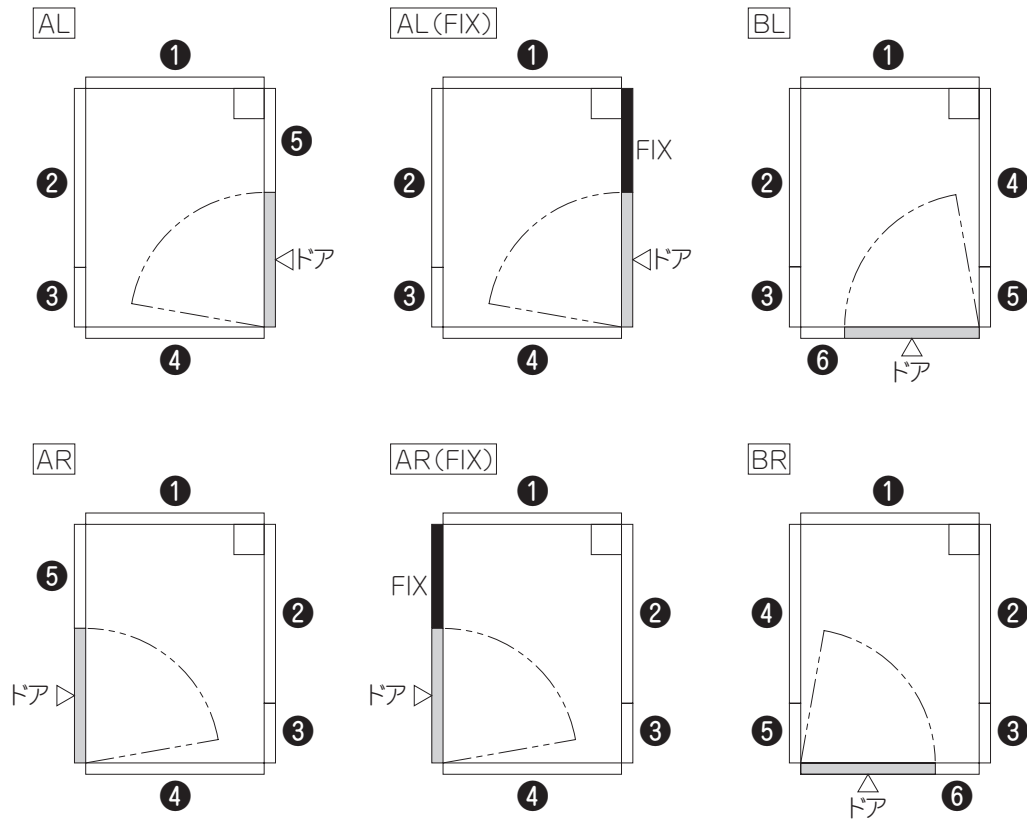
ブロック位置図



3.3 壁パネル取り付け順

① 壁パネルの取り付け順を事前に確認する。

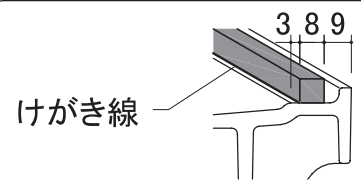
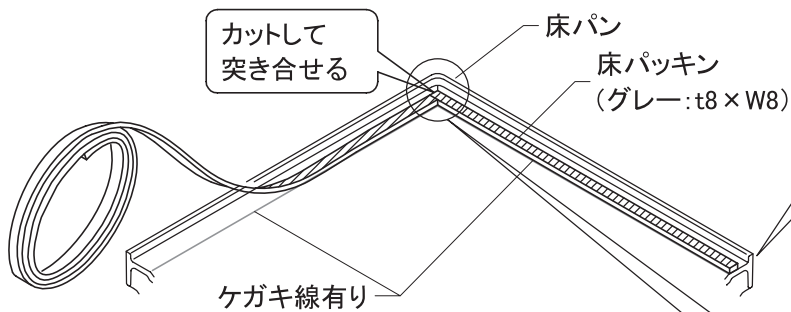
壁パネル取り付け順序



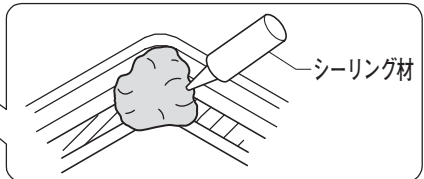
3. 壁パネルの建て込み前作業

3.4 床パンの壁載せ面へのパッキン貼り付け

床パンの壁載せ面にパッキンを貼り付けます。



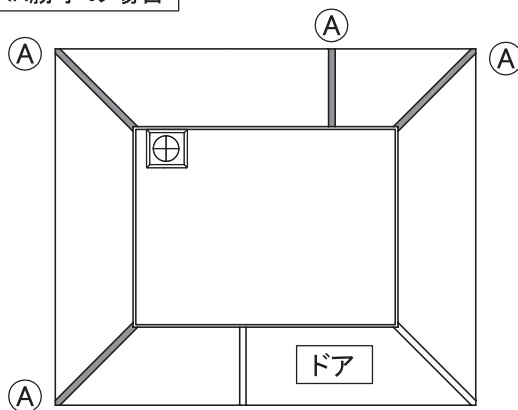
※けがき線がぎりぎり見えるようにパッキンをはってください。
(十分な壁下シーリング材代を確保するため、けがき線より手前にはらないでください。)



3.5 目地材の確認

各壁パネルに打ち込む目地(A)の色を確認します。

例: AR勝手の場合



壁柄	目地材色
グレースホワイト ロウライト トラバーチンクラシコ	オフホワイト
ブラックランダムライン 墨モルタル	ディープグレー
ロウグレー	グレー

※目地材は全て同色です。

壁パネル割

AR	BR	AL	BL

3.6 シャワーフック・棚・スライドバー（オプション）の下穴加工

1-10 ~ 1-13 ページの壁パネル加工図に従って、シャワーフック部、スライドバー（オプション）部の下穴加工をしてください。

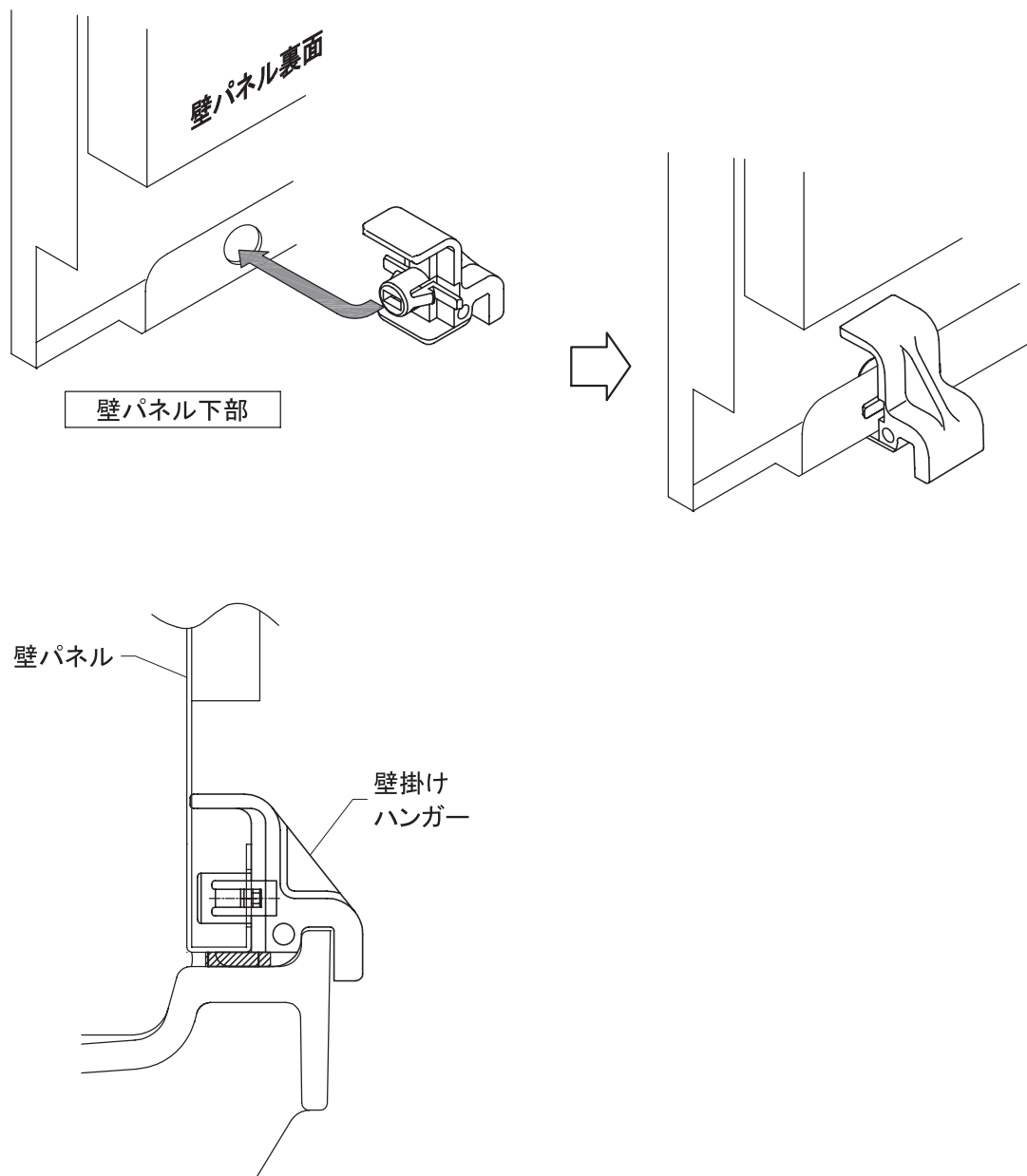
3.7 レインシャワー（オプション）の下穴加工

1-19 ページの壁パネル加工図に従って、レインシャワー（オプション）部の下穴加工をしてください。

4. 壁パネルの建て込み

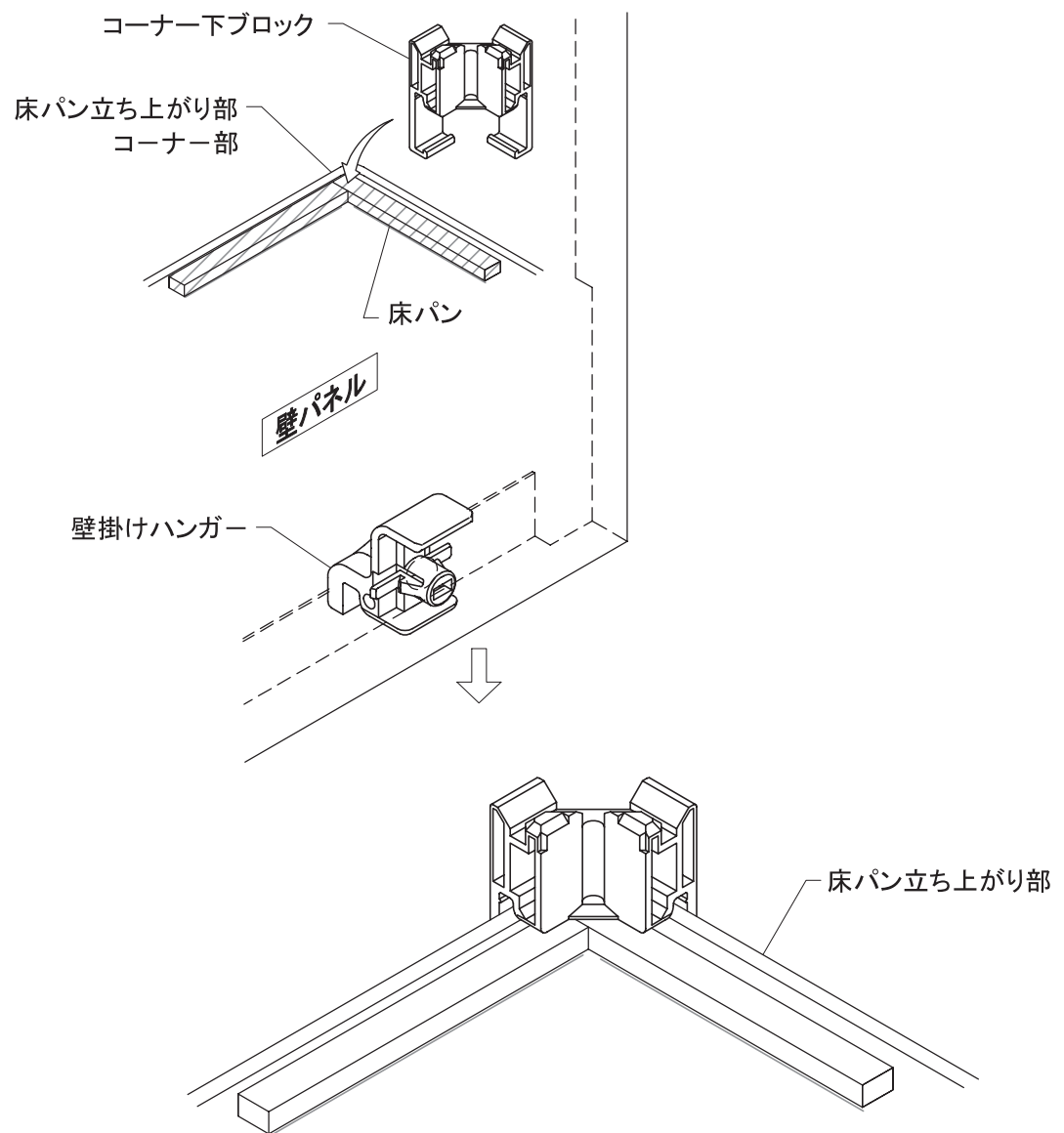
4.1 壁かけハンガーの取り付け

壁パネル下端の穴に、壁掛けハンガーを取り付けます。
(標準サイズ:2箇所／パネル、W800超サイズ:3箇所／パネル)



4.2 壁パネルの建て込み

- 1) コーナー下ブロックを床パン立ち上がり部のコーナー部に取り付けます。
- 2) 壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部に、はめ込みます。

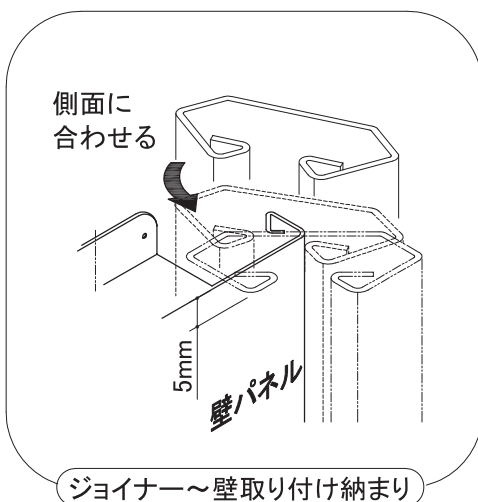
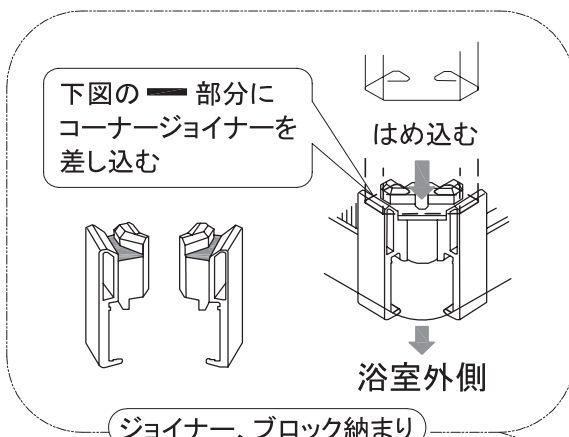


4.3 壁パネルコーナー部の接続

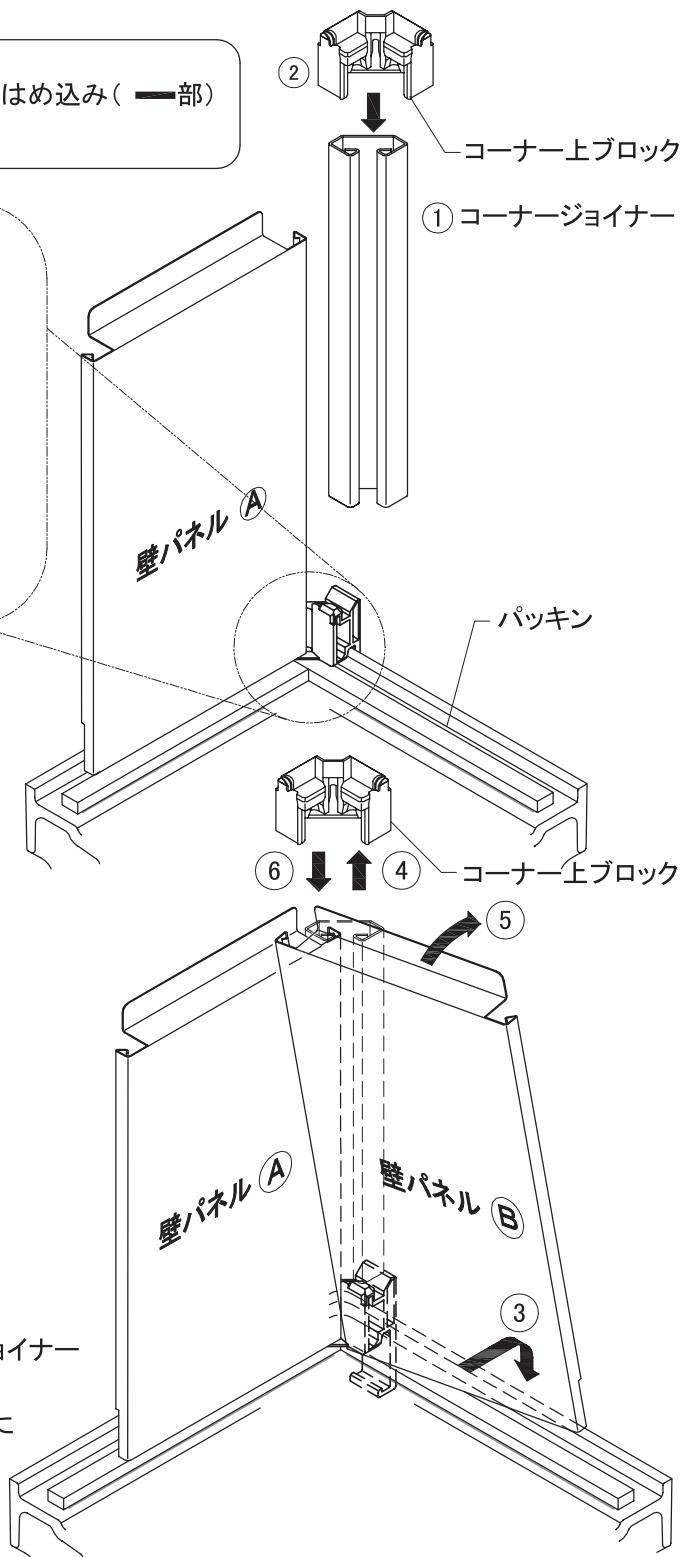
- ① 壁パネル ①A にコーナージョイナーを取り付けます。
- ② コーナー上ブロックをジョイナー上部にはめて仮固定します。

施工上のポイント

コーナージョイナー下端をコーナーブロックにはめ込み(一部分)
ジョイナーを壁パネル側面に合わせます。



- ③ 壁パネル ②B の壁掛けハンガーを床パン
立ち上がり部に、はめ込みます。
- ④ ジョイナーにはめたコーナー上ブロックを
一旦取り外します。
- ⑤ ジョイナーを支えながら壁パネル ②B をジョイナー
側に倒し、壁とジョイナーを合わせます。
- ⑥ コーナー上ブロックを再度ジョイナー上部に
はめて固定します。

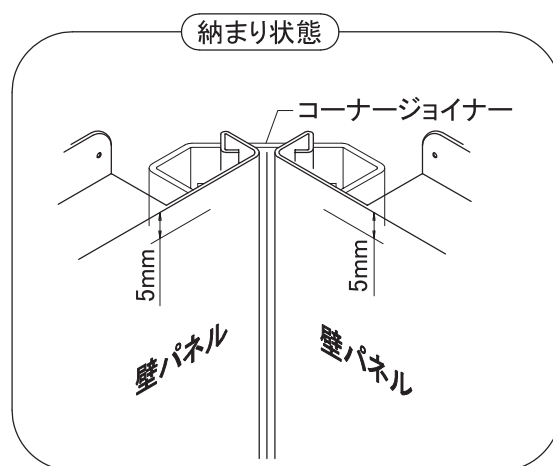
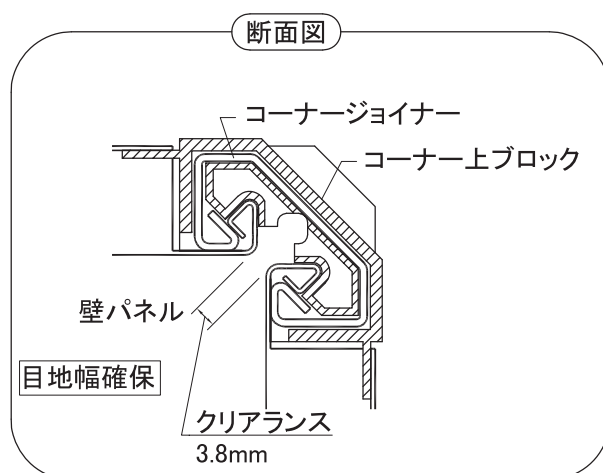
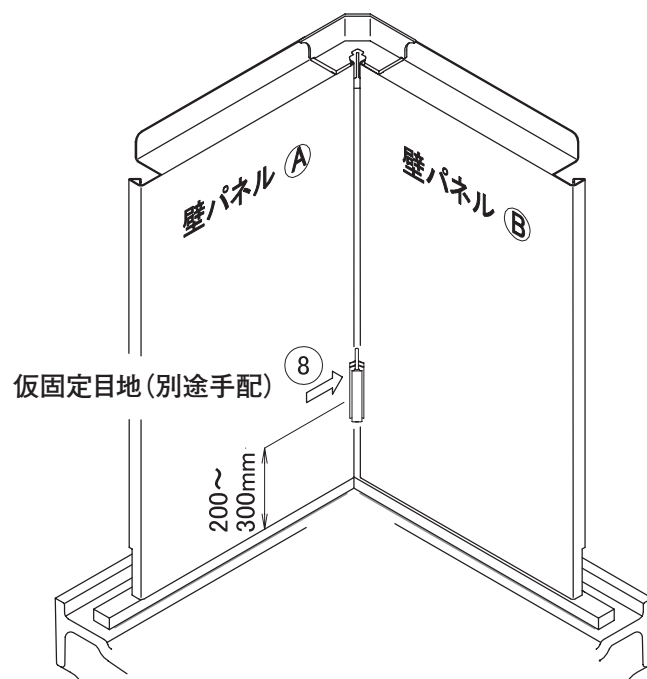


注意

・壁パネル、ジョイナーを確実に固定しブロックを取り付けてください。
(確実に固定をしないと、壁パネル・ジョイナーが落下しケガの原因となります。)

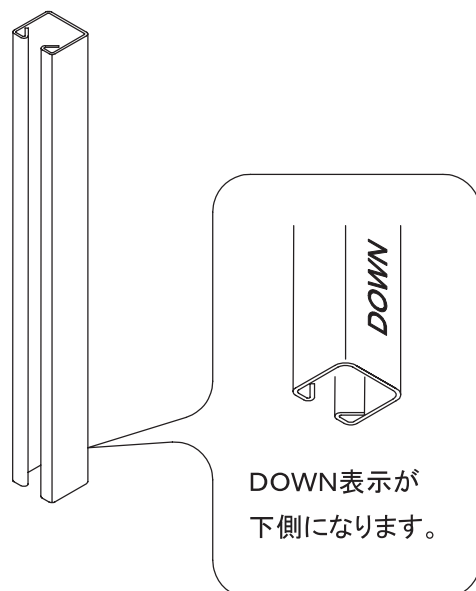
4. 壁パネルの建て込み

- ⑦ 仮固定目地（別途手配）をパネル下端から200～300mmの位置に仮打ちします。
（壁パネルの間に斜めに打ち込んでください。）



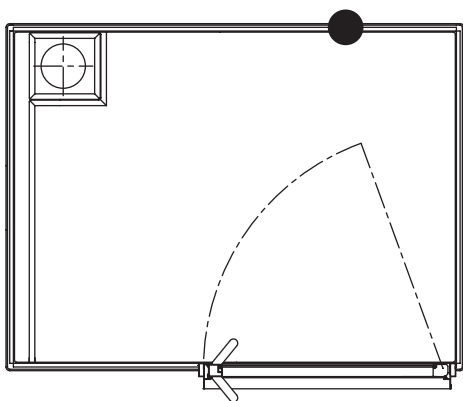
4.4 壁パネル平部の接続

平ジョイナーには上下があります。平ジョイナー端部の **DOWN**表示が下側になるように取り付けてください。

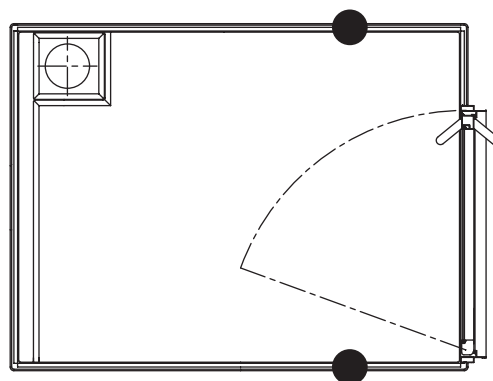


平ジョイナー配置図

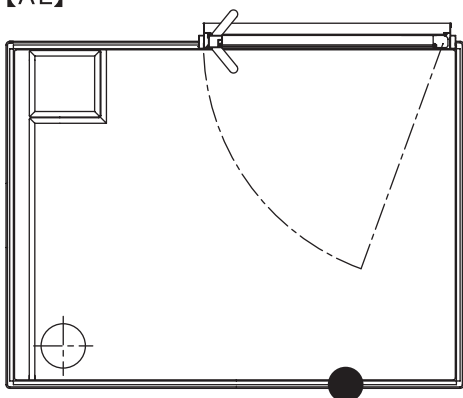
【AR】



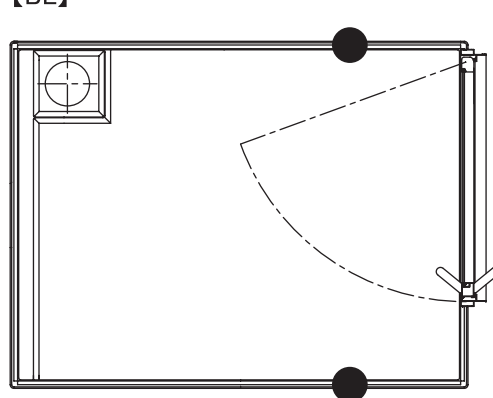
【BR】



【AL】



【BL】



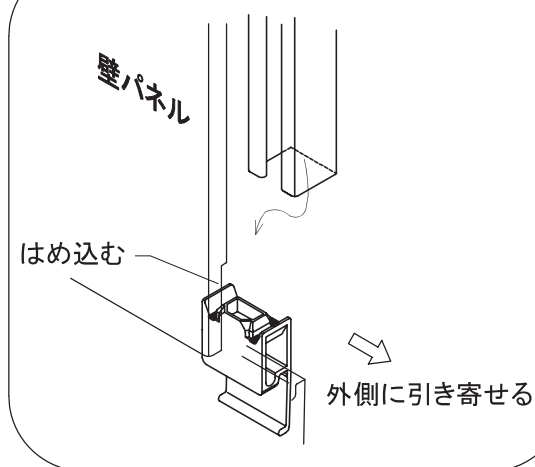
4. 壁パネルの建て込み

- ① 壁パネル (B) に、平下ブロックを取り付けて、壁外側に引き寄せます。
- ② 壁パネル (B) に平ジョイナーを取り付けます。
- ③ 平上ブロックL (黒色) をジョイナー上部にはめて壁パネル (B) を固定します。

施工上のポイント

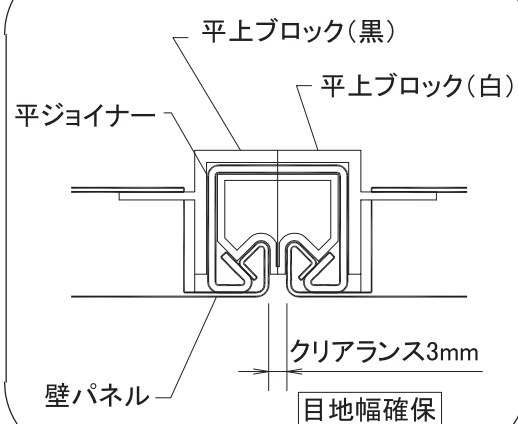
平ジョイナー下端を平下ブロックにはめ込み(— 部) ジョイナーを壁パネル側面に合わせます。

納まり詳細図

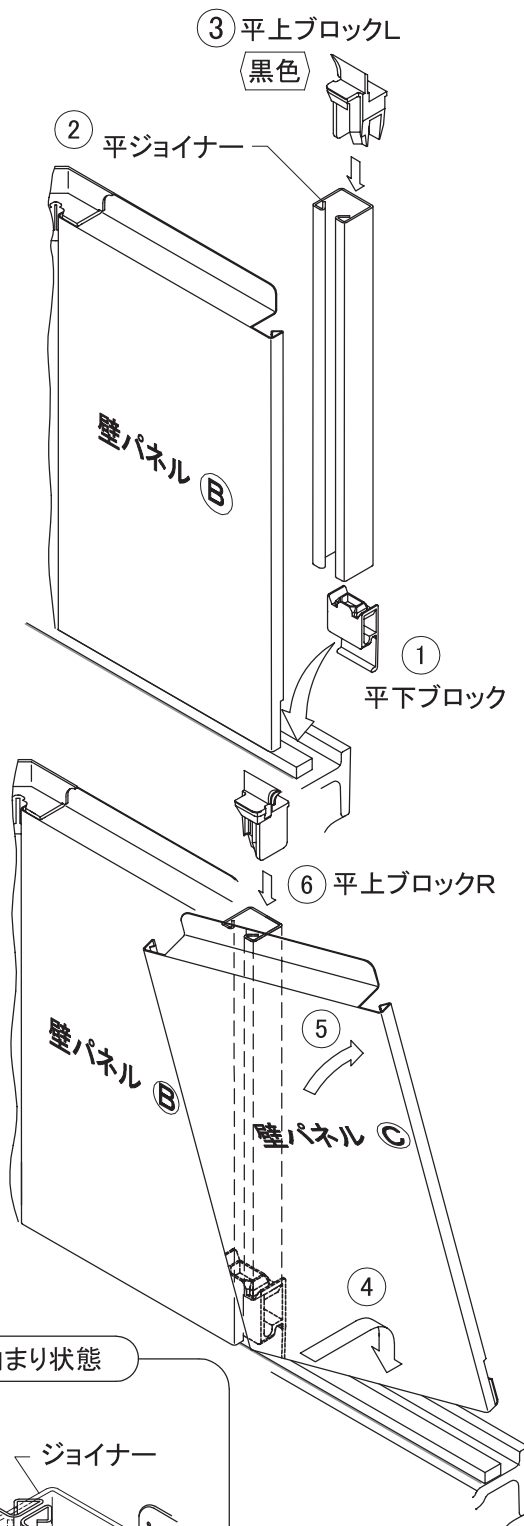
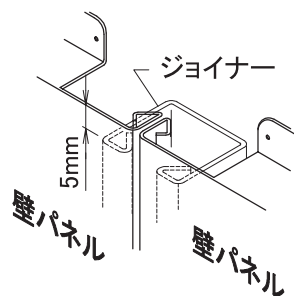


- ④ 壁パネル (C) の壁掛けハンガーを床パン立ち上がり部はめ込みます。
- ⑤ 壁パネル (C) をジョイナー側に倒し、壁とジョイナーを合わせます。
- ⑥ 平上ブロックR (白色) をジョイナー上部にはめて壁パネル (C) を固定します。

断面図

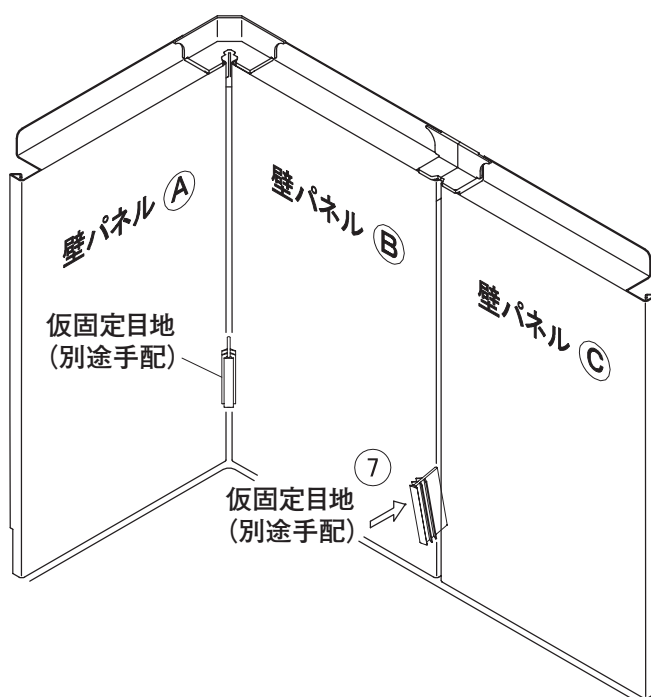


納まり状態



4. 壁パネルの建て込み

- ⑦ 仮固定目地をパネル下端から200～300mmの位置に仮打ちします。
(壁パネルの間に斜めに打ち込む)



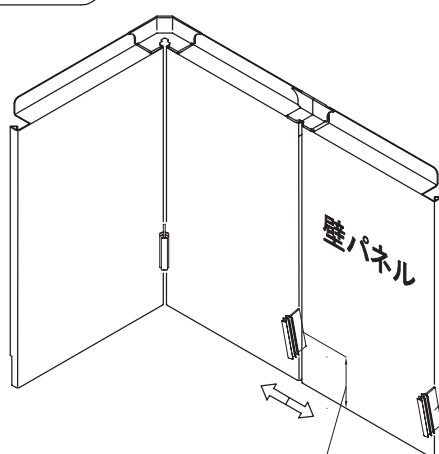
施工上のポイント

化粧面の出入り無き様、面をそろえます。

良い例) 化粧面 悪い例) 化粧面



施工上のポイント



- 壁パネル組み立て都度、仮固定目地を打ち込む。(仮固定目地を打たないと、壁パネル間の寄り寸法が一定になりません)
- 仮固定目地は、壁パネル下端より200～300mmを目安に打ち込む。
- 仮固定目地は目地打ち前まで、はずさない。

仮固定目地
(別途手配)

200～300mm

警告



必ず守る

- 取付設置は取付設置説明書にしたがい確実に行う
(取付設置に不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。)
- 照射近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける
(照射物の変色・火災によるけがのおそれがあります。)
- 屋内配線の電源・ケーブル等はダウンライトに接触しないようにする
(火災によるけがのおそれがあります。)
- 付属の補強合板は必ずはり付け、ダウンライトを天井面に着くまでしっかりと差し込む
(補強合板をはらなかつたり差し込みが不十分な場合、ダウンライトが落下するおそれがあります。)
- 断熱材・防音材をかぶせて使用しない
(火災の原因となります。)

【補強合板のはり付け】

① 補強合板（付属）のテープのはく離紙をはがす。

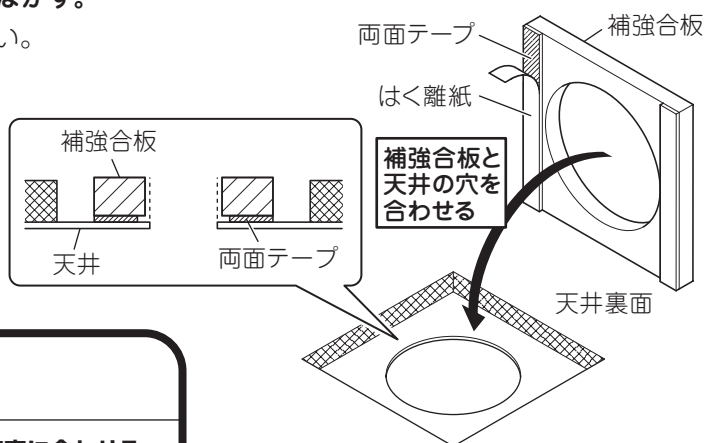
※天井穴の位置に合わせてはり付けてください。

警告



必ず守る

- 補強合板は必ずはり付ける
はり付けない場合、器具が落下するおそれがあります。



注意



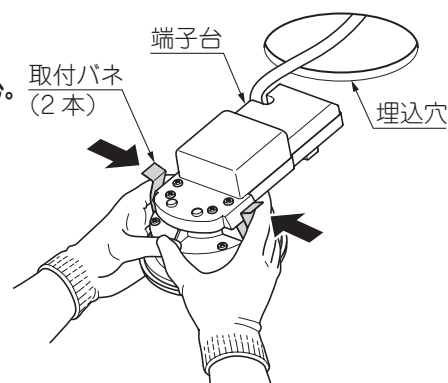
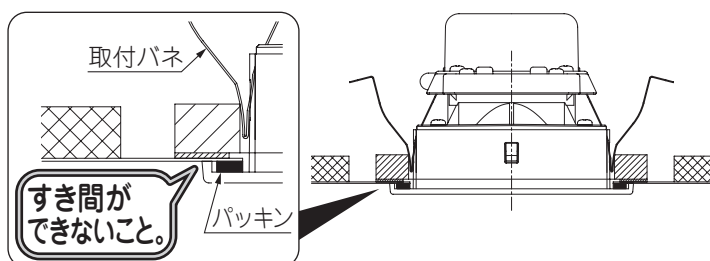
必ず守る

- 補強合板と天井の穴の位置を確実に合わせる
ずれると器具の差し込みができなかったり、すき間が発生し水漏れのおそれがあります。

【器具の取り付け】

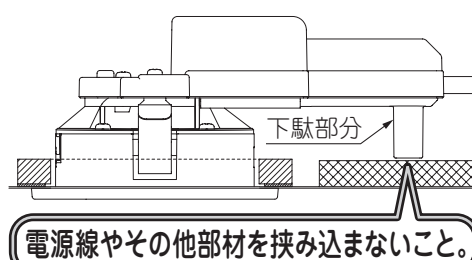
① 電源線を埋込穴へ先に通しておく。

② 取付バネ（2本）を同時に押さえながら、端子台側から埋込穴に押し込む。



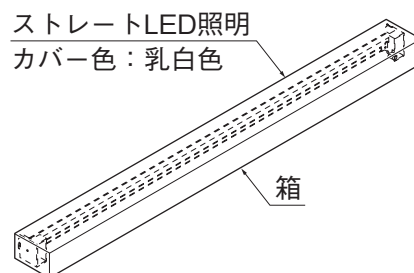
取付設置上のお願い

- 器具取り付けの際、天井を傷付けないように注意してください。
- 取り付け時にパッキンを破損しないようにしてください。
- 本体後方の下駄部分に電源線やその他部材などが挟み込まれると天井との間にすき間ができてしまうため、挟み込まないようにしてください。



5.3 ストレート LED 照明の取り付け

①ストレートLED照明を箱から取り出す。

取付設置上
のお願い

- ストレートLED照明本体は、取付設置作業の直前に箱から取り出してください。（汚れや傷の原因となります。）
- 箱から取り出した照明本体を単独で仮置きする場合は、壁や扉などに立てかけないでください。（倒れて、傷や破損の原因となります。）

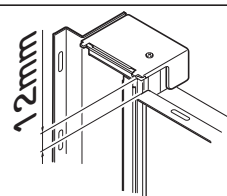
②天井パネル（ストレートLED照明取り付け側）にストレートLED照明と金具を取り付ける。

・天井パネルを壁に立てかけて、取り付けてください。

9の字ナット
(天井に付属)

照明本体

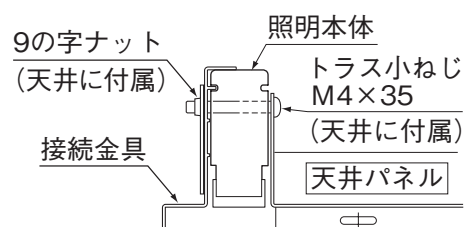
照明本体は、
天井より長いので、
照明本体が天井より12mm
出ている位置で固定する。



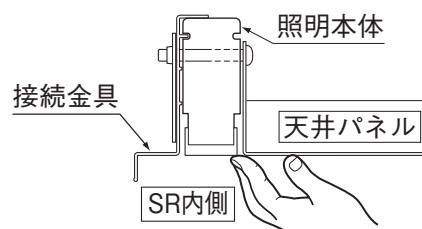
トラス小ねじM4×35 (6本)
(ストレート用ねじセットに付属)

接続金具
色:シルバー天井パネル
SR内側

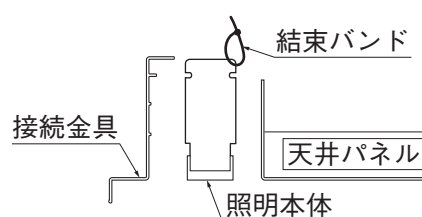
40mm程度

コネクタ固定テープを
はがすコネクタ
固定テープ

天井パネルと照明本体の間に段差が
できないよう、指で確認してから本固定する。

取付設置上
のお願い

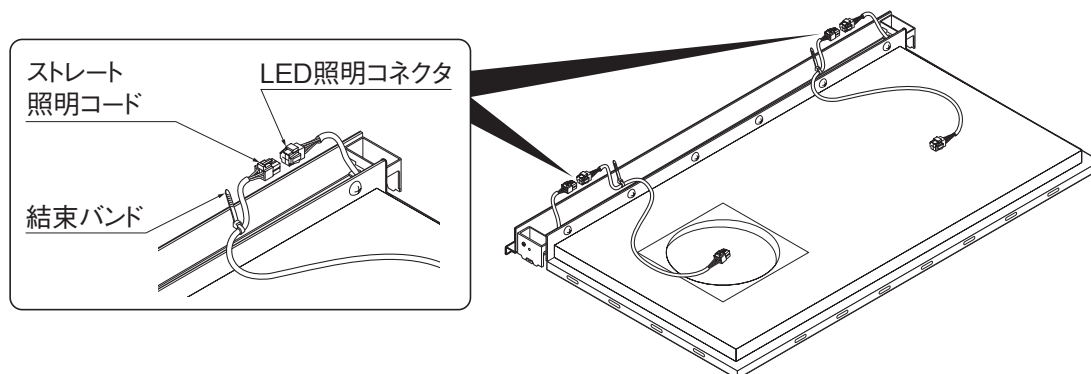
- 照明本体が床に当たらない様に、天井パネルを40mm程度の台の上に置き取り付けてください。
- 結束バンドが付いている方が天井パネル側になるよう、照明本体の向きを確認する。



5. 天井の取り付け

③ ストレートLED照明本体の結束バンドにストレート照明コードを通し、LED照明コネクタと接続する。

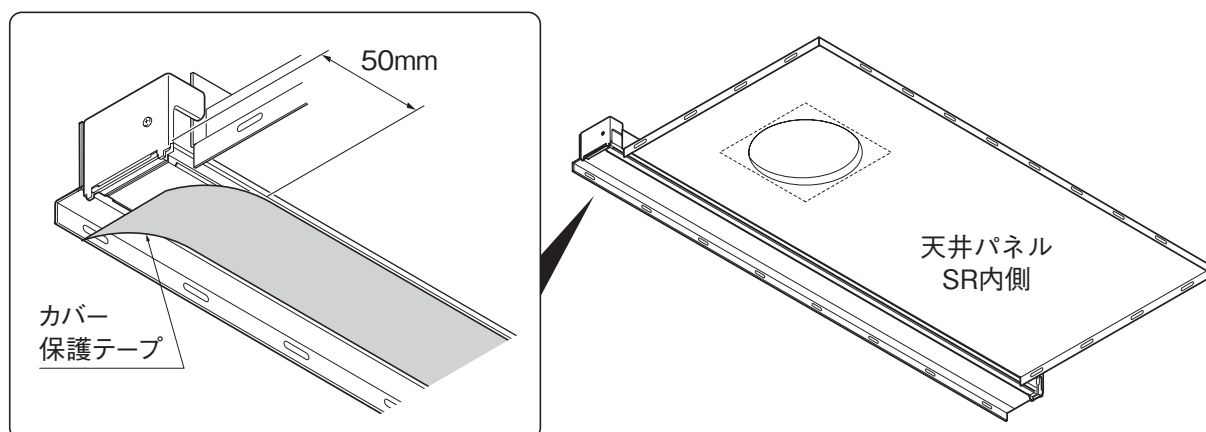
④ 結束バンドの先を引っぱり、ストレート照明コードが抜けないようにする。



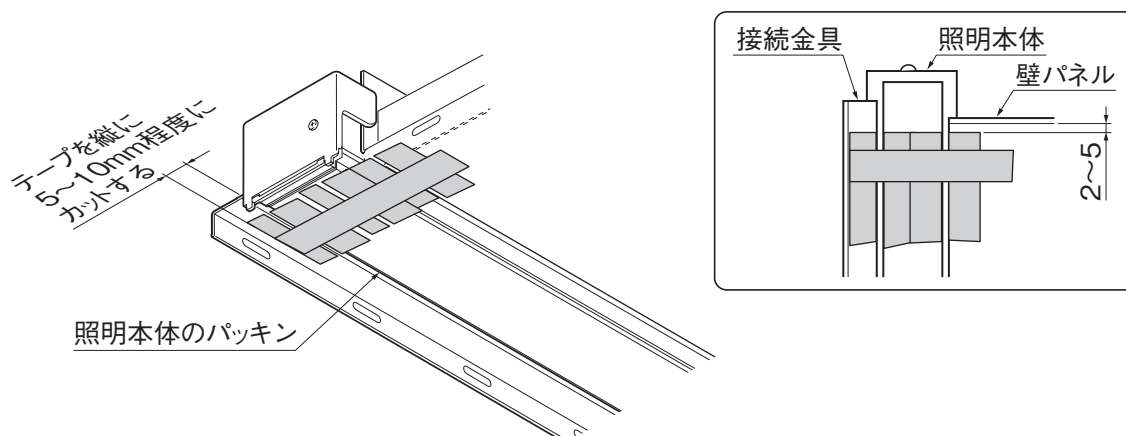
⑤ カバー保護テープの両端50mmをはがしておく。

取付設置上の
お願い

● カバー保護テープを完全にはがすのは、取付設置終了後です。
それまでは、はがさないでください。（汚れや傷の原因となります。）



⑥ SR内側の照明本体の両端にマスキングテープをはる。



5.4 換気扇の取り付け

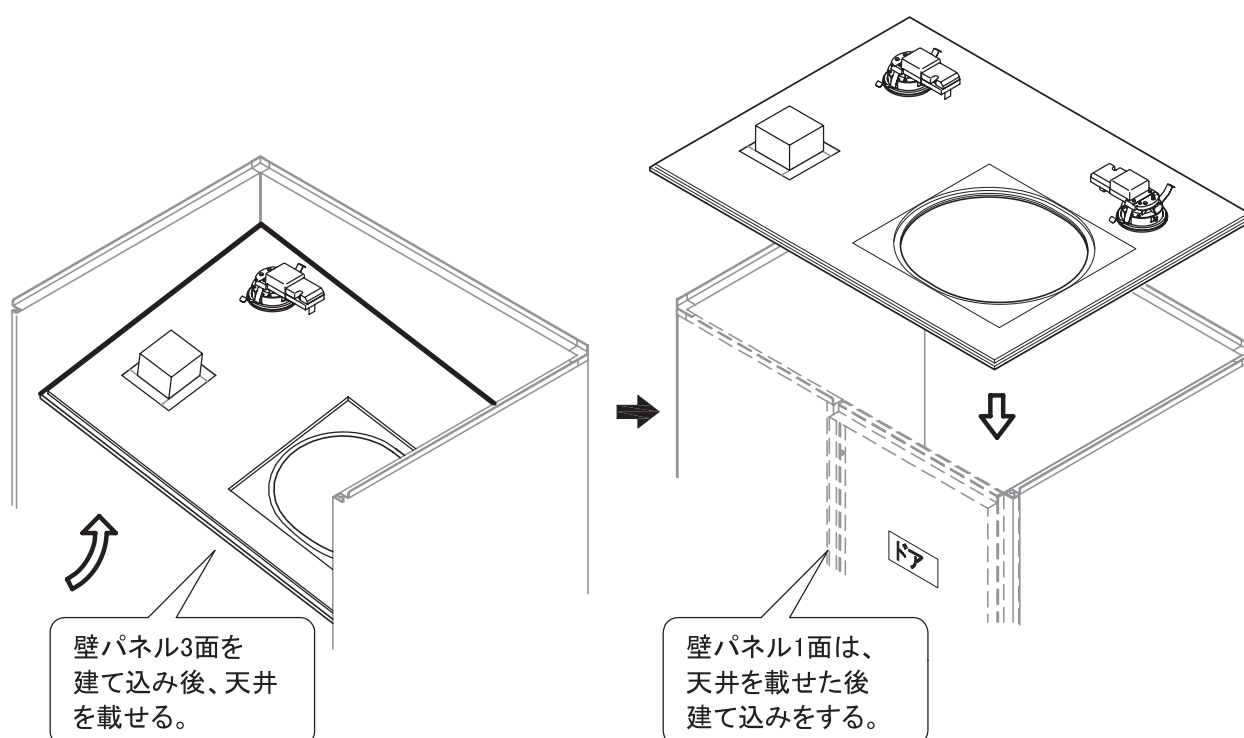
詳しい取付設置方法は換気設備同梱の取付設置説明書をご覧ください。

5.5 天井の取り付け

**注意**

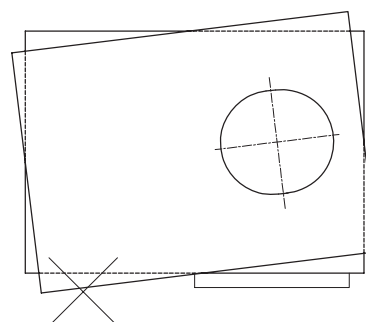
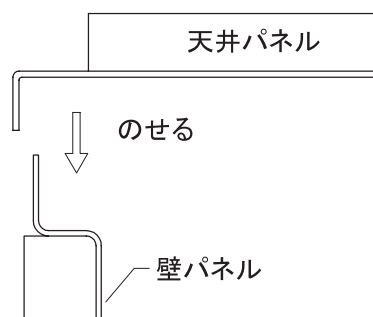
天井を室内から建て込む場合は、壁パネル3面を建て込んだ後に、天井パネルを載せて、残りの1面の建て込みをしてください。

(壁パネル4面全てを建て込み後、ドア開口部より天井パネルを載せると、スペースがないため、壁パネルなどを傷つける可能性があります。)



5. 天井の取り付け

天井点検口と換気グリルの位置(方向)を施工図で確認し、壁パネルに天井パネルを載せます。

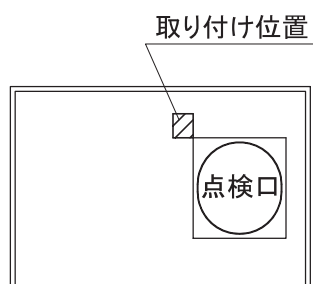
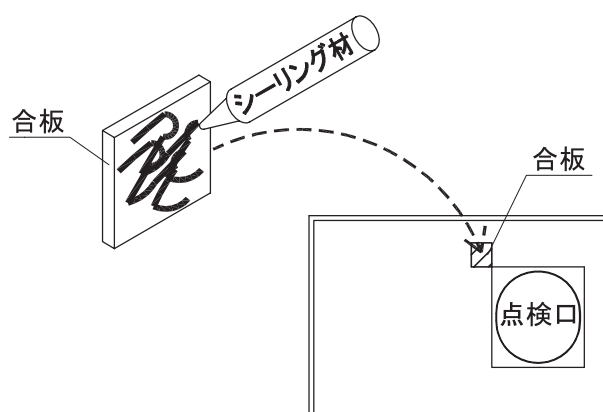


天井パネルは壁面と平行に納めること。

5.6 ジョイントボックス（現場手配）の取り付け

点検口側の天井裏面に□100合板などをはり付けます。

※合板の貼り付け位置は、換気扇ダクト経路の下にならない点検口の周囲に、シーリング材で貼り付けます。



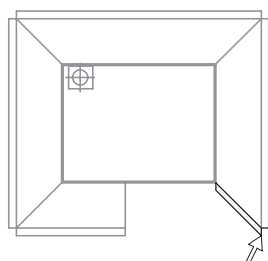
天井裏面の□100合板に取り付けます。

6. ドア枠の取り付け

6.1 ドアコーナージョイナーの取り付け

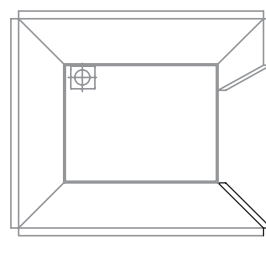
壁パネル(側面)にドアコーナージョイナーを、壁下端基準にて、取り付けます。

【AR/AL】



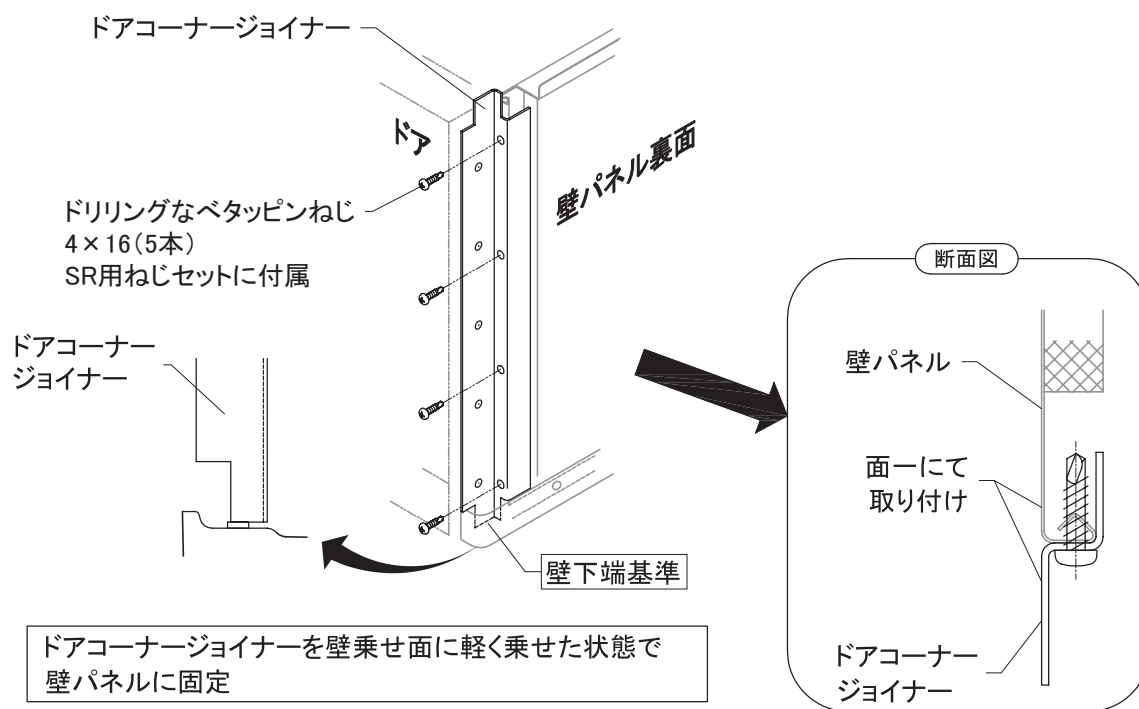
ドアコーナージョイナー

【BR/BL】



ドアコーナージョイナー

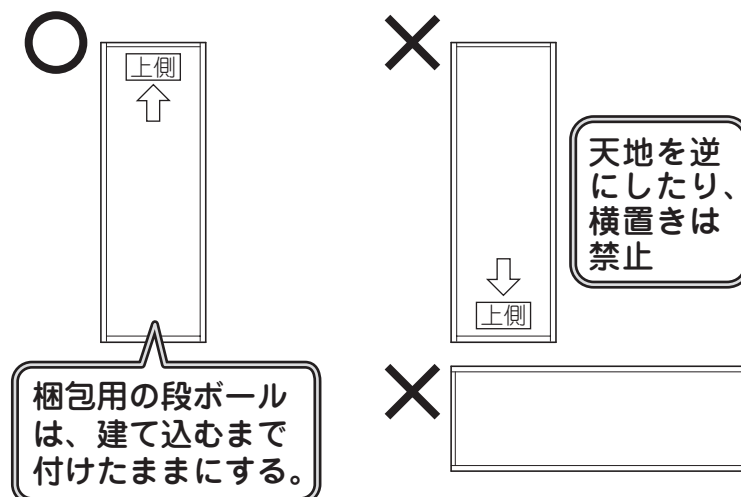
※本図はR勝手の場合。L勝手は本図と対称。



6.2 フルFIX窓（W500）の取り付け

(1) フルFIX窓の仮置き

1) フルFIX窓を建て込み時まで仮置きする。



! 注意



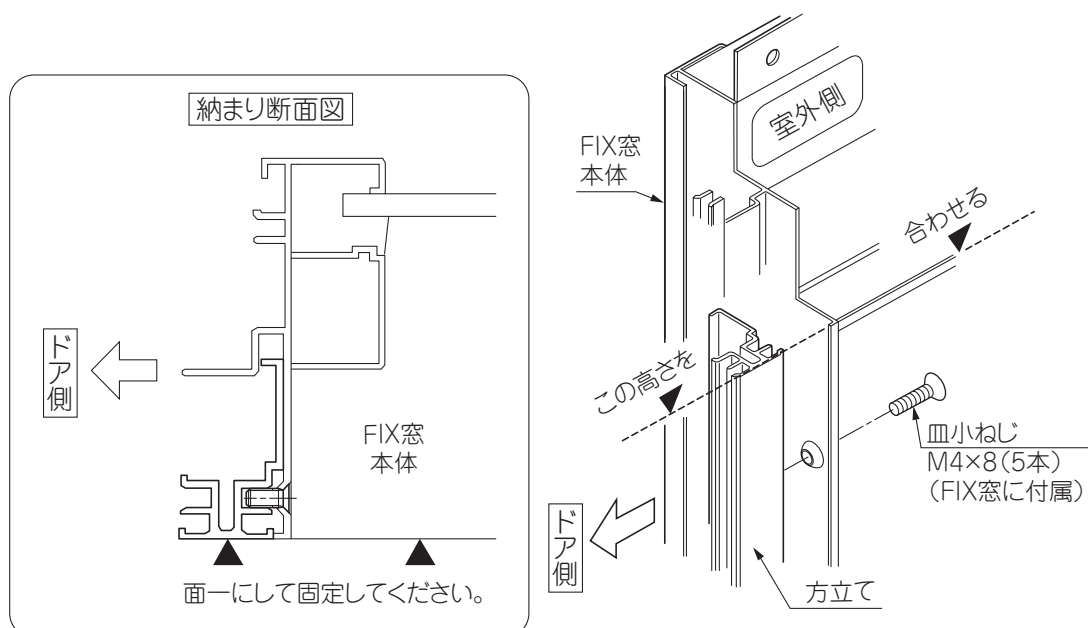
必ず守る

- ・FIX窓の取り扱いには必ず2人で行う
(一人で行うと、けがの原因となります。)
- ・FIX窓の表面の梱包用段ボールは、FIX窓の建て込み後に外す
(建て込み前に外すと、中のガラスが抜けて、けがの原因となります。)
- ・FIX窓の仮置きの際は、正しい向きで立て掛ける
(誤った向きに立て掛けると、パッキンが破損して水漏れの原因となります。)

(2) 方立ての取り付け

1) FIX窓本体のドア固定側に、方立てを取り付ける。

・下図のように、方立ての上端および室外側の面を合わせてねじ留め(5か所)してください。

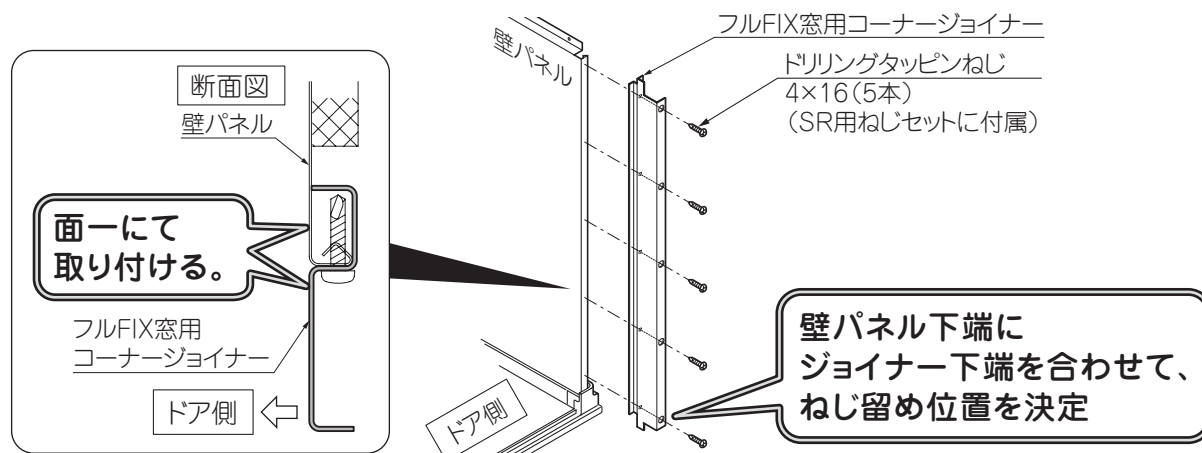


(3) フルFIX窓用コーナージョイナーの取り付け

1) フルFIX窓用コーナージョイナーを壁パネルに取り付ける。

取付設置上の
お願い

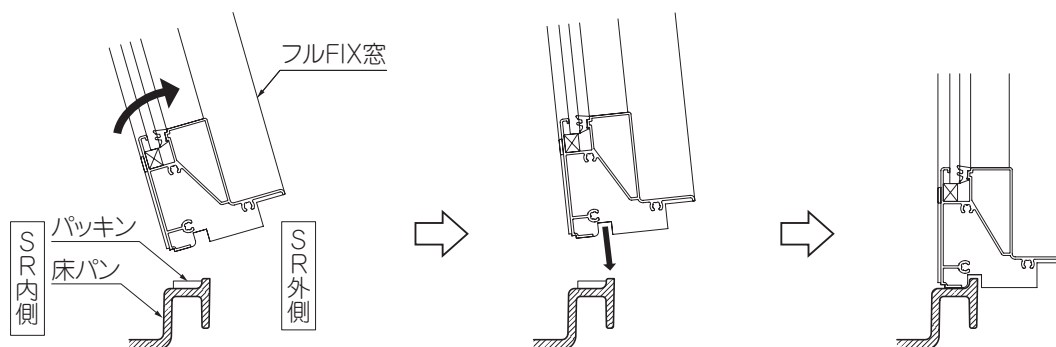
・フルFIX窓用コーナージョイナーを取り付ける際は、奥まで押さえ込んでください。
(浮いた状態で取り付けると、FIX窓のチリが合わなくなるおそれがあります。)



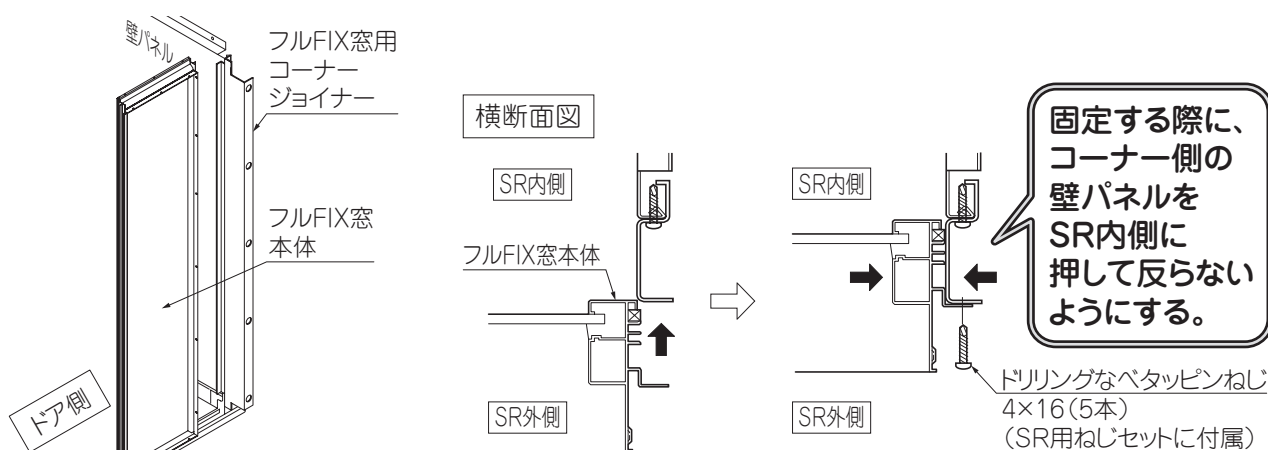
(4) フルFIX窓の取り付け

1) フルFIX窓を建て込む。

・表裏に注意して、SR内側から建て起こしてください。



2) フルFIX窓用コーナージョイナーにフルFIX窓を固定する。



6.3 ドア枠の取り付け

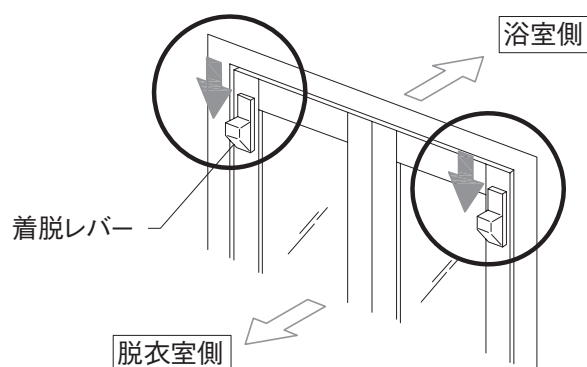
(1) ドア本体の取り外し

取付設置上の
お願い

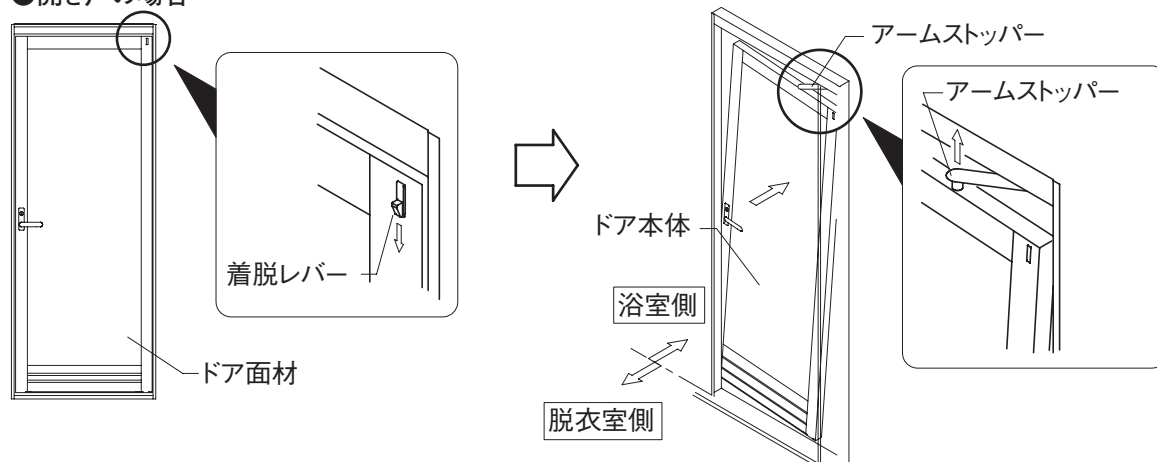
- 取り外し作業はドアを完全に閉じた状態で行ってください。
- ほこりやごみが付いた状態でドア面材を拭かないでください。
(ドアに傷が付く原因となります。)

- 1) 脱衣室側からドア本体上部の着脱レバー(両側2か所)を下げる。
- 2) ドア本体を浴室側へ傾けて、ドア枠から取り外す。
- 3) ドア本体を安全な場所に仮置きする。
・ドア本体の取り付けはドア枠や天井パネルの取付設置後に行います。

●折戸の場合



●開き戸の場合



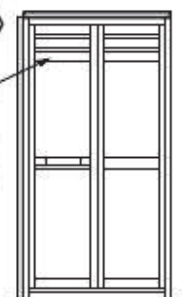
⚠ 注意

⚠
必ず守る

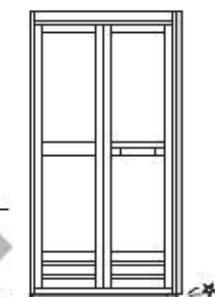
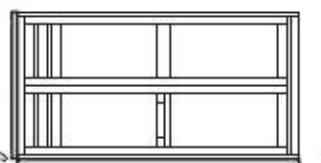
- 取り外したドア本体は、逆さ(ガラリを上)にして縦置きにしてください。
(ドアの下部・縦部のエアタイト材(パッキン)が損傷すると、水漏れの原因となります。)

〈良い例〉

ガラリ

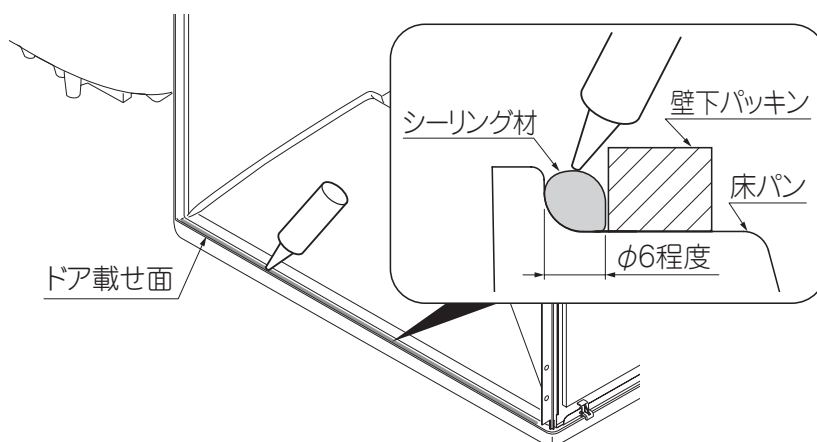


〈悪い例〉



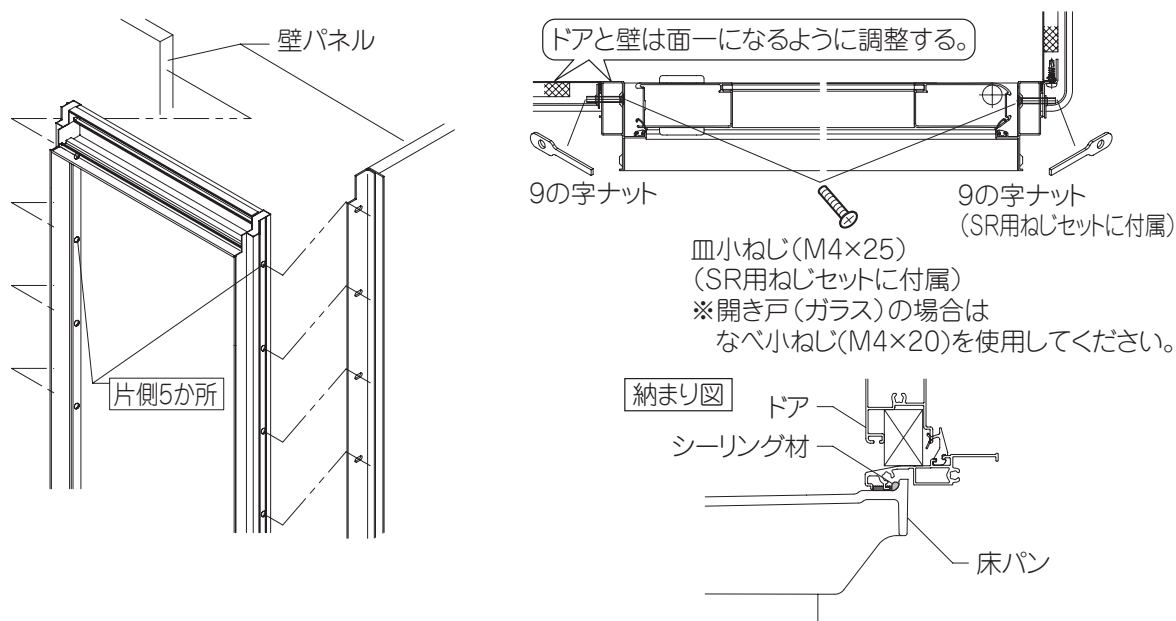
(2) 縦枠の仮固定

- 1) 床パンのドア枠載せ面に、シーリング材(φ6程度)を充てんしてください。

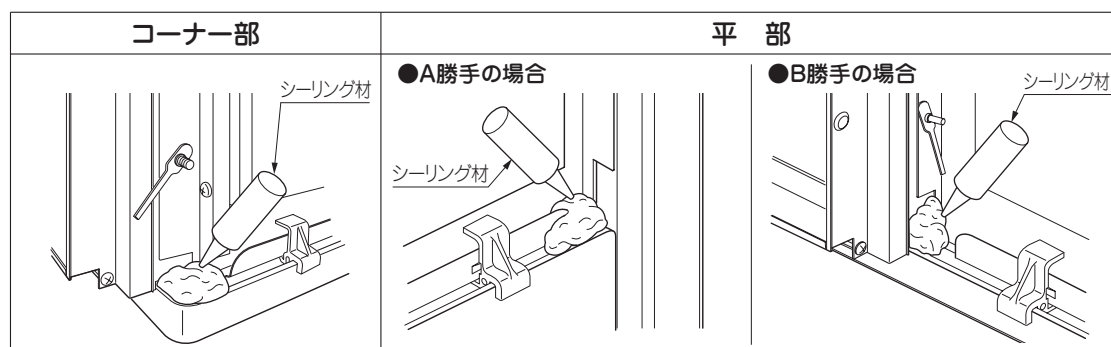


- 2) ドア縦枠と壁パネルを、皿小ねじで仮締めします。

※ドア建て起しは、天井とドア枠接続時に調整し、その後、本固定してください。



- 3) 床パンのドアコーナー部・平部のすき間にシーリング材注入してください。



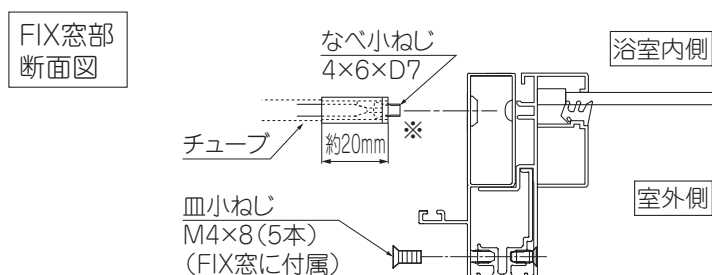
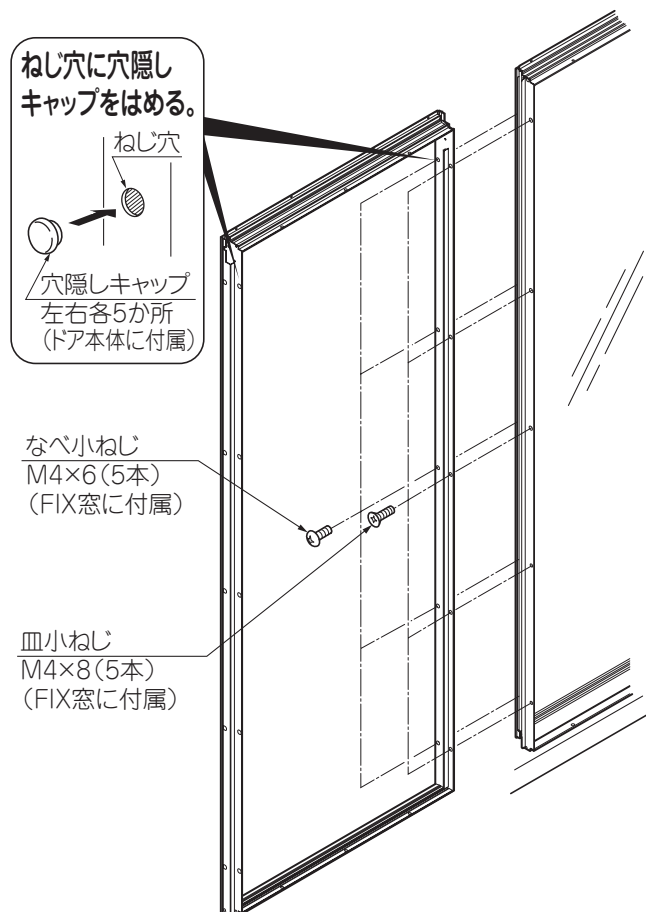
⚠ 注意

⚠
必ず守る

シーリング材充てんは指定個所に確実に行ってください。
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

(3) 縦枠 (FIX窓側) の固定

1) ドア枠建て込み後、ドア縦枠をFIX窓に固定する。



※ねじ頭へのチューブかみ込み防止のため、チューブの突き出しは小さくしてください。

- ・ 付属のチューブ (L=200mm) は、長さ20mm程度にカットしてください。
- ・ チューブは、縦枠内に残したままにしないでください。

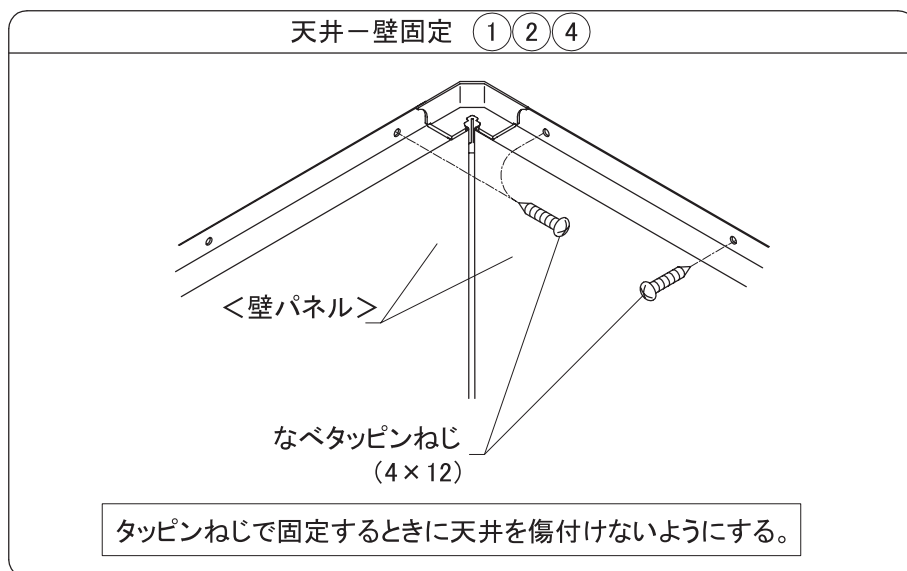
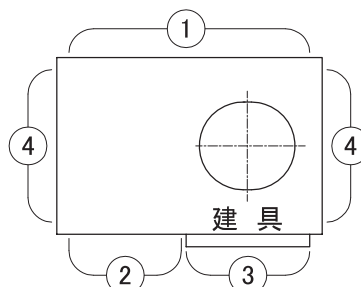
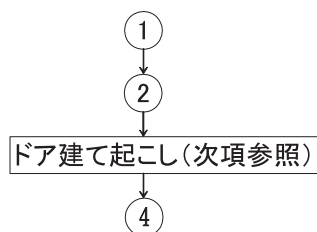
7. 壁と天井の仕上げ

7.1 天井固定順序

受け具と壁パネル・天井をタッピンねじで固定します。

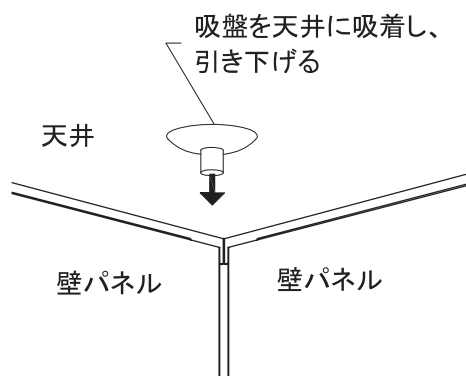
注意:タッピンねじで固定する時に、天井を傷付けないようにします。

《図示例:ARタイプ》 天井一壁固定順序



施工上のポイント

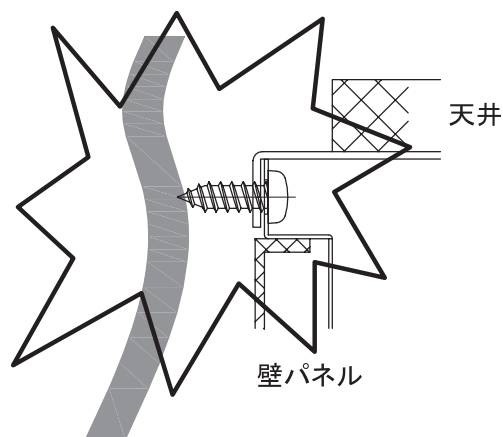
・天井のコーナー部が反り上がり天井固定の穴位置が合わない場合は、吸盤(現場調達 耐荷重2kg以上)を使用して天井のコーナー部を引き下げます。



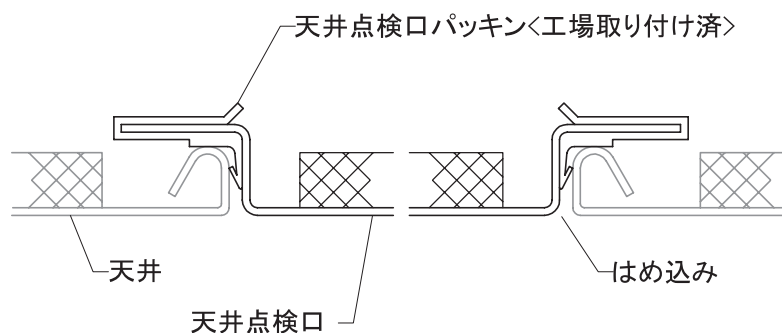
⚠ 注意

ねじ固定の際、裏側に電気配線や設備配管などがないか確認してください。
(タッピンねじが壁裏の配線や配管を貫通し、漏電・水漏れの原因となります。)

⚠
必ず守る



7.2 天井点検口の取り付け

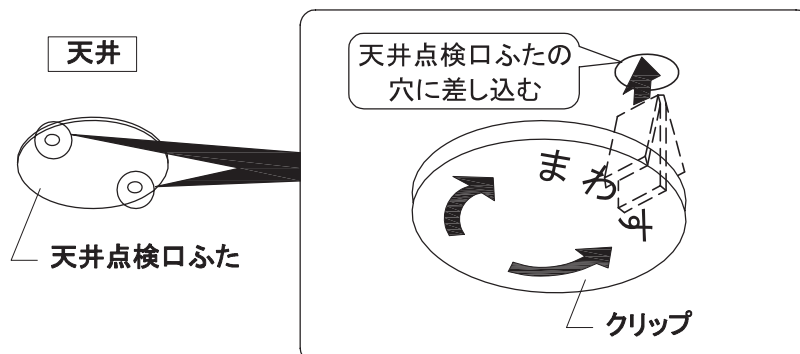


取付設置上の
お願い

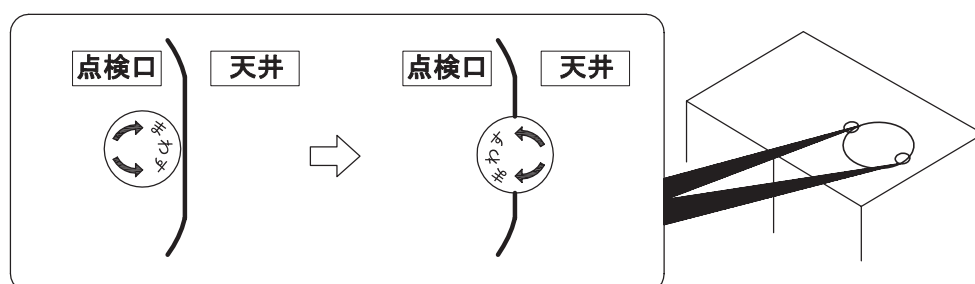
養生フィルムは必ず取外してください。
その際、天井点検口パッキンは外さないよう注意してください。

7.3 天井点検口ふたの取り付け

- 1) 天井点検口ふたに天井点検口クリップを取り付けます。(2箇所)



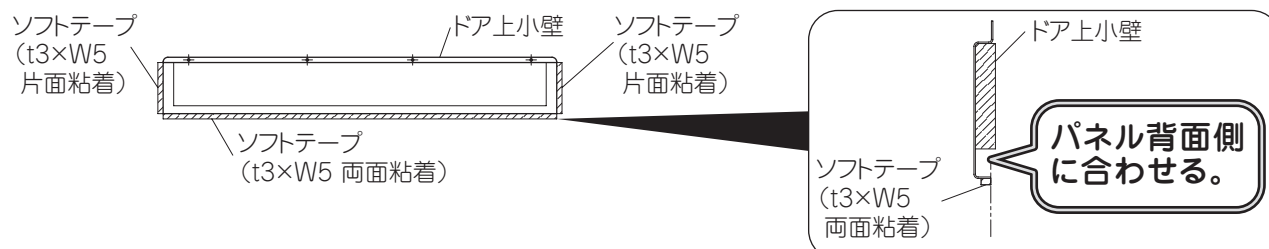
- 2) 天井点検口ふたを取り付け、クリップを回してふたが浮かないように止めます。



7.4 ドア上小壁の取り付け

取付設置上の『4.壁パネルの建て込み』を参照し、ドア上小壁以外の壁の建て込みを行います。
お願い

① ドア上小壁にソフトテープをはり付ける。

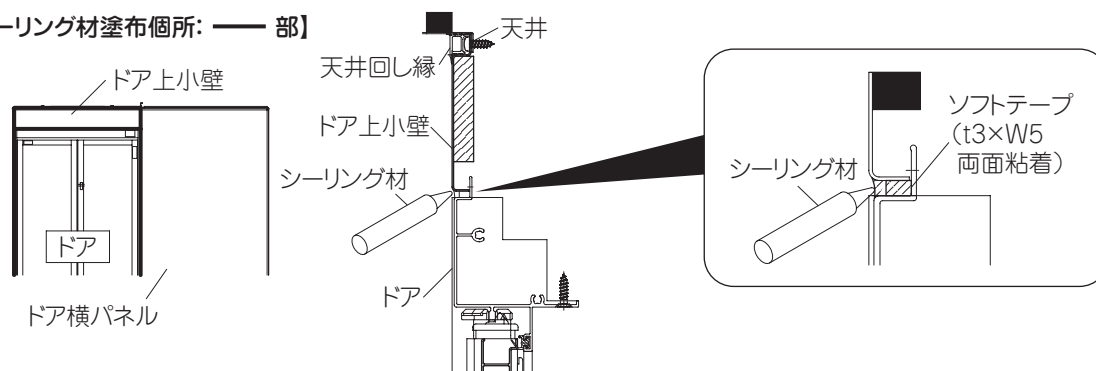


② ドア枠上面にドア上小壁をはり付ける。

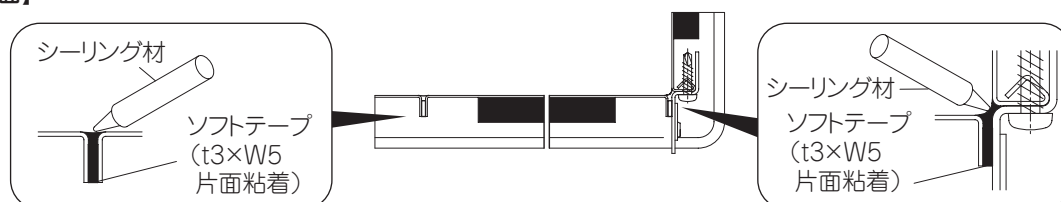
取付設置上の『6.ドア枠の取り付け』～『7.壁と天井の仕上げ』を参照し、ドア枠の固定および天井の固定、天井回し縁の取り付けを行います。
お願い

③ ソフトテープではり付けたすき間に、シーリング材を塗布する。

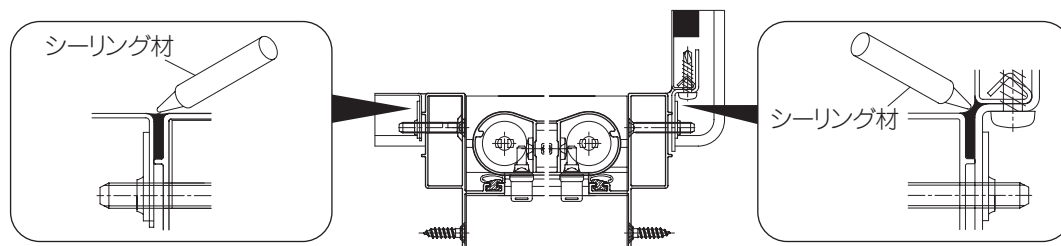
【シーリング材塗布箇所：——部】



【ドア上小壁部横断面】



【ドア部横断面】



7.5 ドア枠鉛直度の調整

取付設置上の
お願い

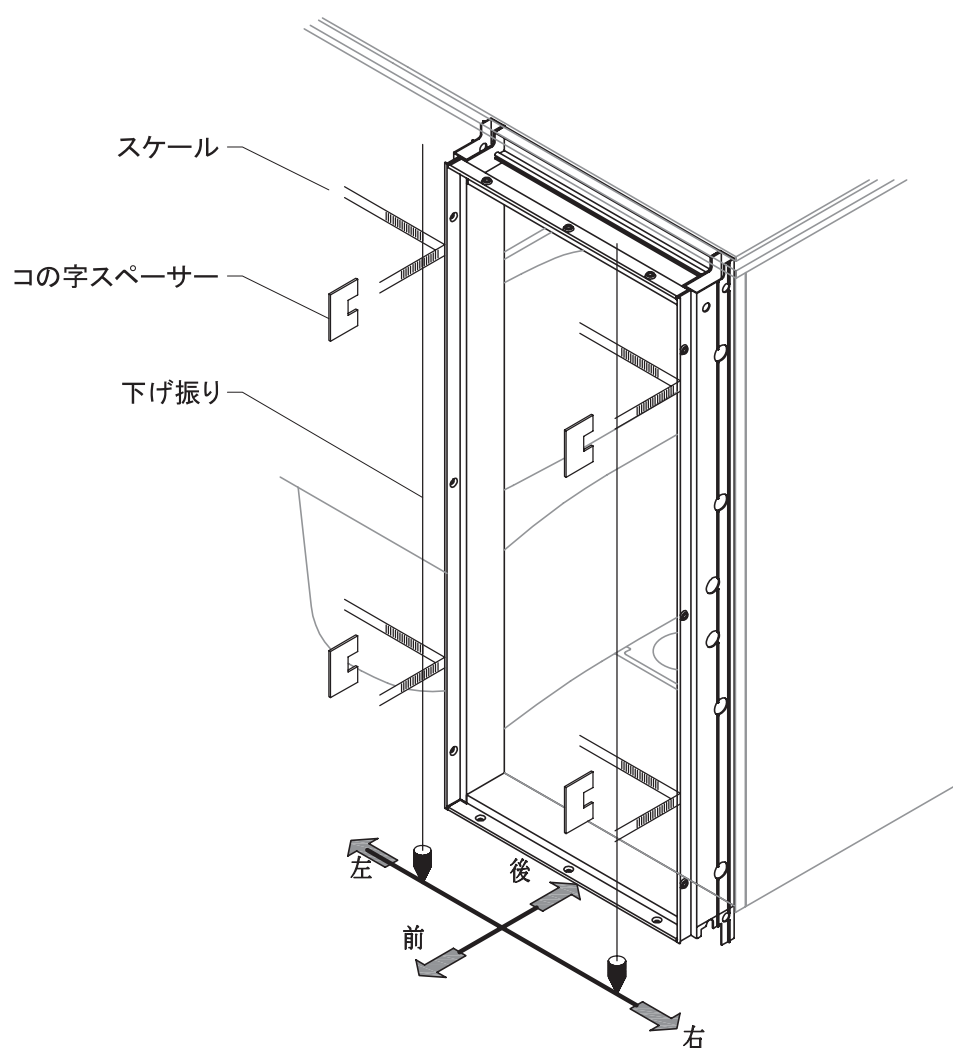
- ・ドア枠の前後・左右の垂直度(たおれ)を測定し、たおれは「1mm以下」に調整してください。
- ・ドア枠の先端位置を再確認してください。
- ・ドア枠の建て起こし調整は、天井～ドア枠のねじ固定時の調整と合わせて、ドア縦枠～ドア固定アングルの間にスペーサーを入れて調整してください。
(建て起こし調整を行わないと、ドア開閉がスムーズにできなくなる可能性があります。)

＜左右方向の建ち調整が必要な場合＞

- 1) いったんドア枠の固定ねじを緩める。
- 2) 起こしたい側にコの字スペーサーを挿入し、固定ねじを締め直す。

＜前後方向の建ち調整が必要な場合＞

- 1) 縦枠を固定している小ねじを緩めて調整し、本固定する。



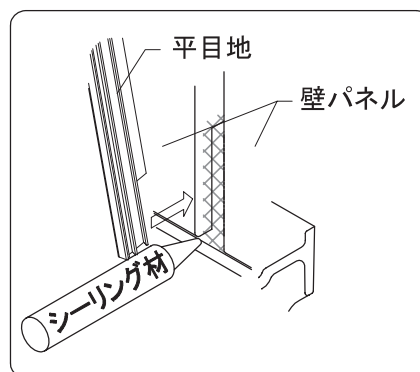
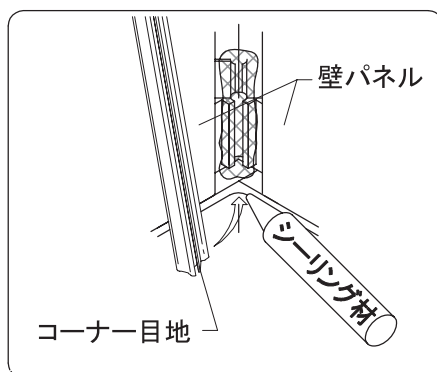
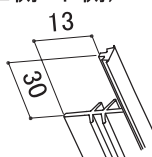
7.6 壁パネルの目地打ち込み

(1) 壁パネルジョイント(平、コーナー)部の下端にシーリング材を下図のように塗布します。

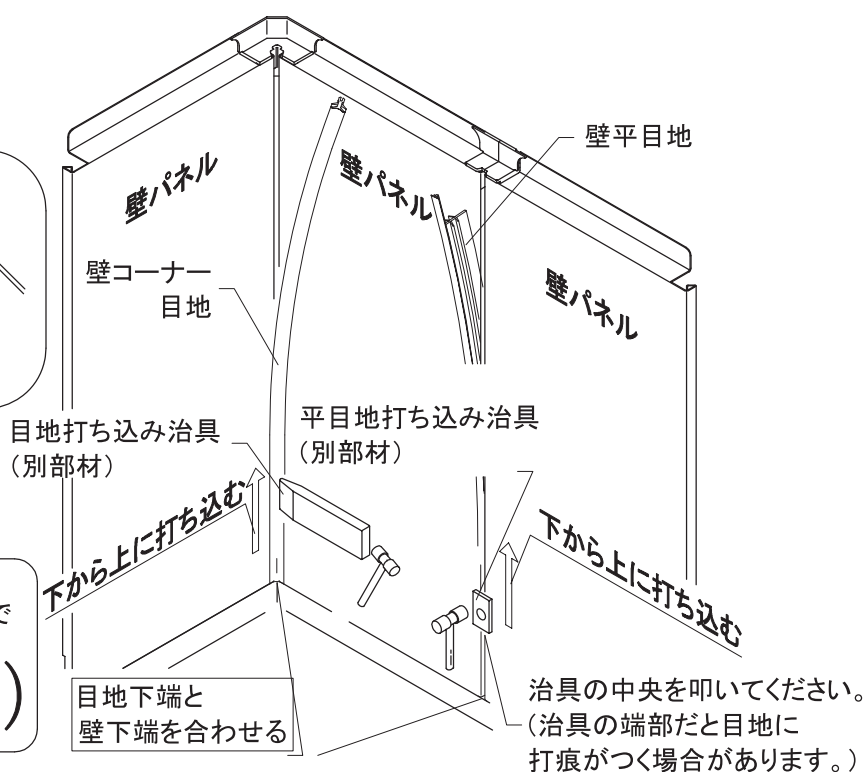
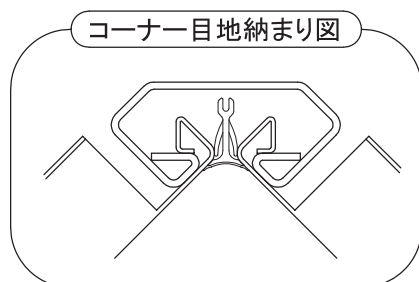


- ・シーリング材は指定箇所確実に行ってください。
(確実にシーリング材を塗布しないと、水漏れの原因となります。)
- ・平目地と壁パネル下端を合わせ必ず下から上へ打ち込んでください。
(隙間が大きくなり、水漏れの原因となります。)

(上側・下側)



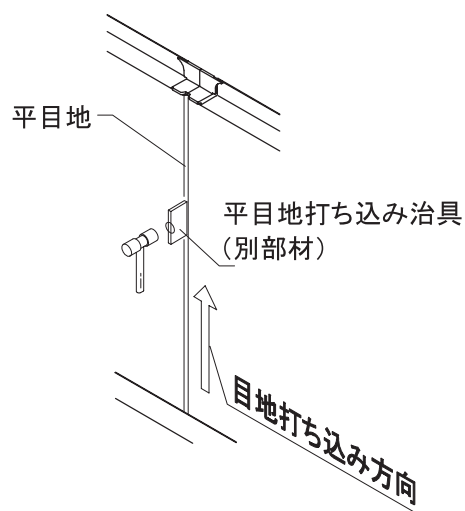
(2) 仮打ちした仮固定目地をはずし、打ち込み治具を使い、平目地、コーナー目地を下から打ち込みます。



施工上のポイント

- ・壁平目地は一度に打ち込まないで
徐々に叩き込む。
(一度に打ち込むと、
目地が破損する原因となります。)

- (3) 天井回り縁をカットします。
(平目地納まりは、下図参照ください)

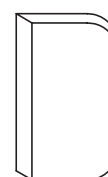


注意



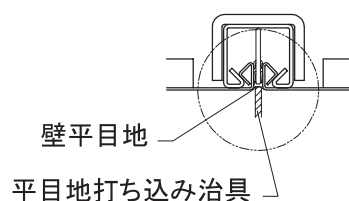
必ず守る

- ・平目地の上下形状を確認し、目地と壁パネル下端を合わせ必ず下から上へ打ち込みます。
(隙間が大きくなり、水漏れの原因となります。)
- ・平目地打ち込み治具を使用の際は角を削る。
(目地に打痕が付くことがあります)

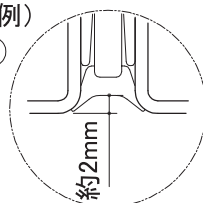


施工上のポイント

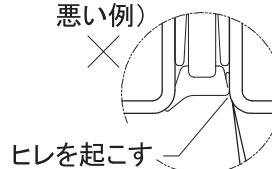
- ・壁平目地は一度に打ち込まないで徐々に叩き込んでください。
(一度に打ち込むと、目地が破損するおそれがあります。)
- ・打ち込み治具は平目地のセンターに当てて打ち込んでください。
(センターに当てないと、ヒレが入り込む恐れがあります。)
- ・ヒレが入り込んだ場合は先がとがった物で壁を傷つけずにヒレを起こしてください。



良い例)

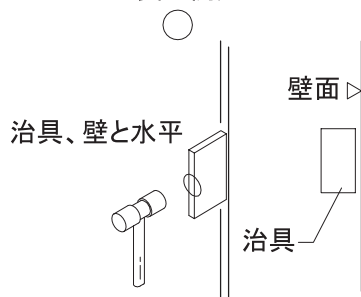


悪い例)

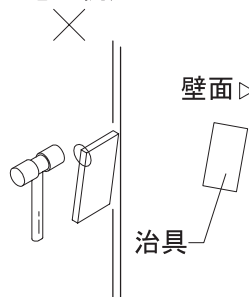


- ・治具を壁パネルと平行にして中央を叩いてください。
(治具の端部だと目地に打痕がつく場合があります。)

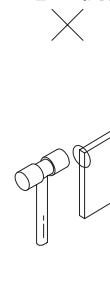
良い例)



悪い例)



悪い例)

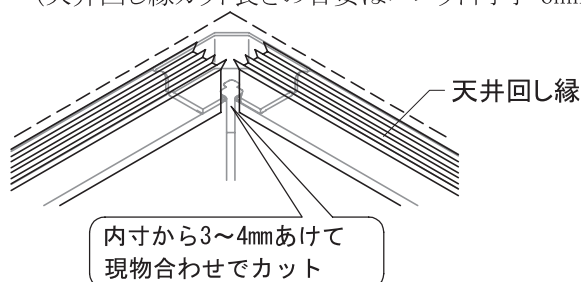


7.7 天井回し縁の取り付け

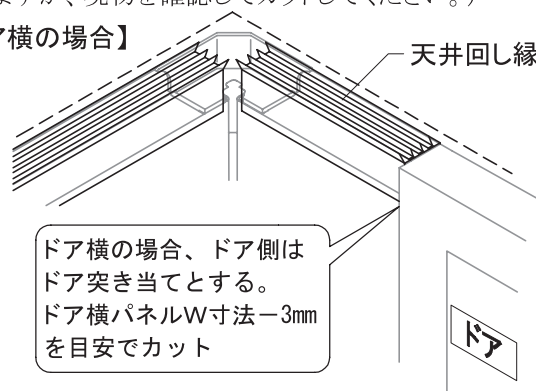
1) 天井の回し縁をカットします。

※コーナー部分は、内寸から3～4mmあけるようにカットしてください。

(天井回し縁カット長さの目安はユニット内寸-6mmになりますが、現物を確認してカットしてください。)

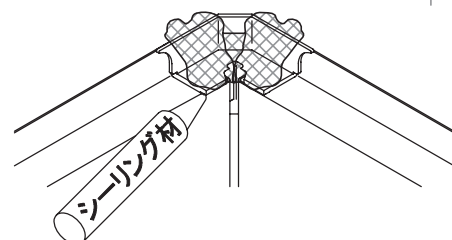


【ドア横の場合】



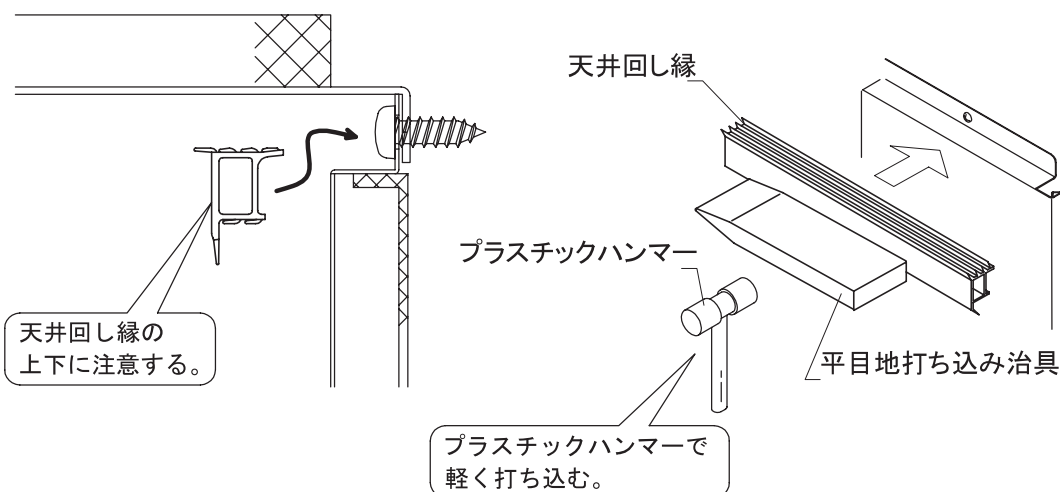
2) コーナーブロックに先行シーリング材を充てんします。

 注意	
 必ず守る	シーリング材充てんは指定箇所に 確実に 行ってください。 (確実にシーリング材を充てんしないと 水漏れの原因となります。)

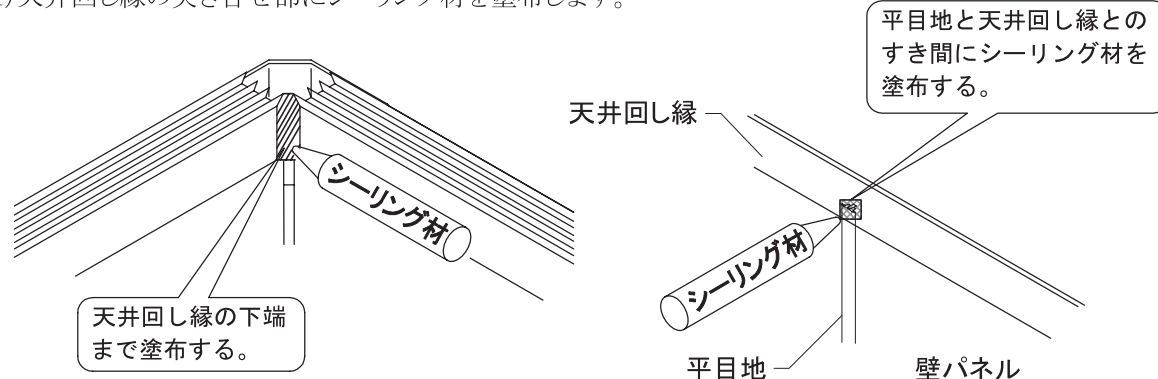


3) 天井回し縁を取り付けます。

天井回し縁を取り付けるときは、ねじ位置をプラスチックハンマーで軽く打ち込んでください。



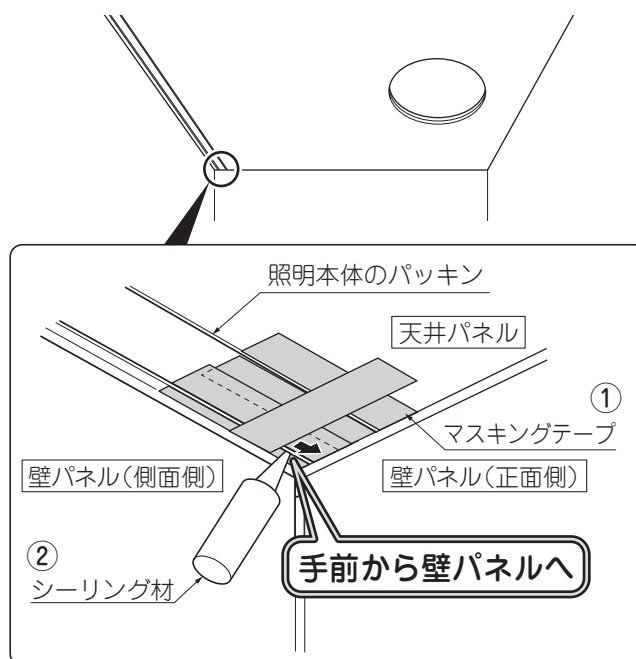
4) 天井回し縁の突き合せ部にシーリング材を塗布します。



7.8 壁と天井の仕上げ（ストレート LED 照明）

(1) ストレートLED照明取り付け部のシーリング材充てん

- ①SR内側から照明本体の両端にマスキングテープをはる。
- ②パッキンのない個所（両端）に、手前から壁パネルに向かってシーリング材を充てんする。



⚠ 注意



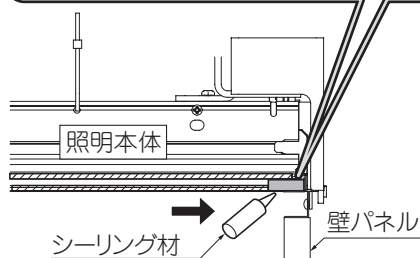
必ず守る

シーリング材充てんは指定個所に確実に行ってください。
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上の
お願い

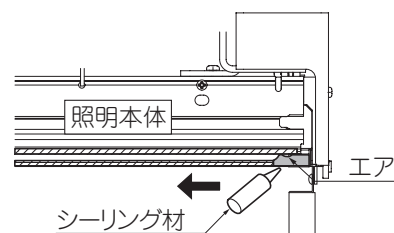


天井回し縁で隠れる個所まで
シーリング材を充てんする。



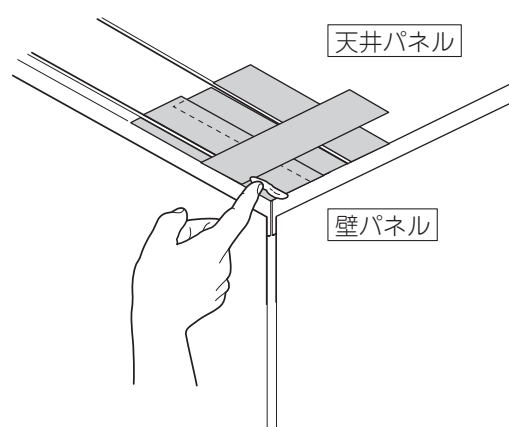
下図の状態にならないよう
注意してください。

壁パネル側から充てんすると、
エアがみすることがあります。



③シーリング材を指で平らにならす。

- ・天井パネルと壁パネルの間に打つシーリング材もならしてください。



取付設置上の
お願い

- ・照明のカバーにシーリング材が付いた場合は、必ずふきとってください。

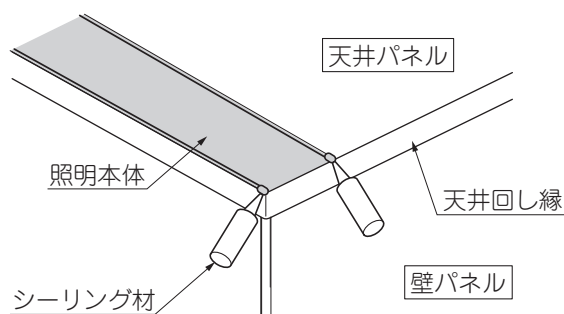
④天井回し縁を取り付ける。

- ・取り付け方は、7-7ページを参照してください。

取付設置上の
お願い

- ・天井回し縁を取り付ける際に、照明本体を叩かないでください。

⑤天井回し縁とストレートLED照明のすき間（両端）にシーリング材を充てんする。



取付設置上の
お願い

- ・照明のカバーにシーリング材が付いた場合は、必ずふきとってください。

⚠ 注意



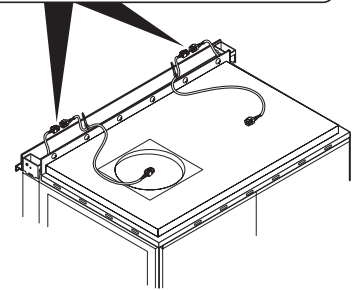
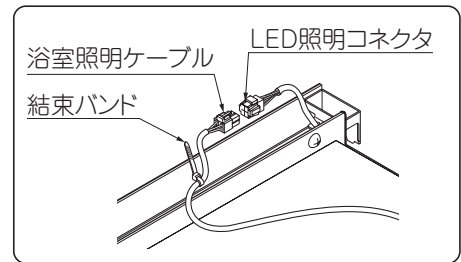
必ず守る

シーリング材充てんは指定個所に確実に行ってください。
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

⑥カバー保護テープをすべてはがす。

(2) ストレートLED照明本体と浴室照明ケーブルの接続

- ① ストレートLED照明本体の結束バンドに浴室照明ケーブルを通し、LED照明コネクタと接続する。
- ② 結束バンドの先を引っ張り、浴室照明ケーブルが抜けないようにする。



(3) 電源ボックスの取り付けと接続

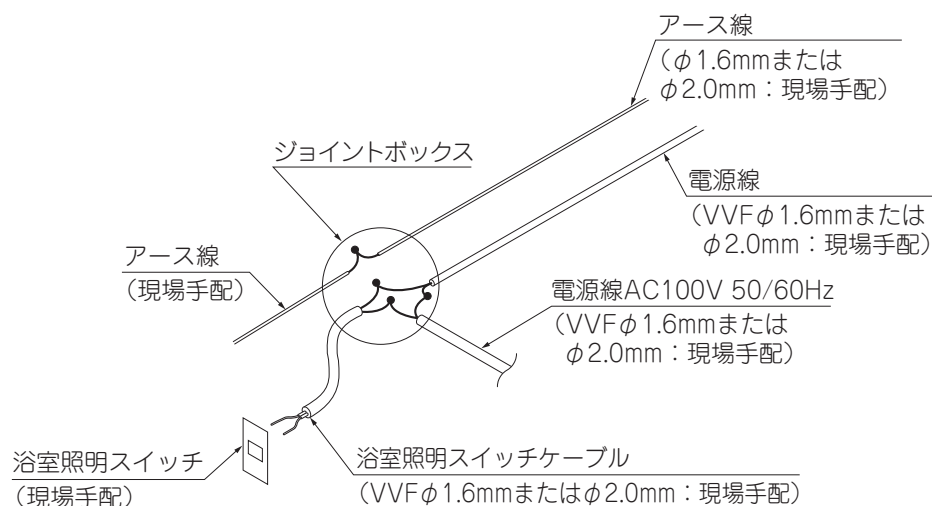
※詳細は、器具同梱の取付設置説明書をご覧ください。

7.9 電源の接続

別冊の電気配線図を参照してください。

(1) 電源線・アース線の接続

①アース線を接続する。



(2) 浴室照明スイッチの取り付け

スイッチは現場手配にてご準備ください。

推奨：パナソニック（株）製 WT5001

8. 器具の取り付け

8.1 器具取付前の準備

(1) 鋼板用樹脂アンカー（鏡受け、SUSカバー固定金具、シャワーフック）

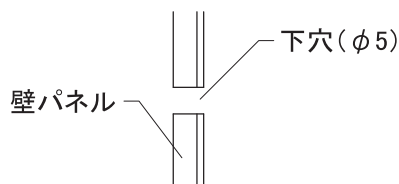
※スライドバー（オプション）選択時はシャワーフック用の鋼板用樹脂アンカーが4個余りますので現場で破棄してください。

※レインシャワー選択時は鋼板用樹脂アンカーは使いません。

取付設置上の お願い	ねじを締め込みすぎると、ねじが空回りして、取り付けできなくなる恐れがあります。 以下のように注意してください。 <電動ドライバーの場合> 弱めにクラッチ目盛りを合わせて、最後まで強い力で締め込まないようにしてください。 （クラッチの目安：パナソニック（株）製充電ドライバー品番：EZ6402NIにてクラッチ 21段階の2～3レベル）
---------------	---

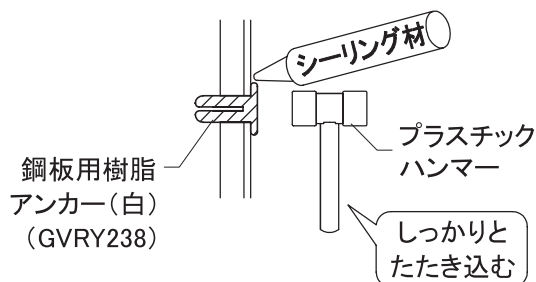
① 下穴（φ5）を開ける。

壁パネル表面にバリが出ないように注意してください。

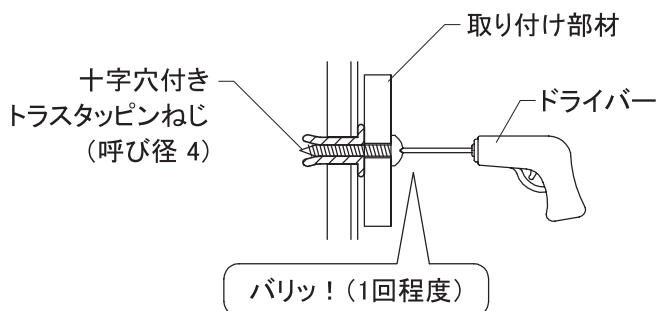


② プラスチックハンマーで鋼板用樹脂アンカーをしっかりとたたき込み、表面にシーリング材を塗布する。

！ 注意
樹脂アンカーはしっかりとたたき込んでください。
（しっかりとたたき込まないと、部材が浮いてしまい
ガタツキや落下の原因となります。）

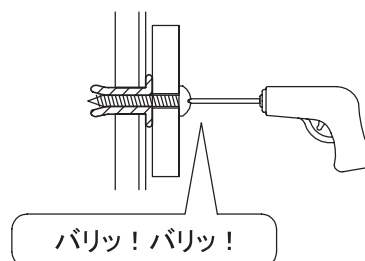


③ 取り付け部材を固定する。



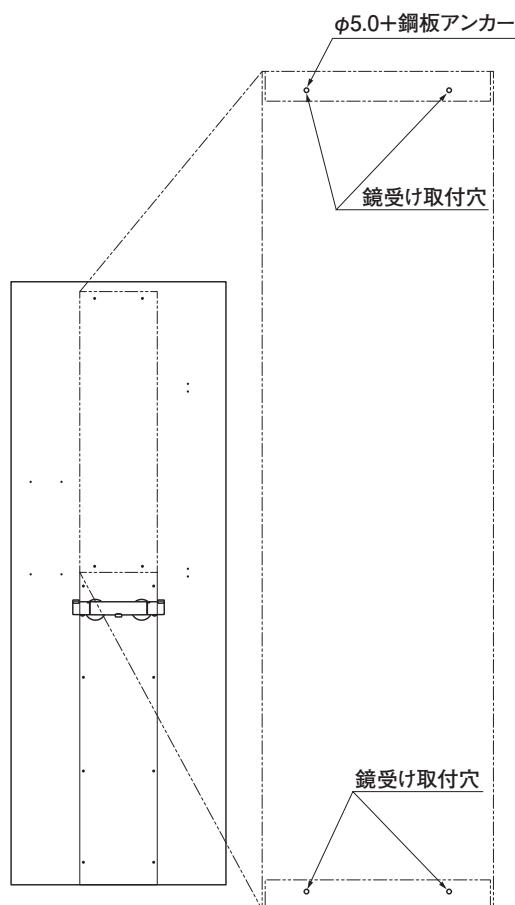
④ 軽く増し締めする。

締め込みすぎないように注意してください。

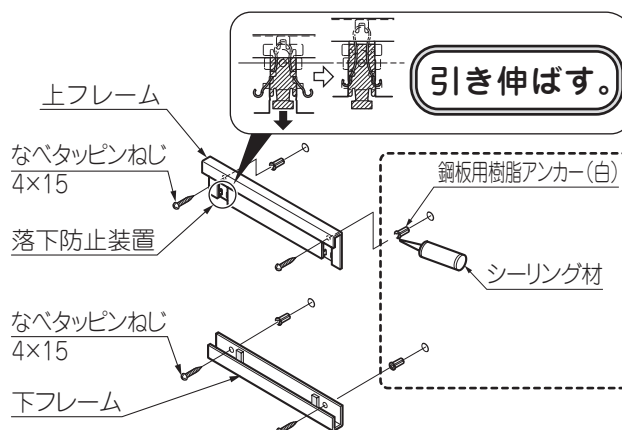


8.2 鏡受けの取り付け（化粧鏡ありの場合）

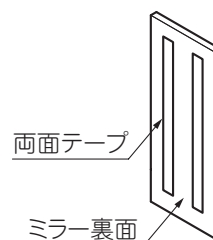
※単品の化粧鏡（オプション）も取付方法は同じです。



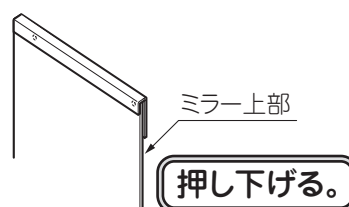
- ① $\phi 5.0$ 下穴に鋼板用樹脂アンカー（白）を挿入し、シーリング材を塗布する。
- ② 下フレームを付属のねじにて固定する。（2か所）
- ③ 上フレームの落下防止装置を引き伸ばし、ねじで固定する。



- ④ ミラー裏面の両面テープのはく離紙をはがす。



- ⑤ ミラーを壁に押しつけながら、上フレームを押し下げる。



8.3 水栓固定金具の取り付け

①水栓固定金具を壁パネルに取り付ける。

(裏配管について)

裏配管セットが給水給湯ホース付きの場合、同梱の結束バンド(インシュロック)またはサドルバンド(現場手配)にて、給水給湯ホースを適宜床などに固定してください。また補強木などが必要な場合は、現場手配となります。

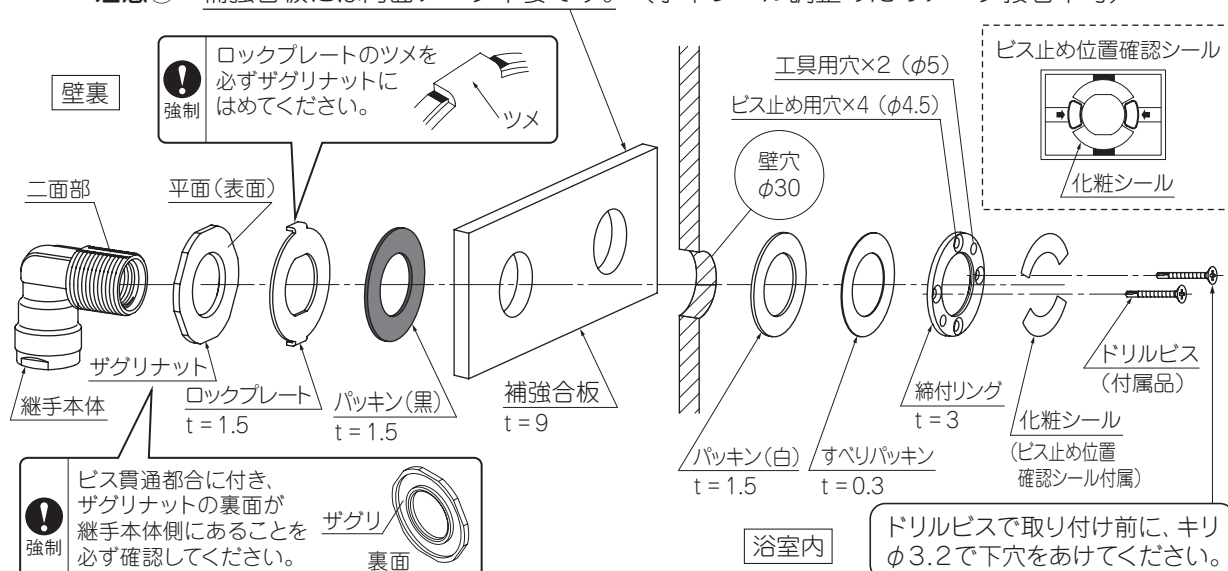
SUSカバーなしの場合(オリジナル水栓固定金具裏配管・板セット)

ザグリナット(表面)から継手本体の先までを29mmにして、ロックプレートをはめてください。壁取り付け時に、継手本体が浴室内壁から6mm出るようにザグリナットで調整してください。

注意① 6mmより大きくなると、水栓取付け時にねじ部が大きき露出します。

注意② 締付リングは水平レベル調整後に、下穴φ3.2をあけドリルビスで固定してください。

注意③ 補強合板には両面テープ不要です。(水平レベル調整のためテープ接着不可)



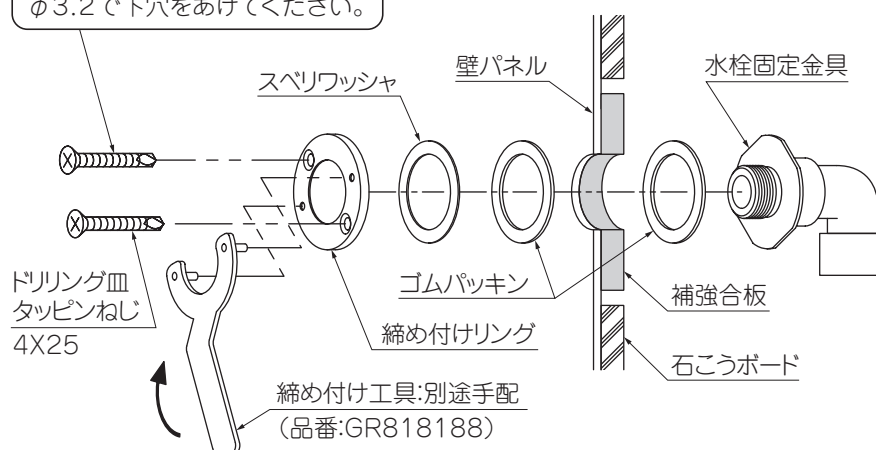
SUSカバーありの場合(水栓固定金具)

(裏配管セットが給水給湯ホース付きの場合)



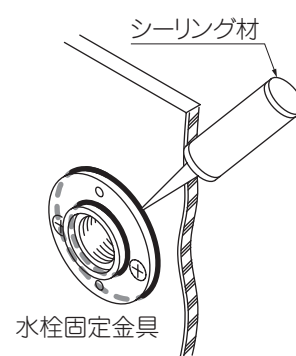
同梱のプレートは使用しません。プレートは廃棄してください。

ドリリング皿タッピンねじで、取り付けにくい場合は、キリφ3.2で下穴をあけてください。



SUSカバーあり/なし共通

・金具の外、内周部分にシーリング材を塗布する。



! 注意

! 必ず守る

- ・ 専用工具の使用箇所では必ず専用工具を使用する。
(専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。)
- ・ シーリング材充てんは指定箇所に確実に行う。
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)
- ・ 締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する。
(ねじで固定をしないと、ゆるみにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。)
- ・ 締め付けリングのねじ固定は管方向に対して水平の位置(9時－3時)もしくは8～10時－2～4時の位置で固定する。
(8～10時－2～4時の位置で固定しないと、キリ加工時に『配管を傷つけ』、水漏れの原因となります。)

正しい

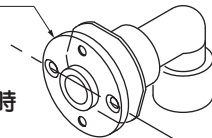


8～10時

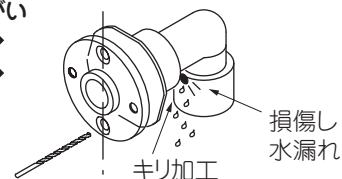


2～4時

締め付けリング



まちがい



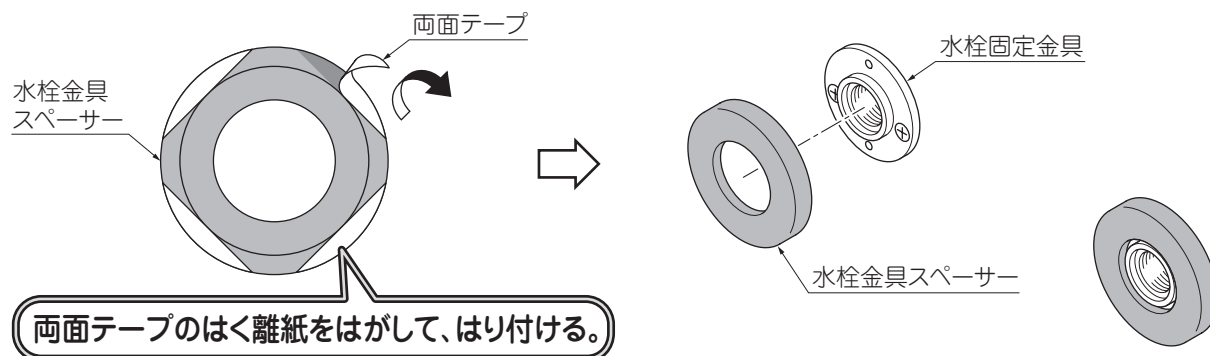
損傷し
水漏れ

キリ加工

8.4 SUS カバーの取り付け（SUS カバーありの場合）

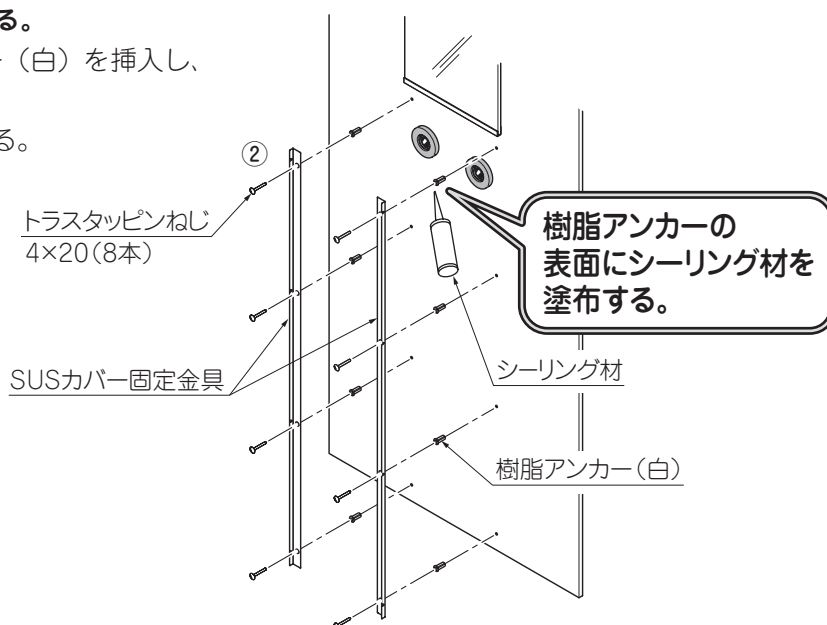
①水栓金具スペーサーを取り付ける。

- ・ 水栓金具スペーサー2個（SUSカバーに同梱）を、水栓固定金具部にはり付ける。

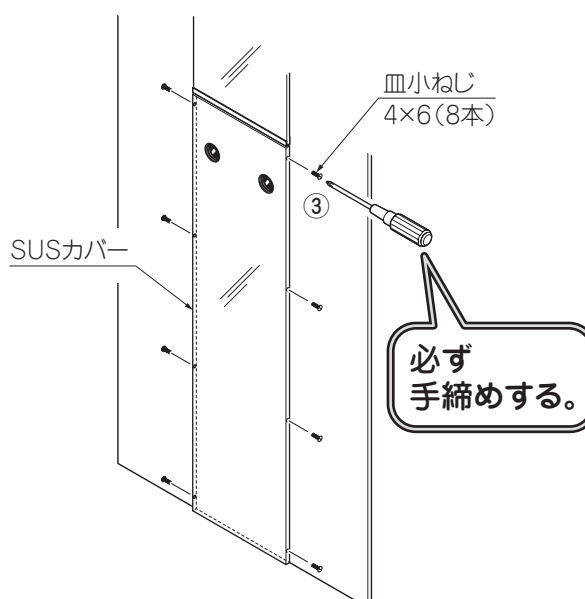


②SUSカバー固定金具を取り付ける。

- ・ $\phi 5.0$ 下穴に鋼板用樹脂アンカー（白）を挿入し、シーリング材を塗布する。
- ・ 固定金具を付属のねじで固定する。



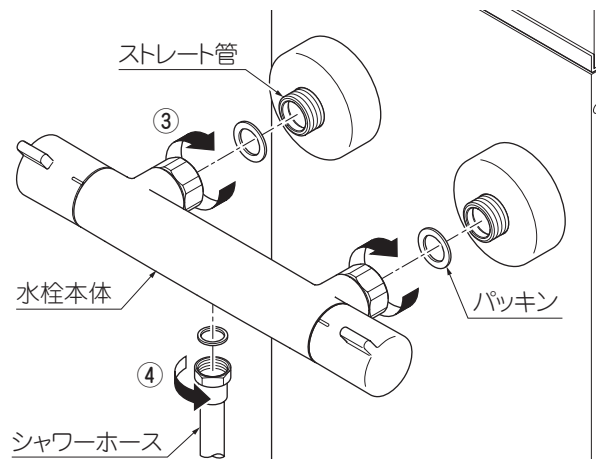
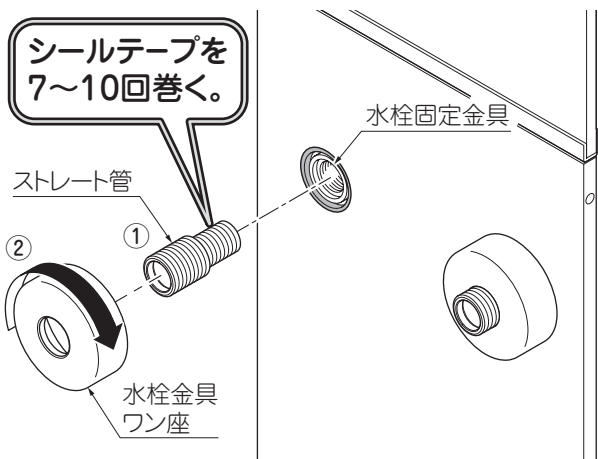
③SUSカバーを取り付ける。



8.5 水栓の取り付け（ハンスグローエ仕様の場合）

〈詳しくは水栓金具に同梱の説明書をあわせて確認してください。〉

- ① ストレート管(水栓金具に同梱)を水栓固定金具に接続する。
- ② 水栓金具ワン座を取り付ける。
- ③ 水栓本体をストレート管と接続する。
- ④ シャワーホースを水栓本体に接続する。



8.6 水栓の取り付け（KVK 仕様の場合）

- ① ソケットのねじ部にシールテープ（現地手配）を7~10回巻き、配管に垂直にねじ込む。
- ② ソケットと本体を接続する。

取付設置上のお願い

- 図のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。（シールテープの巻き数にて調節してください。）
- 図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。



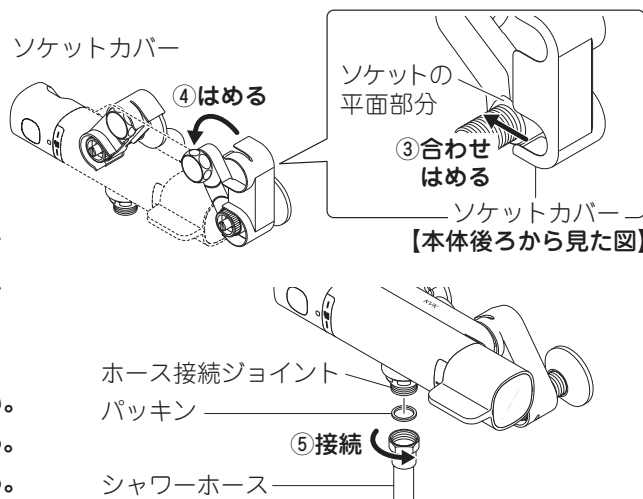
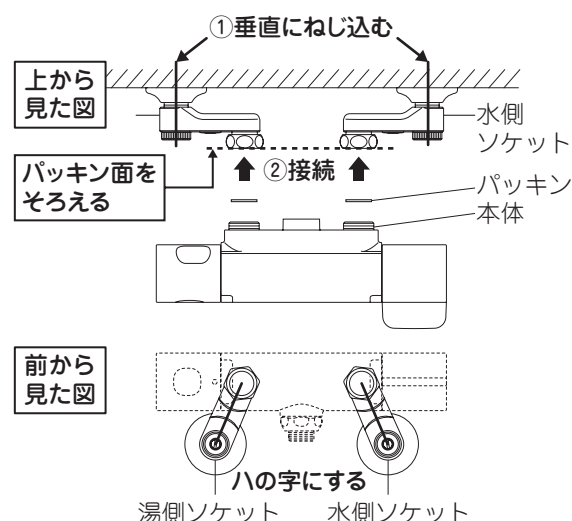
注意



必ず守る

- ・ 締め付けは、六角の二面幅にあわせてモンキーレンチなどで確実に（しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。）

- ③ ソケットカバーを取り付ける。ソケットカバーをソケットの平面部分（ソケット止水栓部裏面）に合わせはめます。
- ④ ナット部とソケットカバーを合わせはめます。ソケットカバーは湯側・水側両方にはめてください。
- ⑤ シャワーホースをホース接続ジョイントに接続する。
- ⑥ 使用方法ステッカーを見やすい位置にはりつける。



8.7 シャワーヘッドの取り付け

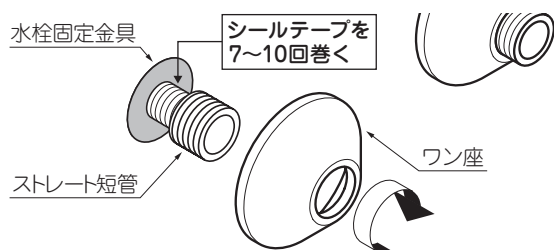
- ① 本体同梱の説明書にしたがい取り付ける。

8.8 水栓の取り付け（レインシャワー仕様の場合）

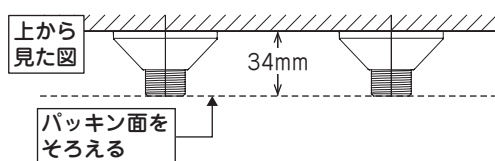
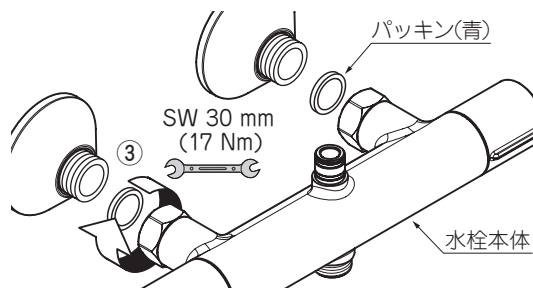
〈詳しくは水栓金具に同梱の説明書をあわせて確認してください。〉

①ストレート管（レインシャワー）を水栓固定金具に接続する。

②水栓金具にワン座を取り付ける。



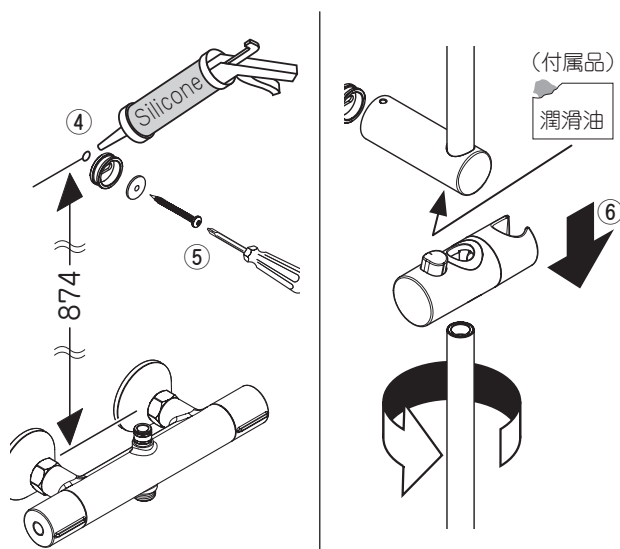
③水栓本体をストレート短管と接続する。



④シャワーパイプ固定用のΦ2.8下穴にシーリング材を多めに塗布する。

⑤シャワーパイプ固定座を同梱ワッシャ（Φ16）とねじ（トラスタッピン4×40）で固定する。

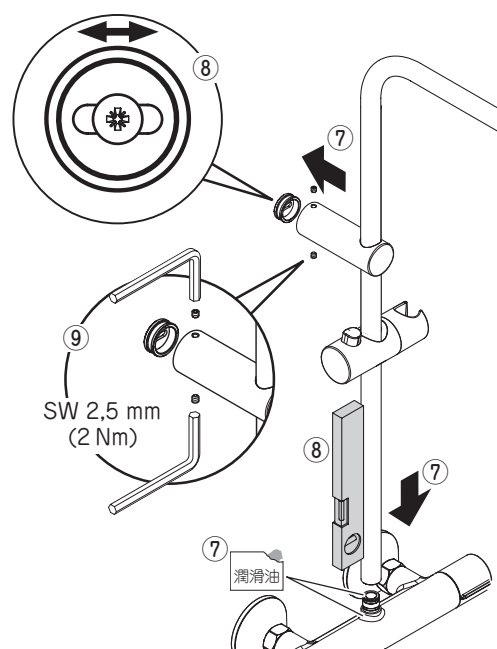
⑥シャワーパイプにシャワーフックを差し込む。



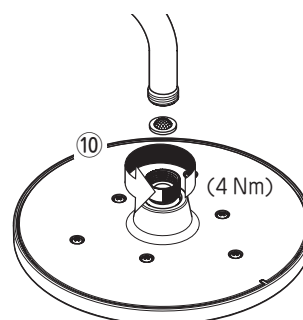
⑦シャワーパイプ下部の水栓に潤滑油を塗布して差し込む。

⑧パイプが垂直になるように固定座を固定する。

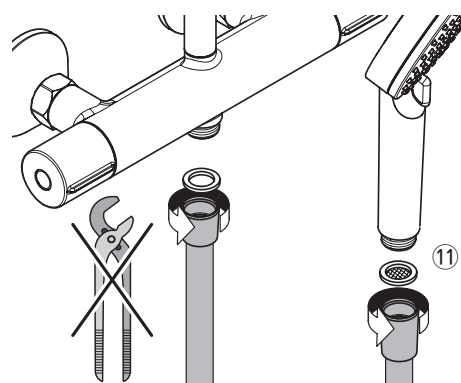
⑨シャワーパイプ上部を固定座に差し込み、六角レンチで上下2箇所を固定する。



⑩レインヘッドを取り付ける。



⑪シャワーホース、シャワーヘッドを取り付ける。

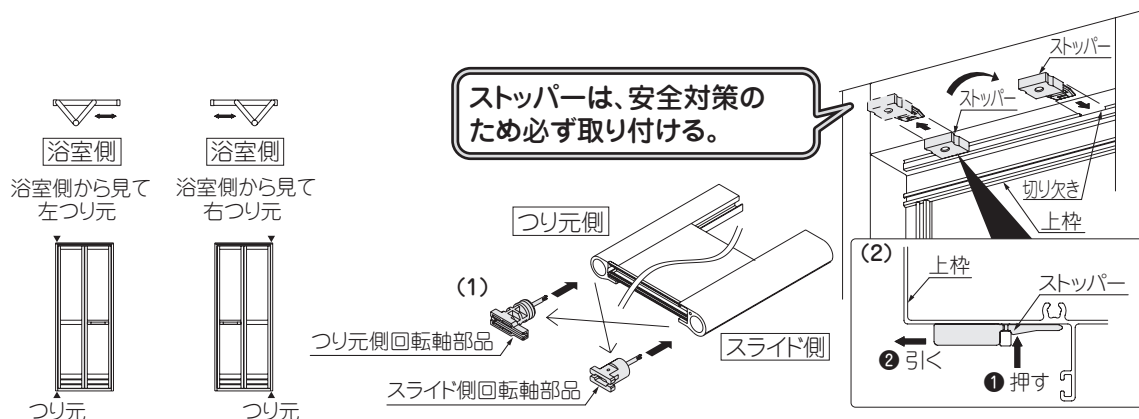


9. ドアの取り付け

9.1 ドア本体のつり込み（折戸）

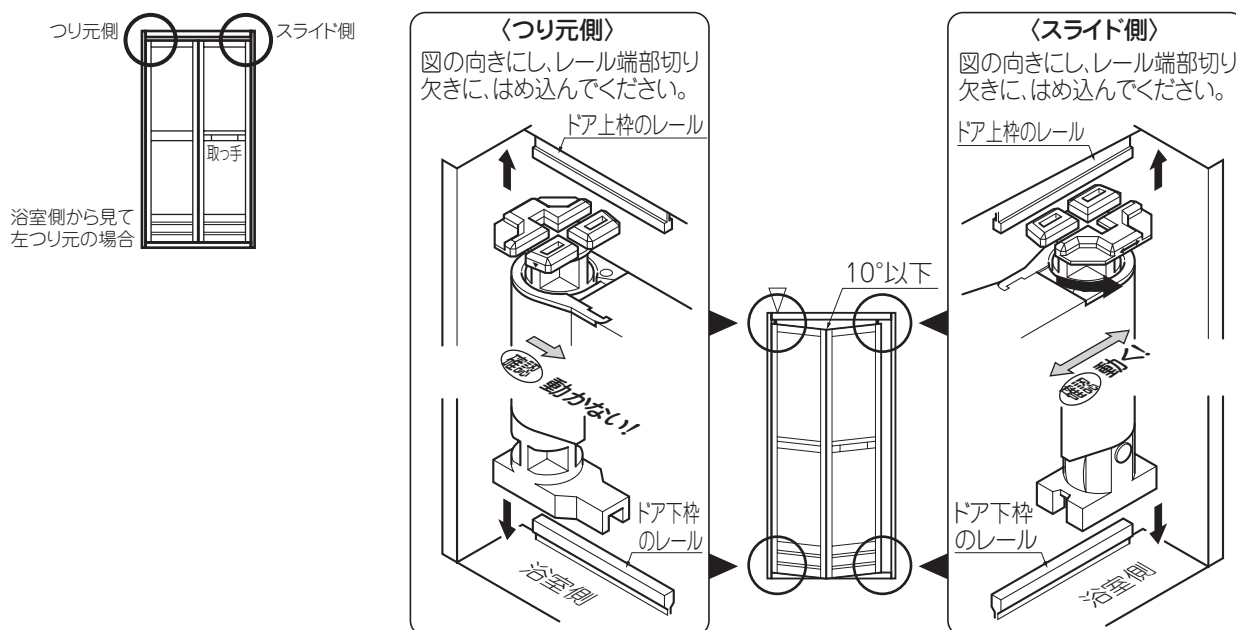
1) つり元が逆の場合は、つり元の交換をする。

- 商品出荷時、部品は浴室側から見て左つり元にセットされています。
- 右つり元で使用する場合は、つり元交換作業を行ってください。
- (1) 下部の回転軸部品を引き抜き、つり元側とスライド側の差し替えを行ってください。
- (2) ストッパーを押しながら引き抜き、反対側の切り欠きにはめ込んでください。



2) ドア本体をつり込む。

- 浴室側から見て左側がつり元のときの説明図です。
- 右側がつり元のときは、左右逆でつり込んでください。
- 扉の取り外し・つり込みの際は、扉を10°以下に開いた状態で行ってください。



取付設置上の お願い

つり込み後扉を開閉し、つり元側上部が動かないことを必ず確認してください。
(取り付けを誤ると、障子が外れるおそれがあります。)

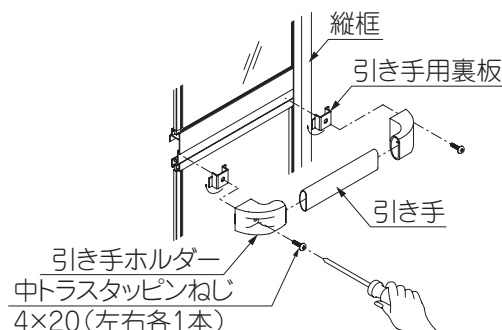
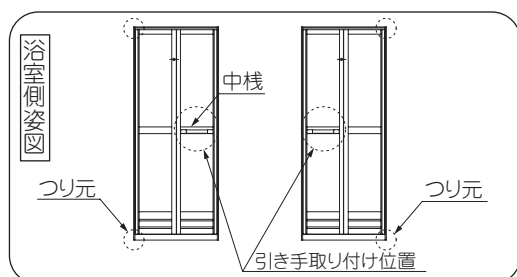
9. ドアに取り付け

3) 引き手用裏板を中棧の溝に入れ回転させる。

※引き手は、つり元と反対側の中棧に取り付けてください。

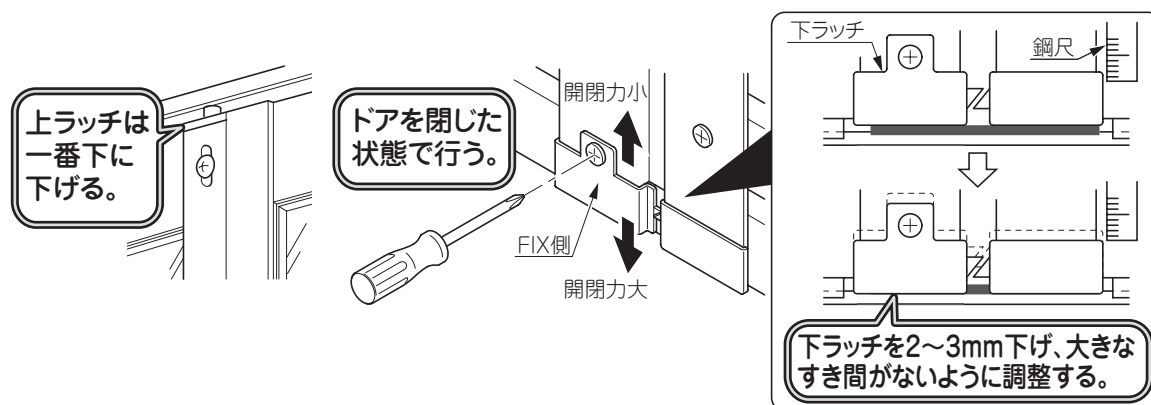
4) 引き手を引き手ホルダーに差し込み、引き手用裏板に固定する。

・引き手ホルダー端部は、縦框に接するように固定してください。



5) ドアを閉じ、上ラッチを一番下に下げた状態で、FIX側のねじを緩めて下ラッチを上下に調整する。

・下ラッチを下げる場合は、約2～3mm下げてください。



取付設置上の
お願い

必ず開閉確認を行ってください。

6) 上ラッチの調整が必要な場合は、ねじを緩めて上ラッチを上下に調節する。



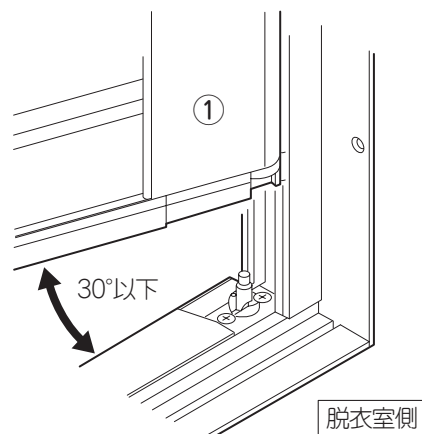
取付設置上の
お願い

必ず開閉確認を行ってください。

9.2 ドア本体のつり込み（開き戸）

1) ドア本体は必ず開いた状態で、下枠ピボットヒンジの軸を下枠ピボット受けの穴にはめ込む。

- ・ 取り付け元側下部のみ、フラップ起こしを破損させないように注意してください。

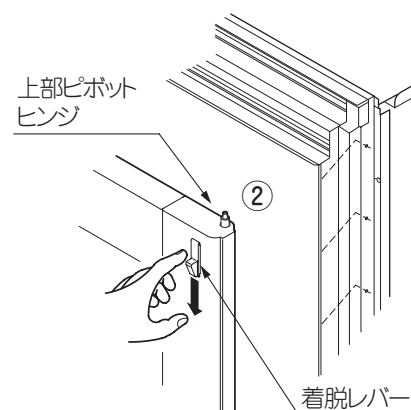


**取付設置上の
お願い**

ドアを30度以上開いた状態では枠に取り付けることはできません。

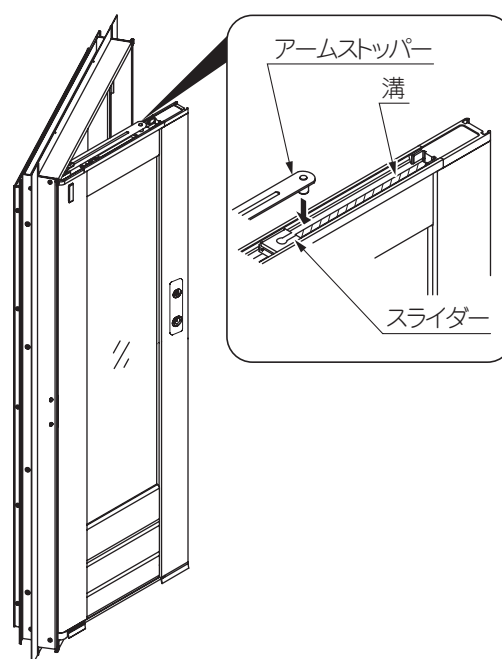
2) ドア上部をドア枠に取り付ける。

- ・ 着脱レバーを押し下げながら、上部ピボットヒンジ軸をドア枠にはめ込む。



3) アームストッパーをスライダーに差し込む。

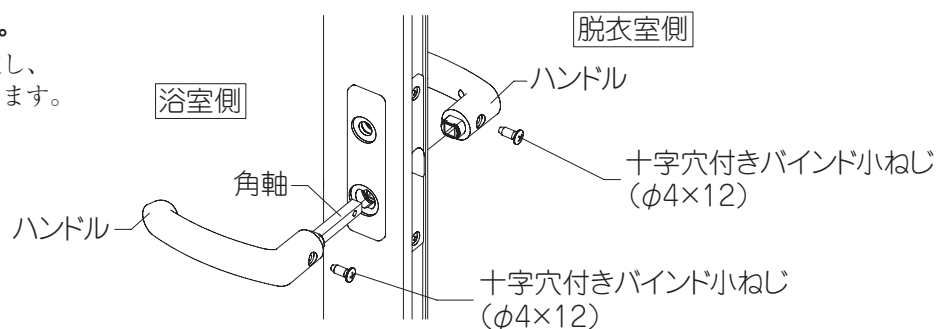
- ・ パチッと音がするまで押し込んでください。



9. ドアに取り付け

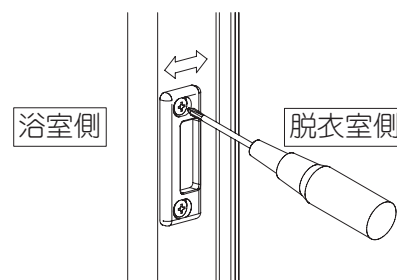
4) ハンドルを取り付ける。

- ・ 図のようにハンドルを固定し、ねじをしっかりと締め付けます。



5) 錠受けを調整する。

- ・ 錠受けのねじを緩め、ドアの建て付け調整を行います。
- ・ ラッチのかかりが悪いときは浴室側へ、ドアのがたつきが大きいときには脱衣室側へ出入りの調整を行ってください。

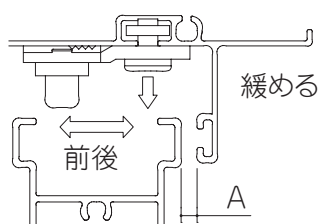


6) ピボットヒンジを調整する。

〈前後方向の調整〉

見込みチリ寸法Aを3～5mmの範囲で調整します。(初期設定は3mm)

パッキンの当たりが強いときは浴室側へ、すき間があいているときは脱衣室側に調整します。

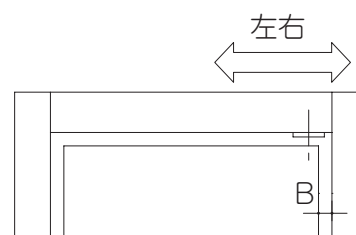


〈左右方向の調整〉

縦のチリ寸法Bを2～7mmの範囲で調整します。

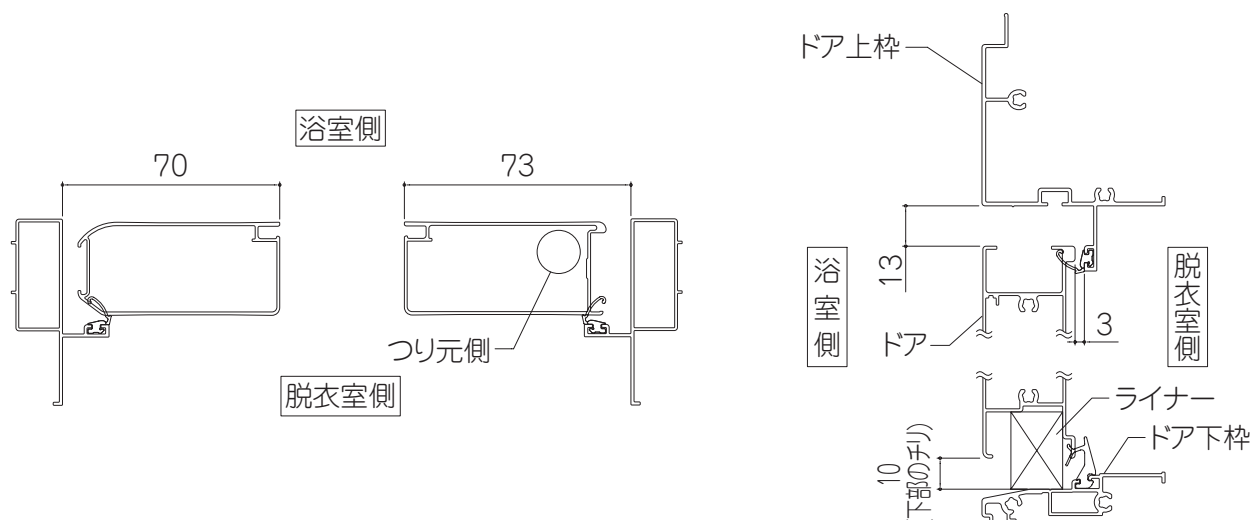
枠と障子のチリがくるっている時などは、左右に調整します。

ただし、B寸法を小さくすると、パッキンの当たりが大きくなり、異音が発生したり、開閉に支障がでたりするので注意してください。



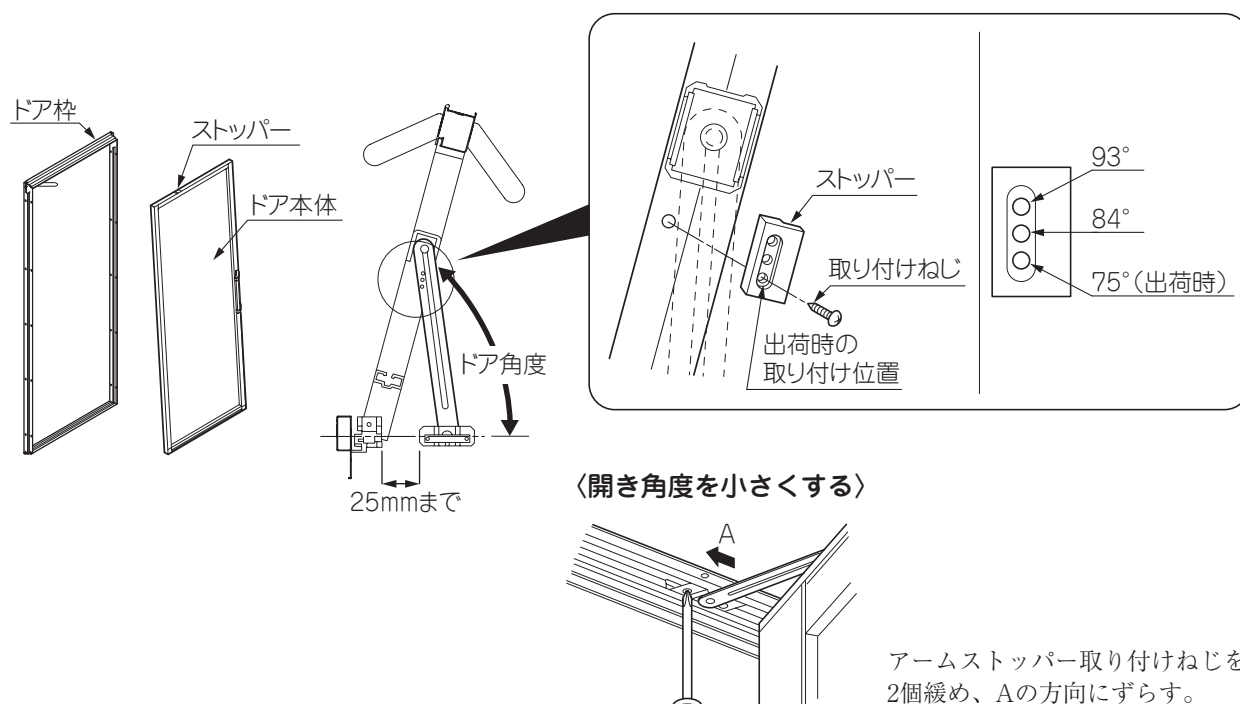
7) 枠取り付けと設置確認

- (1) ドア枠は、はらみ、つずみ状態、対角ずれのないように取り付ける。
- (2) 図のように障子を基準に枠の取り付けをチェックする。
 - ・ 障子錠側下部にはり付けてあるライナーを取り付けたままで枠につり込むと、下部のチリは確保されます。



8) アームストッパーを調整する。

- ・ 出荷時のドア角度は、75度開きです。
- (※角度はアームストッパーのアソビ等で1, 2度の誤差があります)
- ・ ドア角度を変更したい場合は、以下の作業を行ってください。
- (1) ドア本体の上にあるストッパーの取り付けねじを外す。
 - ・ ドア本体を外すと、上からストッパーを確認することができます。
- (2) 部品をスライドさせて、任意の穴位置で固定する。



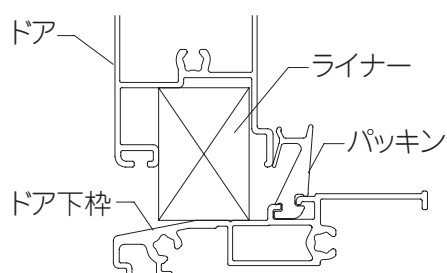
9) 開閉を確認する。

- ・開閉を確認して異常があった場合は、前述の調整を繰り返し、場合によっては取り付け開口部の垂直度・水平度を確認します。

注意

必ず守る

- ・下枠パッキンが正しく付いていることを確認する。
(パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。)



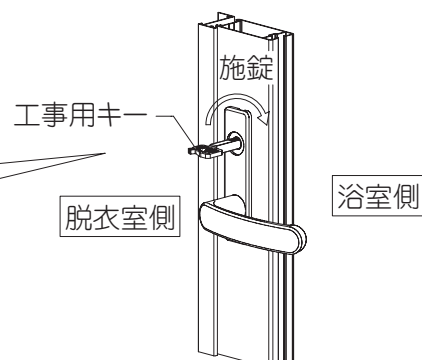
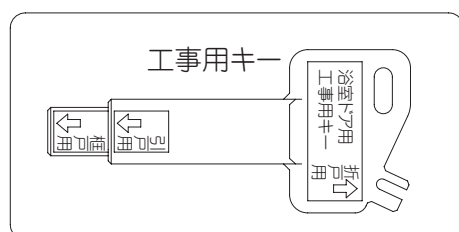
※障子錠側下部にはり付けてあるライナーは取り外します。



パッキンを挟み込まない。

10) 工事中のドアを固定する。

- ・ドア本体のロックを工事用キー（別途手配）で90°回し、枠に固定します。

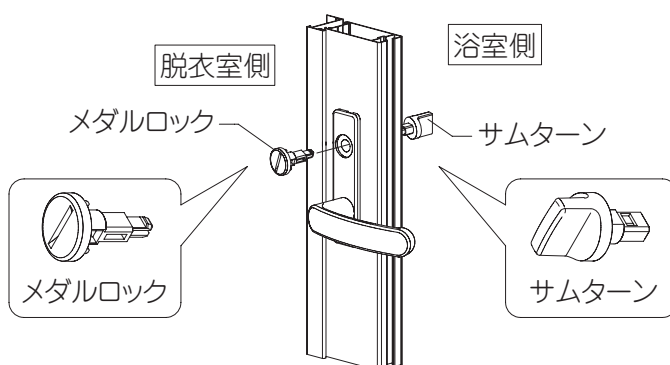


11) サムターン・メダルロックを取り付ける。(工事完了後)

- ・工事完了後、サムターン・メダルロックを浴室開き戸に取り付けます。

取付設置上のお願い

サムターン・メダルロックは取り付けずに、工事完了まで現場監督様が管理してください。誤って逆に取り付けてしまった場合は、サムターンのツマミ部をウエスなどで覆ってからペンチで引き抜き、再度取り付けしてください。



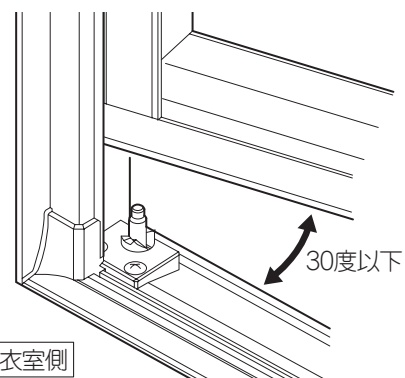
9.3 開き戸（強化ガラス）の取り付け（オプション）

(1) ドア本体の取り付け

- ① ドア本体は必ず開いた状態で、下枠ピボットヒンジの軸を下枠ピボット受けの穴にはめ込む。
- ・ 吊り元側下部のみ、フラップ起こしを破損させないように注意してください。

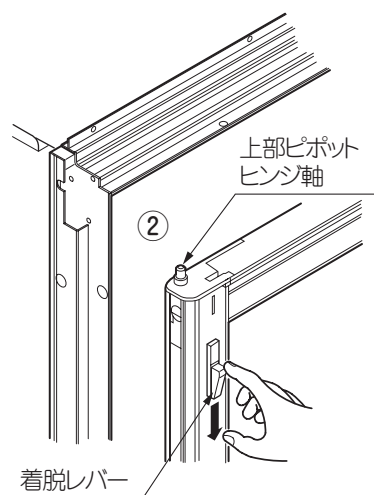
取付設置上の
お願い

- ・ グラビティーヒンジを使用しているため、ドアを30度以上開いた状態では枠に取り付けることはできません。



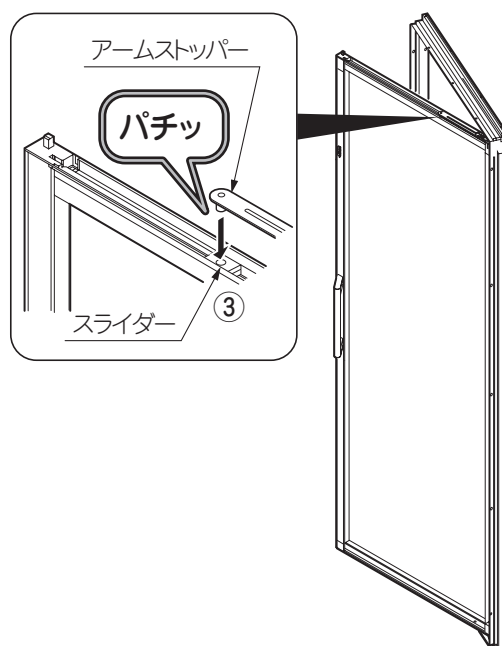
② ドア上部をドア枠に取り付ける。

- ・ 着脱レバーを押し下げながら、上部ピボットヒンジ軸をドア枠にはめ込む。



③ アームストッパーをスライダーに差し込む。

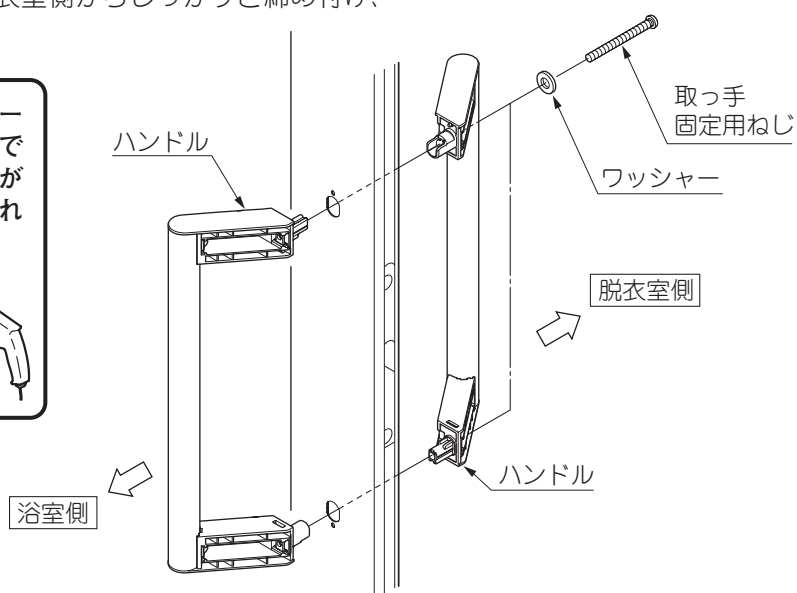
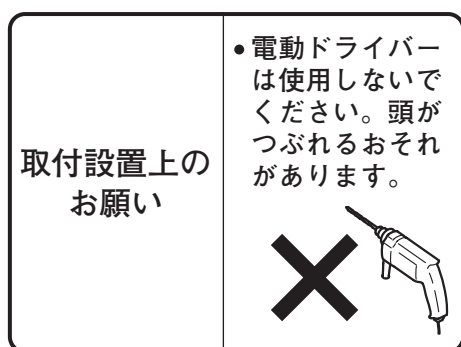
- ・ パチッと音がするまで押し込んでください。



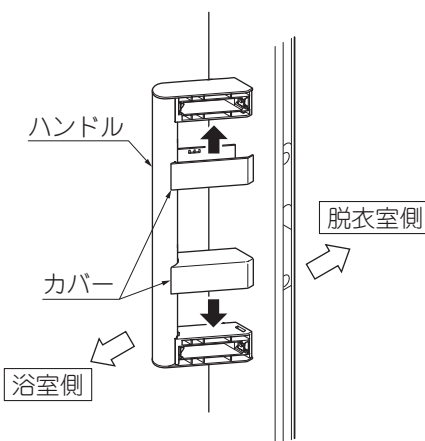
(2) ハンドルの取り付け

① ハンドルを取り付ける。

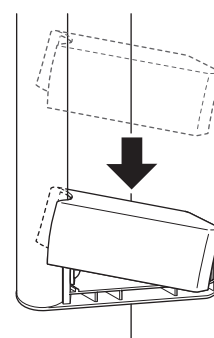
- ・⊕手回しドライバーでねじを脱衣室側からしっかりと締め付け、ハンドルを固定してください。



② カバーを取り付ける。



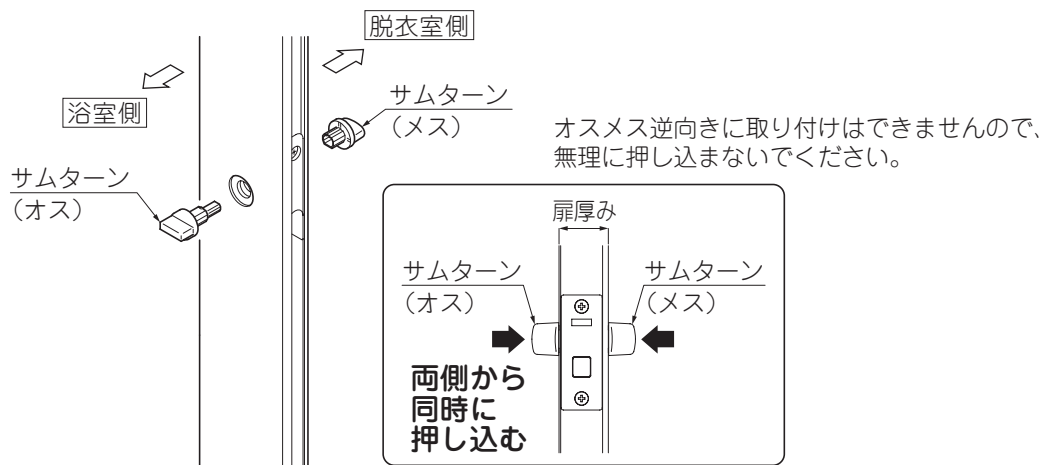
両手でカバーを開き、
ななめにした状態で差し込む



(3) サムターンの取り付け

① サムターンを内外から挟み込むように取り付ける。

- ・パチンと音がするまではめ込み、サムターンをつまんで、しっかりとまっていることをご確認ください。

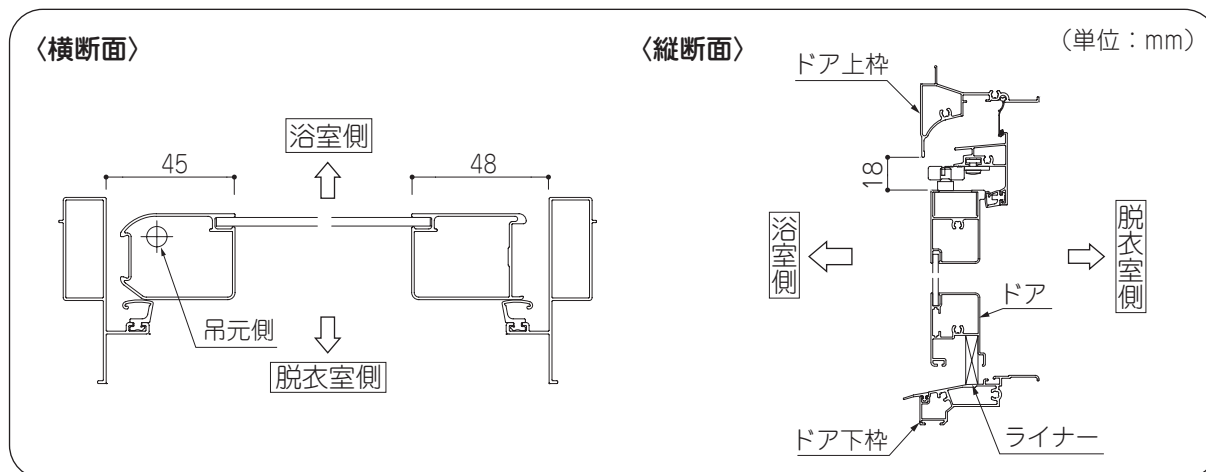


(4) 枠の取り付け確認

① ドア枠は、はらみ、つずみ状態、対角ずれのないように取り付ける。

② 図のように障子を基準に枠の取り付けをチェックする。

・ 障子錠側下部にはり付けてあるライナーを取り付けたままで枠につり込むと、下部のチリは確保されます。

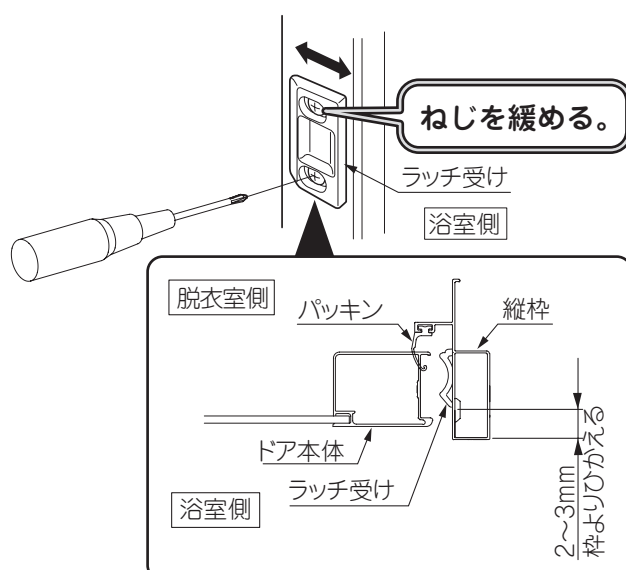


(5) ラッチ受けの調整

① ラッチ受けの前後調整を行う。

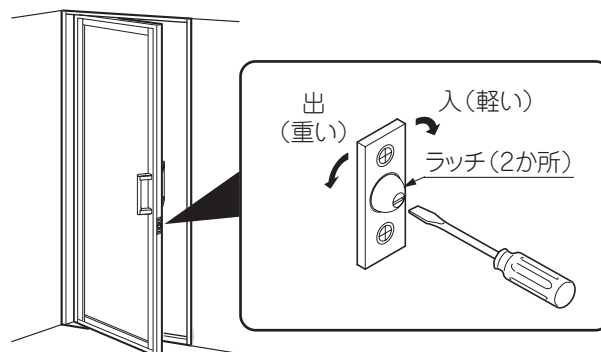
・ 縦枠パッキンと下枠パッキンがドア本体と密着するように、ラッチ受けを前後調整してください。

 注意	
 必ず守る	●ラッチの確認・調整は必ず行う (ラッチがずれたまま使用すると、水漏れの原因となります。)



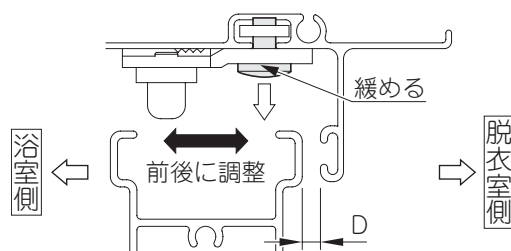
(6) ラッチの調整

- ① ドアの開閉力調整が必要な場合、マイナスドライバーなどを使用して調整を行う。
・ ラッチを回してください。

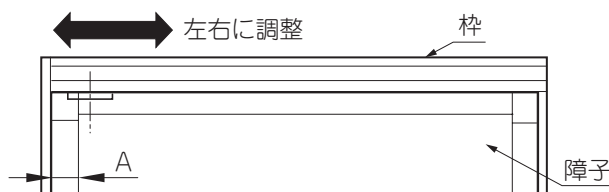


(7) ピボットヒンジの調整

- ① パッキンの当たりが強いときは浴室側へ、すき間があるときは脱衣室側に前後方向の調整をする。
・ 見込みチリ寸法Dを8～10mmの範囲で調整できます。(初期設定は8mm)



- ② 枠と障子のチリがくるっているときなどは、左右方向の調整を行う。
・ 縦のチリ寸法Aを2～7mmの範囲で調整できます。



取付設置上の
お願い

- A寸法を小さくなるよう調整すると、パッキンの当たりが大きくなり、異音が発生したり、開閉に支障が出たりするので注意してください。

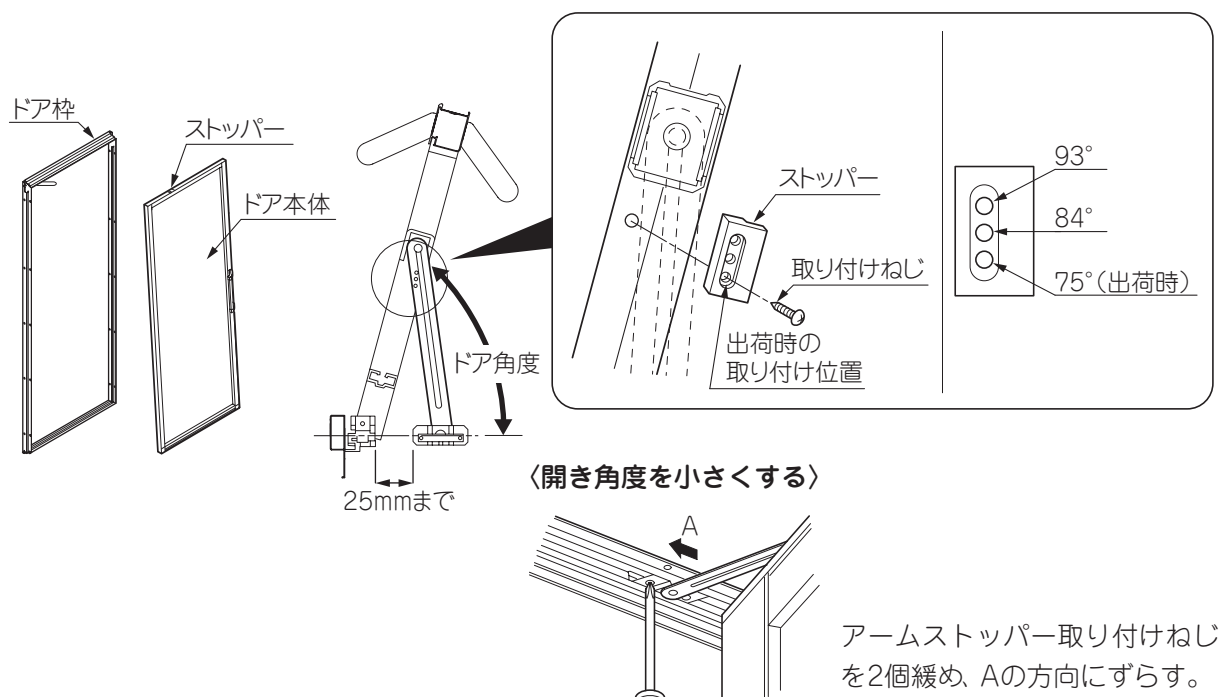
(8) アームストッパーの調整

- ・出荷時のドア角度は、75度開きです。
(※角度はアームストッパーのアソビ等で1, 2度の誤差があります)
ドア角度を変更したい場合は、以下の作業を行ってください。

① ドア本体の上にあるストッパーの取り付けねじを外す。

- ・ドア本体を外すと、上からストッパーを確認することができます。

② 部品をスライドさせて、任意の穴位置で固定する。



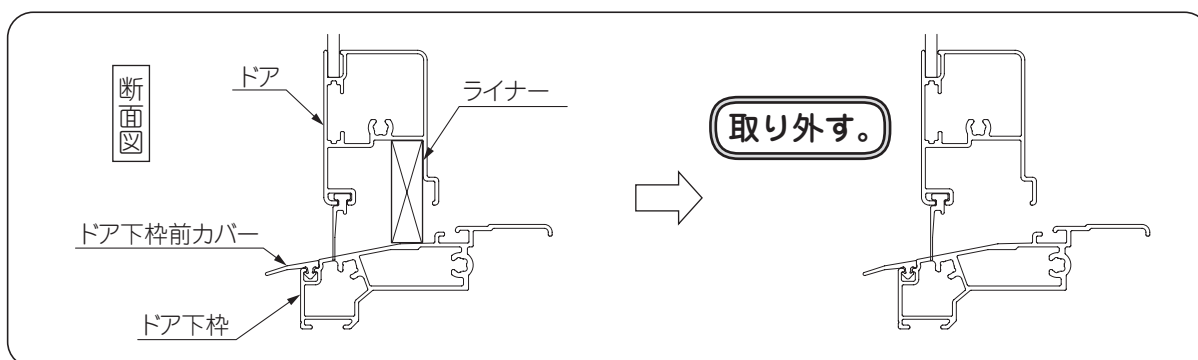
(9) 開閉の確認

- ① 開閉を確認して異常があった場合は、前述の調整を繰り返し、場合によっては取り付け開口部の垂直度、水平度を確認する。

⚠ 注意

⚠
必ず守る

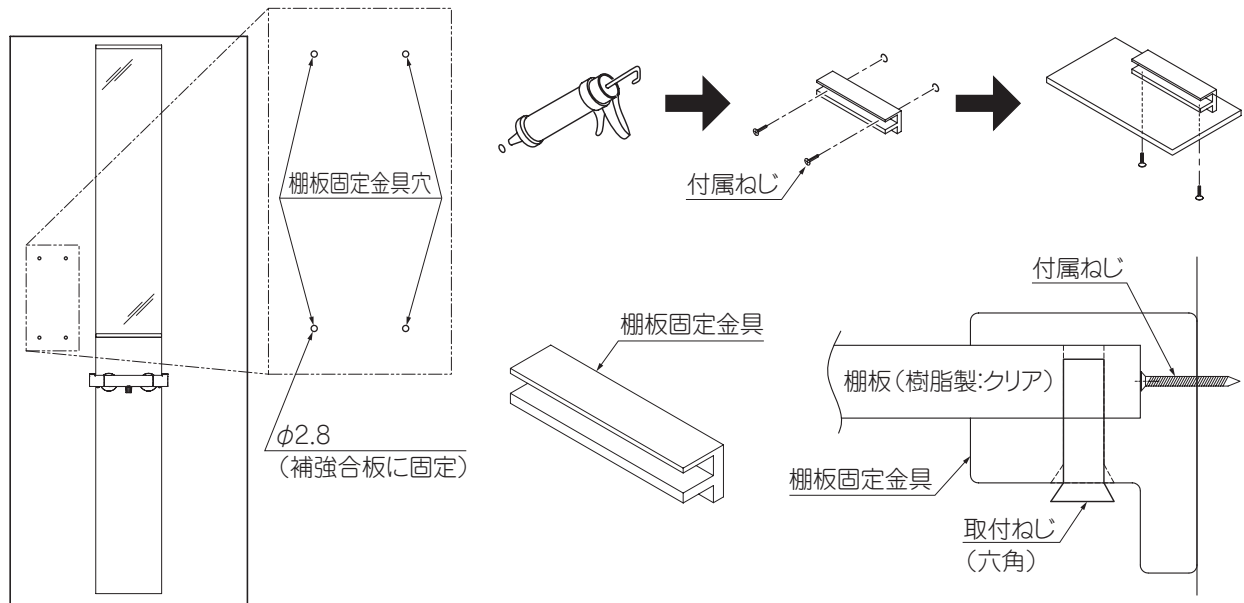
- 下枠パッキンが、正しく取り付けられていることを確認する
(パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。)



10. 部品の取り付け

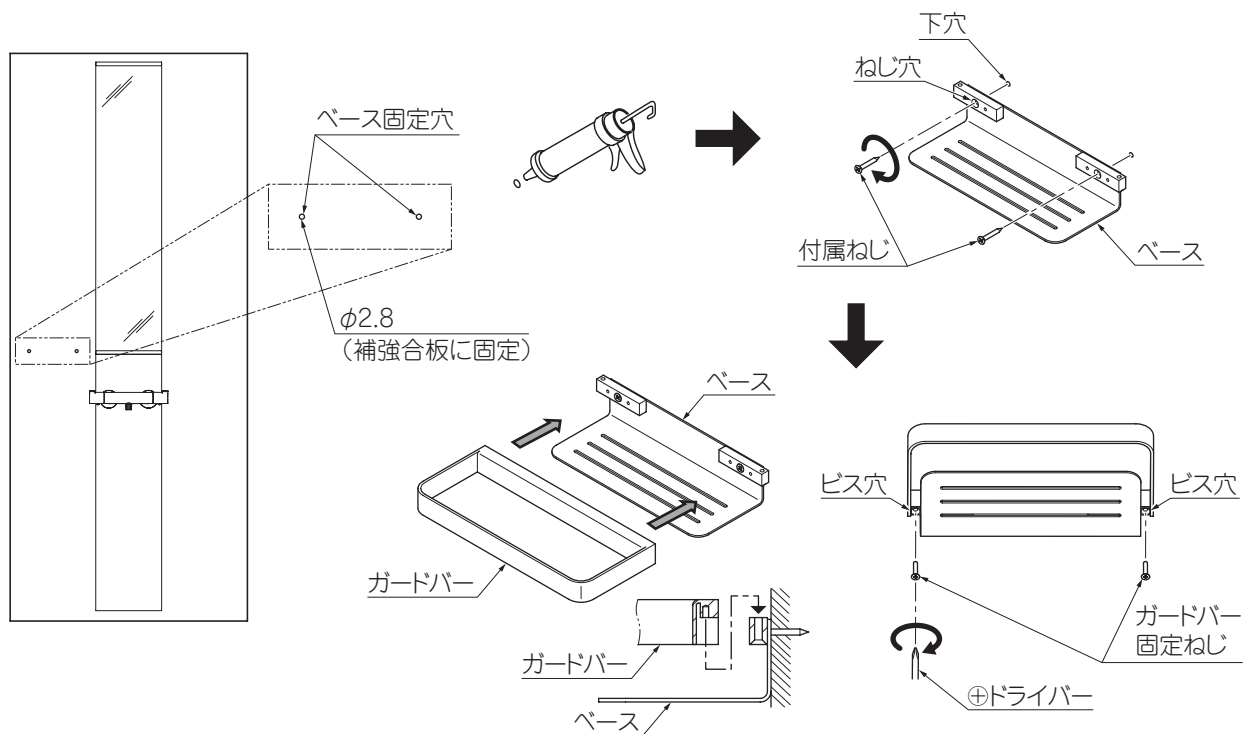
10.1 アクリル棚の取り付け

- ①壁の取付穴にシーリング材を塗布します。
- ②付属のねじで棚板固定金具を補強合板に固定します。
- ③図の位置に棚板を差し込み、下から取付ねじで固定します。



10.2 ステンレス棚の取り付け

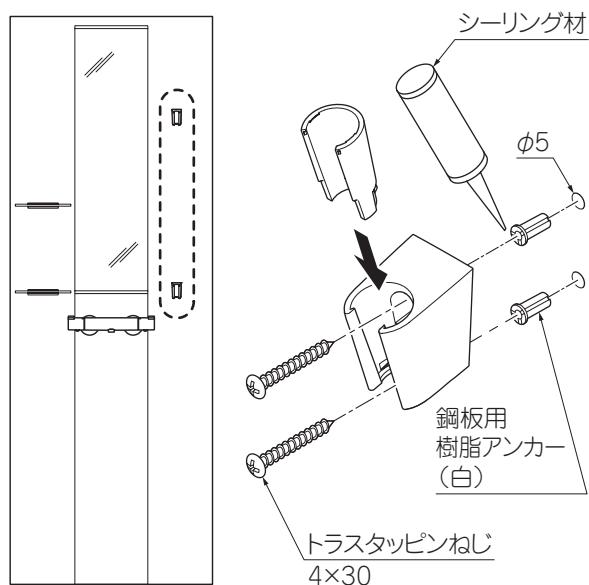
- ①壁の取付穴にシーリング材を塗布します。
- ②付属のねじでベースを補強合板に固定します。
- ③図の位置にガードバーを差し込み、下からガードバー固定ねじで固定します。



(ハングローエ仕様の場合)

10.3 シャワーフックの取り付け

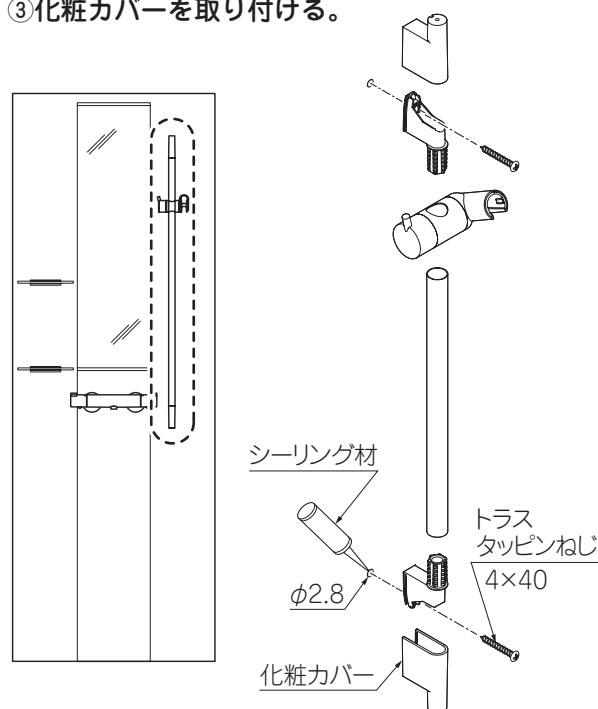
- ① $\phi 5.0$ 下穴に鋼板用樹脂アンカー(白)を挿入し、シーリング材を塗布する。
- ② 同梱のねじ(トラスタッピンねじ 4×30)で固定する。



10.4 スライドバーの取り付け (オプション)

〈あわせて同梱の施工説明書を参照してください。〉

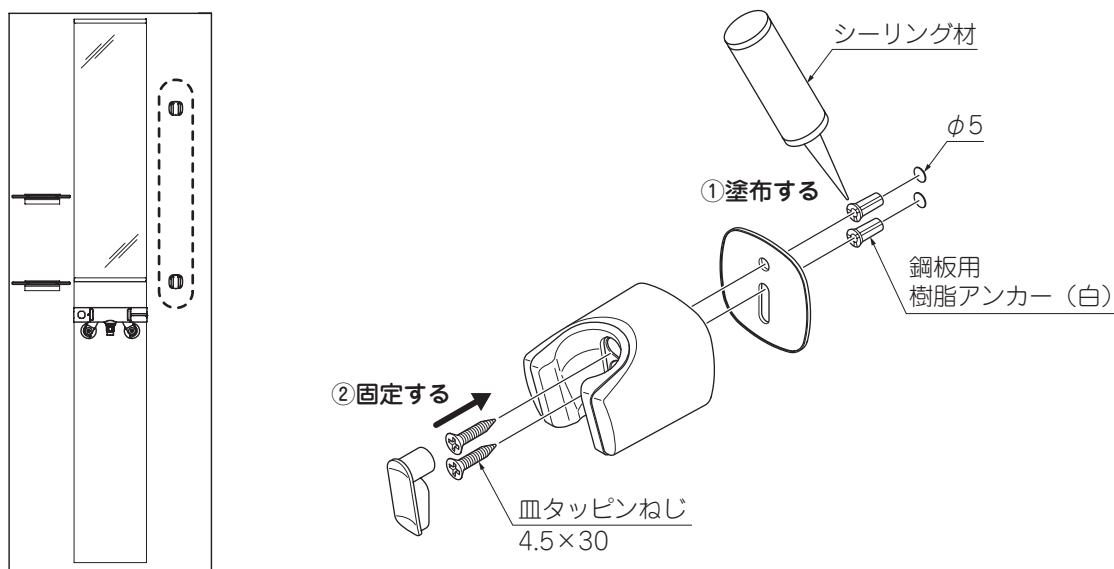
- ① $\phi 2.8$ 下穴にシーリング材を塗布する。
- ② 同梱のねじ(トラスタッピンねじ 4×40)で固定する。
- ③ 化粧カバーを取り付ける。



(KVK 仕様の場合) ※スライドバー仕様では、入付けのフックは使いません。

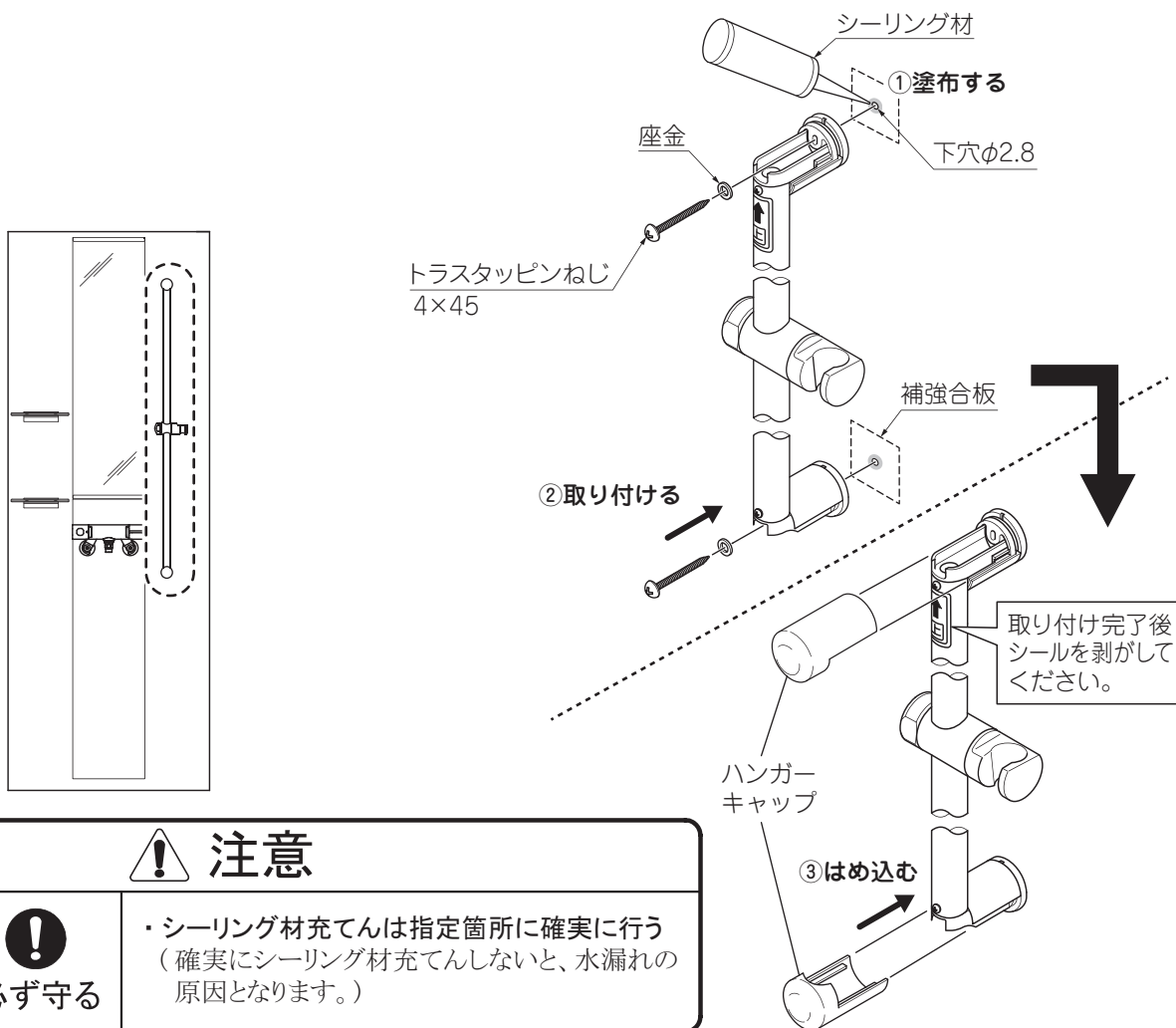
10.5 シャワーフックの取り付け

- ① $\phi 5.0$ 下穴に鋼板用樹脂アンカー(白)を挿入し、シーリング材を塗布する。
- ② 同梱のねじ(サラタッピンねじ 4.5×30)で固定する。



10.6 スライドバーの取り付け（オプション）

- ①下穴の中と周囲にシーリング材を塗布する。
- ②スライドシャワー本体を取り付ける。シーリング材が乾く前に、手早く行ってください。
- ③ハンガーキャップをスライドさせながらめ込む。



11. 仕上げ

11.1 仕上げシーリング

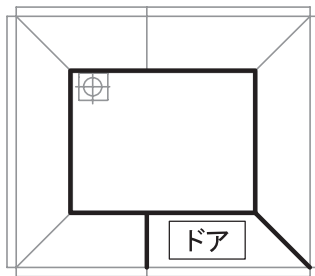
太線部分にシーリング材を塗布します。

壁 柄	ド ア	シーリング材
グレイスホワイト ロウライト トラバーチンクラシコ	開き戸 樹脂面材（ホワイト） 折れ戸（ホワイト）	ホワイト
ブラックランダムライン 墨モルタル	開き戸 ガラス面材（ブラック） 開き戸 ガラス面材（シルバー）	ブラック
ロウグレイ	開き戸 樹脂面材（ホワイト）	ホワイト
	折れ戸（ホワイト）	
	開き戸 ガラス面材（シルバー）	ブラック
	開き戸 ガラス面材（ブラック）	

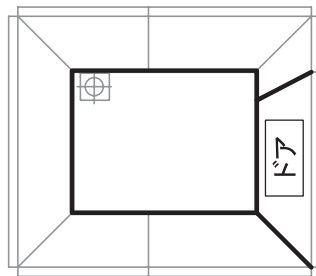
シーリング材充てん箇所
・壁パネルと床パンの間
・ドア枠まわり

天井回し縁の継ぎ目は
ホワイトのシーリング材を
使用します。

【AR(AL)】



【BR(BL)】

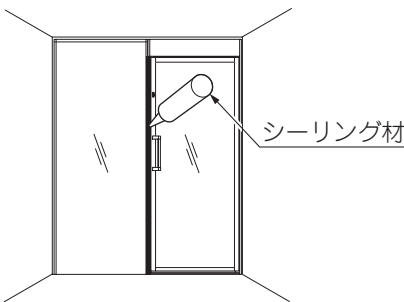


※本図はR勝手の場合。L勝手は本図と対称。

〈FIX窓がある場合〉

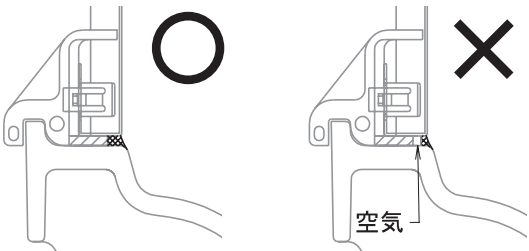
ドアとFIX窓の間にもシーリング材を塗布する。
他は上記表に従いシーリング材を塗布する。

FIX窓の色		シーリング材色
シルバー	⇒	ホワイト
ブラック	⇒	ブラック



取付設置上の お願い

- ・上図の太線部分にシーリング材を塗布します。シーリング材の色はホワイトのみとなります。
- ・シーリング材の奥に空気が残らないよう、シーリング材の塗布・仕上げを行ってください。



壁下にシーリング材を塗布する際は、奥までしっかり充てんしてください。シーリング材の塗布が途切れた部分は空気が残りやすいので、指で仕上げる際、特に注意してください。（空気が残るとシーリング材が切れやすくなり、水漏れの原因になります。）

⚠ 注意

⚠
必ず守る

シーリング材充てんは指定個所に確実に行ってください。
（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

11.2 清掃

汚れはやわらかい布またはウレタンスポンジに市販の浴室用中性洗剤をつけて洗い落としてください。

清掃の際、下記のものは使わないでください。

(人体へ影響を与えたり、製品に不具合が生じるおそれがあります。)

- 「酸性」「アルカリ性」の表示の洗剤
- みがき粉
- 固形または、粉末の塩素系洗剤・漂白剤
- ナイロンたわし
- 薬品（塩酸）
- 金属たわし
- シンナー・アセトン等の溶剤
- サンドペーパー 等
- クレンザー

●切断・穴あけの際に飛び散った鉄粉が残っているともらいさびの原因になるので、掃除機などで入念に除去してください。

●トラップ内部はゴミがたまりやすいので入念に清掃してください。

11.3 取扱説明書類について

本体および各器具に同梱の取扱説明書等は、大切に保管の上、必ず全て揃えてお客様にお渡しできるようにしてください。

11.4 廃棄物について

部材を処分する場合は、材質を確認して許可を受けている処理業者へ依頼するか、破碎の上、許可された処理場で処理してください。

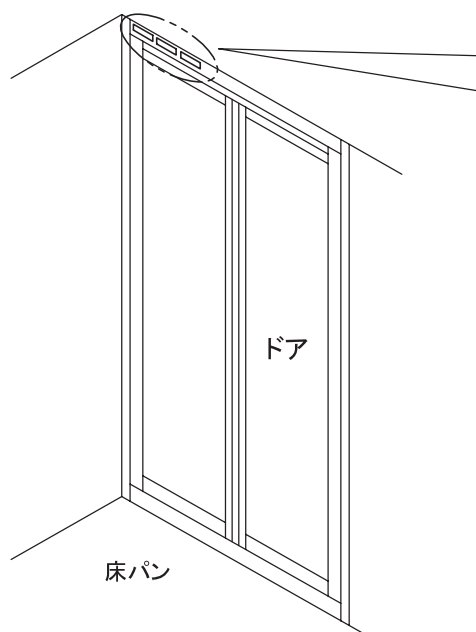
11.5 ラベルの貼付け

(1) 社名ラベル・件名管理ラベルの貼付け

下記の位置に、社名ラベル・件名管理ラベルを貼付けます。

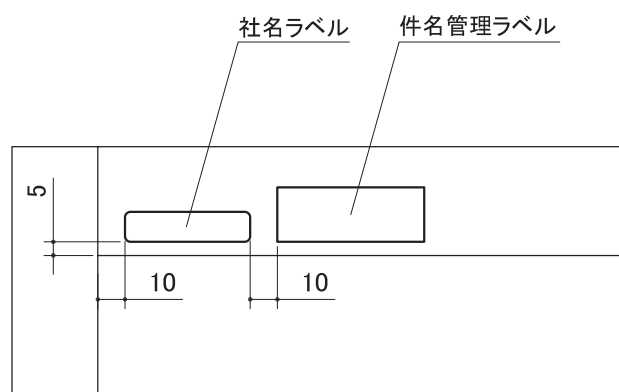


件名管理ラベルはアフターメンテナンス時に、商品の仕様・内容等の情報を知る為に必要な重要なラベルです。取付設置者ラベルと共に、必ず貼付けてください。



貼付け位置
・浴室内から見てドア枠左上

(貼付け位置目安)



【例 - 件名管理ラベル】

****年 **月
件名NO. AWA127

【例 - 社名ラベル】

miratap

12. その他

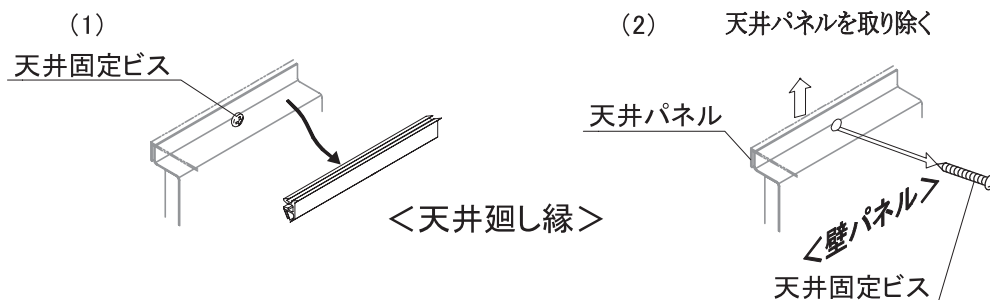
12.1 乾式目地の取り外し方



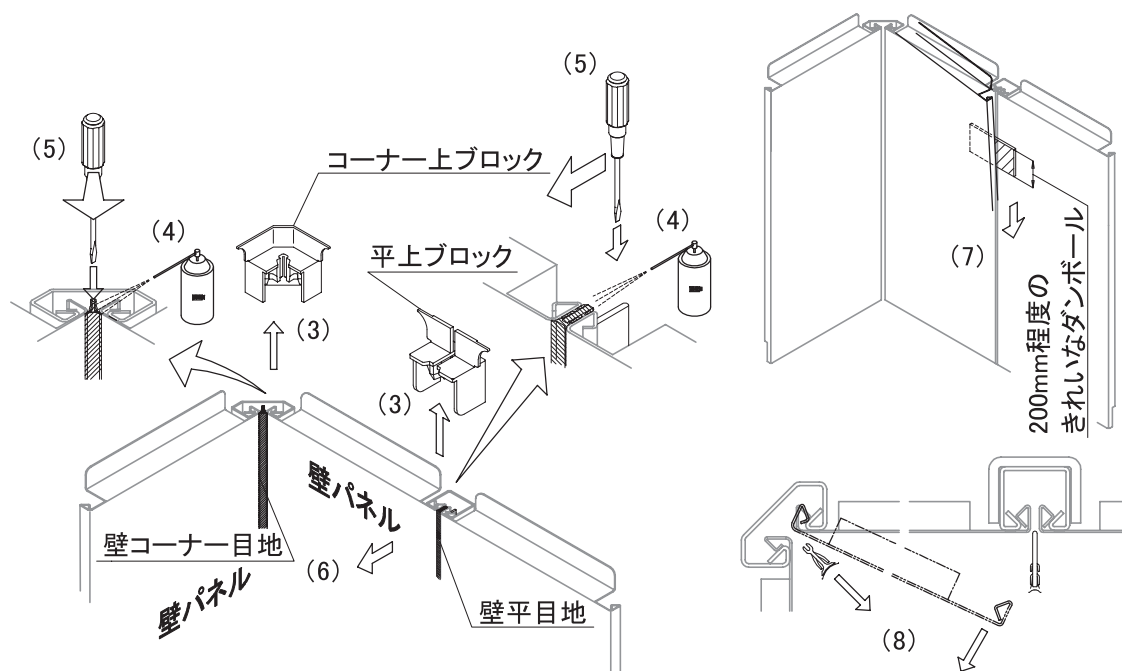
注意

- ・目地を取り外した後、再び目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分に拭き取ってください。
(目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損するおそれがあります。)
- ・潤滑剤を噴きつけた目地は、たとえ外観に問題のない場合でも、再使用はしないでください。
(目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損するおそれがあります。)

- (1) 天井廻し縁を取り出す。
- (2) 天井固定ビスを取り外し、天井パネルを取り除く。



- (3) コーナー上・平上ブロックを取り外す。
- (4) 潤滑剤を壁コーナー・平目地のヒレ部に、噴きつける。
(潤滑剤) 呉工業(株) KURE CRC 5-56
- (5) マイナスドライバー等で、目地を引っ掛け、先端部を引き抜く。
- (6) 平目地側の壁の上部を持って、引っ張ってはまず。
- (7) 壁とのスキマに、きれいなダンボールをはさんで下にスライドし、壁と平目地をはまず。
※壁及び目地を折らないように少しずつ慎重にはまず。
- (8) コーナー目地は一方の壁をはまずして折りたたむようにすると簡単にはまずせる。



取付設置後のチェック

本表は、取付設置後に行う点検項目です。本表に従いチェックしてください。
(物件毎の組合わせにより該当しない部位もあります。)

項目	チェック
1. 床に傷・割れ・変形はないか	
2. 壁に傷・割れ・変形はないか	
3. 天井に傷・割れ・変形はないか	
4. 照明グローブのゆるみ、照明カバー固定用化粧ねじのゆるみはないか	
5. 各器具の取り付けは行ったか、各器具にがたつきはないか、点灯に異常はないか	
6. シーリング材充てんの必要個所にシーリング材充てんは行ったか	
7. 目地の浮き、はずれはないか（天井回し縁、壁目地など）	
8. 目皿は正しく取り付けられているか	
9. 水張り試験は行ったか、排水トラップ接続部・排水管の水漏れはないか	
10. 水圧テストポンプで下記配管内の水圧を確認したか ・シャワーヘッド ・水栓金具	
11. 給水・給湯管、水栓固定金具からの水漏れはないか	
12. 鏡の取り付けにがたつきはないか、鏡受金具のかかりは確実か	
13. ヘアキャッチ・排水口カバーなどは正しく取り付けられているか	
14. 天井点検口は正しく取り付けられているか	
15. ラベルを所定の位置にはり付けたか	
16. 取扱説明書はタオル掛け・ドアノブなどに取り付けられているか	
17. ドアに傷・割れ・変形はないか、開閉はスムーズか	
18. ドア下枠のパッキンに汚れ・切れ・変形はないか	
19. ドア額縁固定用の皿木ねじを大工さんへ渡したか あるいはドア外側にマスキングテープではったか	
20. トラップに、ゴミなどが詰まっていないか	
21. キリ粉などが残ってないか（もらいサビ防止のため）	
取付設置上のお願い ●床パンにはり付けた養生フィルムは、取付設置引き渡し直前まで外さないようにお願いします。	

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター

受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838

FAX: 0120-382-096



GVN1659
Di0326-0